

(様式第 10)

新大病医第 176 号
令和 2 年 9 月 30 日

厚生労働大臣

殿

開設者名 国立大学法人新潟大学
牛木 辰

新潟大学医歯学総合病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和 23 年法律第 205 号）第 12 条の 3 第 1 項及び医療法施行規則（昭和 23 年厚生省令第 50 号）第 9 条の 2 の 2 の第 1 項の規定に基づき、令和元年度の業務に関して報告します。

記

1 開設者の住所及び氏名

住 所	〒950-2181 新潟県新潟市西区五十嵐二の町8050番地
氏 名	国立大学法人新潟大学

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名 称

新潟大学医歯学総合病院

3 所在の場所

〒51-8520 新潟県新潟市中央区旭町通 1 番町754番地
電話(025) 223 - 6161

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

①医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、有すべき診療科名すべてを標榜
2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定により読み替えられた同条第一項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜

(注) 上記のいずれかを選択し、番号に○印を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1) 内科

内科	(有) ・ 無
内科と組み合わせた診療科名等	
1呼吸器内科	(2)消化器内科
(5)神経内科	(3)循環器内科
9感染症内科	(6)血液内科
	7内分泌内科
	10アレルギー疾患内科またはアレルギー科
	4腎臓内科
	8代謝内科
	11リウマチ科
診療実績	
「1呼吸器内科」及び「9感染症内科」にて提供される医療は「呼吸器・感染症内科」において、「4腎臓内科」及び「11リウマチ科」にて提供される医療は「腎・膠原病内科」において、「7内分泌内科」及び「8代謝内科」にて提供される医療は「内分泌・代謝内科」において提供している。	

(注) 1 「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

2 「診療実績」欄については、「内科と組み合わせた診療科名等」欄において、標榜していない診療科がある場合、その診療科で提供される医療を、他の診療科で提供している旨を記載すること。

(2) 外科

外科	(有) ・ 無
外科と組み合わせた診療科名	
①呼吸器外科 5血管外科	②消化器外科 ⑥心臓血管外科
3乳腺外科 7内分泌外科	4心臓外科 ⑧小児外科
診療実績 「3乳腺外科」及び「7内分泌外科」にて提供される医療は「乳腺・内分泌外科」において提供している。	

(注) 1 「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

2 「診療実績」欄については、「外科」「呼吸器外科」「消化器外科」「乳腺外科」「心臓外科」「血管外科」「心臓血管外科」「内分泌外科」「小児外科」のうち、標榜していない科がある場合は、他の標榜科での当該医療の提供実績を記載すること（「心臓血管外科」を標榜している場合は、「心臓外科」「血管外科」の両方の診療を提供しているとして差し支えないこと）。

(3) その他の標榜していることが求められる診療科名

①精神科 8産科	②小児科 9婦人科	③整形外科 ⑩眼科	④脳神経外科 ⑪耳鼻咽喉科	⑤皮膚科 12放射線科	⑥泌尿器科 ⑬放射線診断科	⑦産婦人科
⑭放射線治療科 ⑮麻酔科 ⑯救急科						

(注) 標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

(4) 歯科

歯科	(有) ・ 無
歯科と組み合わせた診療科名	
①小児歯科 ②矯正歯科 ③口腔外科	
歯科の診療体制	

(注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1心療内科	2肝胆膵内科	3腫瘍内科	4形成・美容外科	5リハビリテーション科	6病理診断科
-------	--------	-------	----------	-------------	--------

(注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

精 神	感染症	結 核	療 養	一 般	合 計
64床	床	床	床	763床	827床

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職 種	常 勤	非常勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数
医 師	371人	318人	549.1人	看 護 補 助 者	20人	診療エックス線技師	0人
歯 科 医 師	136人	118人	180.6人	理 学 療 法 士	12人	臨床検査技師	62人
薬 剤 師	60人	0人	60人	作 業 療 法 士	5人	衛生検査技師	0人
保 健 師	0人	0人	0人	視 能 訓 練 士	7人	そ の 他	0人
助 産 師	31人	0人	31人	義 肢 装 具 士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看 護 師	812人	14人	822.4人	臨 床 工 学 士	21人	医療社会事業従事者	11人
准 看 護 師	0人	0人	0人	栄 養 士	0人	その他の技術員	6人
歯科衛生士	22人	4人	25.0人	歯 科 技 工 士	6人	事 務 職 員	176人
管理栄養士	8人	0人	8人	診療放射線技師	45人	そ の 他 の 職 員	105人

(注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。

2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。

3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

専門医名	人 数	専門医名	人 数
総合内科専門医	65人	眼 科 専 門 医	17人
外 科 専 門 医	36人	耳鼻咽喉科専門医	15人
精 神 科 専 門 医	7人	放射線科専門医	18人
小 児 科 専 門 医	29人	脳神経外科専門医	18人
皮 膚 科 専 門 医	9人	整形外科専門医	22人
泌尿器科専門医	17人	麻 酔 科 専 門 医	23人
産婦人科専門医	30人	救 急 科 専 門 医	10人
		合 計	316人

(注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。

2 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 管理者の医療に係る安全管理の業務の経験

管理者名 (富田 善彦) 任命年月日 平成31年4月1日

平成31年4月1日から、医療安全管理委員会(医療法施行規則に規定された医療安全管理委員会に該当)の委員長であり、新規医療技術等管理センター(医療法等施行規則に規定された高難度新規医療技術及び未承認新規医薬品等の担当部門に該当)のセンター長である。

9 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯 科 等 以 外	歯 科 等	合 計
1 日 当 たり 平 均 入 院 患 者 数	706.6 人	20.4 人	727.0 人
1 日 当 たり 平 均 外 来 患 者 数	1730.7 人	625.1 人	2355.8 人
1 日 当 たり 平 均 調 剤 数	3,256 剤		
必要医師数	175 人		
必要歯科医師数	35 人		
必要薬剤師数	42 人		
必要（准）看護師数	445 人		

- (注)1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。
- 2 入院患者数は、前年度の各科別の入院患者延数(毎日の 24 時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
- 3 外来患者数は、前年度の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、前年度の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要（准）看護師数については、医療法施行規則第二十二条の二の算定式に基づき算出すること。

10 施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設備		概要	
集中治療室	610m ²	鉄筋コンクリート	病床数	27床	心電計	有・無
			人工呼吸装置	有・無	心細動除去装置	有・無
			その他の救急蘇生装置	有・無	ペースメーカー	有・無
無菌病室等	[固定式の場合]	床面積	48 m ²	病床数		3床
	[移動式の場合]	台数	台			
医薬品情報管理室	[専用室の場合]	床積	116 m ²			
	[共用室の場合]	共用する室名				
化学検査室	403 m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) 臨床検査情報システム、搬送ライン一式、臨床化学自動分析装置、免疫検査自動分析装置、血糖・HbA1c分析装置、血液ガス分析装置、蛋白泳動装置、多項目自動血球分析装置、血液凝固測定装置、尿中有形成分分析装置、赤血球沈降速度測定装置、顕微鏡、試薬庫、純水製造装置、遠心機、検体保管庫、安全キャビネット、ドラフト			
細菌検査室	161 m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) 微生物分類同定分析装置、同定薬剤感受性測定装置、血液培養自動分析装置、抗酸菌培養検査装置、核酸増幅装置、顕微鏡、試薬庫、遠心機、検体保管庫、培養装置、安全キャビネット			
病理検査室	263 m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) 自動染色機、自動免疫染色機、蛍光顕微鏡、PCR装置			
病理解剖室	221 m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) 解剖台、クリオスタット、超低温フリーザー			
研究室	755 m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) パソコン等			
講義室	514 m ²	鉄筋コンクリート	室数	9 室	収容定員	303 人
図書室	99 m ²	鉄筋コンクリート	室数	1 室	蔵書数	5,000 冊程度

- (注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。
- 2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

11 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

紹介率		84.8 %	逆紹介率		67.5 %
算出根拠	A：紹介患者の数		15,167 人		
	B：他の病院又は診療所に紹介した患者の数		13,556 人		
	C：救急用自動車によって搬入された患者の数		1,875 人		
	D：初診の患者の数		20,096 人		

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
- 2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
- 3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

12 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由（注）

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
上村 朝輝	元 済生会新潟第二病院長	○	医療に係る安全管理に関する識見を有する者	有・無	1
月岡 恵	元 新潟市保健所長		医療に係る安全管理に関する識見を有する者	有・無	1
三部 正歳	りゅーと法律 税務会計事務所		法律に関する識見を有する者	有・無	1
田代 文俊	新潟大学（監事）		医療を受ける者 その他の医療従事者以外の者	有・無	2
成田 邦彦	新潟大学（理事）		医療を受ける者 その他の医療従事者以外の者	有・無	2

- (注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。
1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
 2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）
 3. その他

13 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由の公表の状況

委員名簿の公表の有無	(有)・無
委員の選定理由の公表の有無	(有)・無
公表の方法 新潟大学医歯学総合病院ホームページ内で公表	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
LDLアフェレシス療法	0人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注) 1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第二各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注) 2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

2 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
パクリタキセル静脈内投与(一週間に一回投与するものに限る。)及びカルボプラチン腹腔内投与(三週間に一回投与するものに限る。)の併用療法	0人
全身性エリテマトーデスに対する初回副腎皮質ホルモン治療におけるクロビドグレル硫酸塩、ピタバスタチンカルシウム及びトコフェロール酢酸エステル併用投与の大腿骨頭壊死発症抑制療法	1人
リツキシマブ点滴注射後におけるミコフェノール酸モフェチル経口投与による寛解維持療法	0人
テモゾロミド用量強化療法	0人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注)1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注)2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

疾患名	患者数	疾患名	患者数
1 球脊髄性筋萎縮症	9	56 ベーチェット病	81
2 筋萎縮性側索硬化症	32	57 特発性拡張型心筋症	75
3 脊髄性筋萎縮症	5	58 肥大型心筋症	23
4 原発性側索硬化症	0	59 拘束型心筋症	0
5 進行性核上性麻痺	15	60 再生不良性貧血	37
6 パーキンソン病	83	61 自己免疫性溶血性貧血	5
7 大脳皮質基底核変性症	10	62 発作性夜間ヘモグロビン尿症	1
8 ハンチントン病	2	63 特発性血小板減少性紫斑病	35
9 神経有棘赤血球症	0	64 血栓性血小板減少性紫斑病	1
10 シャルコー・マリー・トゥース病	3	65 原発性免疫不全症候群	11
11 重症筋無力症	166	66 IgA 腎症	27
12 先天性筋無力症候群	0	67 多発性嚢胞腎	39
13 多発性硬化症／視神経脊髄炎	122	68 黄色靱帯骨化症	6
14 慢性炎症性脱髄性多発神経炎／多巣性運動ニューロパチー	21	69 後縦靱帯骨化症	68
15 封入体筋炎	1	70 広範脊柱管狭窄症	8
16 クロウ・深瀬症候群	4	71 特発性大腿骨頭壊死症	115
17 多系統萎縮症	29	72 下垂体性ADH分泌異常症	9
18 脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	50	73 下垂体性TSH分泌亢進症	1
19 ライソゾーム病	12	74 下垂体性PRL分泌亢進症	10
20 副腎白質ジストロフィー	5	75 クッシング病	7
21 ミトコンドリア病	10	76 下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症	0
22 もやもや病	68	77 下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	32
23 プリオン病	2	78 下垂体前葉機能低下症	120
24 亜急性硬化性全脳炎	0	79 家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	0
25 進行性多巣性白質脳症	1	80 甲状腺ホルモン不応症	0
26 HTLV-1関連脊髄症	2	81 先天性副腎皮質酵素欠損症	14
27 特発性基底核石灰化症	0	82 先天性副腎低形成症	1
28 全身性アミロイドーシス	13	83 アジソン病	0
29 ウルリッヒ病	0	84 サルコイドーシス	126
30 遠位型ミオパチー	0	85 特発性間質性肺炎	19
31 ベスレムミオパチー	0	86 肺動脈性肺高血圧症	35
32 自己食空胞性ミオパチー	0	87 肺静脈閉塞症／肺毛細血管腫症	0
33 シュワルツ・ヤンペル症候群	0	88 慢性血栓性肺高血圧症	20
34 神経線維腫症	48	89 リンパ脈管筋腫症	10
35 天疱瘡	27	90 網膜色素変性症	18
36 表皮水疱症	1	91 バッド・キアリ症候群	4
37 膿疱性乾癬(汎発型)	18	92 特発性門脈圧亢進症	3
38 スティーヴンス・ジョンソン症候群	0	93 原発性胆汁性肝硬変	50
39 中毒性表皮壊死症	1	94 原発性硬化性胆管炎	3
40 高安動脈炎	31	95 自己免疫性肝炎	17
41 巨細胞性動脈炎	1	96 クローン病	132
42 結節性多発動脈炎	13	97 潰瘍性大腸炎	245
43 顕微鏡的多発血管炎	36	98 好酸球性消化管疾患	1
44 多発血管炎性肉芽腫症	33	99 慢性特発性偽性腸閉塞症	5
45 好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	14	100 巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症	0
46 悪性関節リウマチ	7	101 腸管神経節細胞減少症	0
47 バージャー病	6	102 ルビンシュタイン・ティビ症候群	0
48 原発性抗リン脂質抗体症候群	2	103 CFC症候群	0
49 全身性エリテマトーデス	369	104 コステロ症候群	0
50 皮膚筋炎／多発性筋炎	147	105 チャージ症候群	0
51 全身性強皮症	117	106 クリオピリン関連周期熱症候群	1
52 混合性結合組織病	49	107 全身型若年性特発性関節炎	4
53 シェーグレン症候群	22	108 TNF受容体関連周期性症候群	0
54 成人スチル病	17	109 非典型溶血性尿毒症症候群	0
55 再発性多発軟骨炎	2	110 ブラウ症候群	0

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

疾患名	患者数		疾患名	患者数
111 先天性ミオパチー	1	161	家族性良性慢性天疱瘡	0
112 マリネスコ・シェーグレン症候群	0	162	類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む。)	15
113 筋ジストロフィー	9	163	特発性後天性全身性無汗症	5
114 非ジストロフィー性ミオトニー症候群	0	164	眼皮膚白皮症	0
115 遺伝性周期性四肢麻痺	0	165	肥厚性皮膚骨膜炎	0
116 アトピー性脊髄炎	0	166	弾性線維性仮性黄色腫	0
117 脊髄空洞症	1	167	マルファン症候群	3
118 脊髄髄膜瘤	4	168	エーラス・ダンロス症候群	0
119 アイザックス症候群	0	169	メンケス病	0
120 遺伝性ジストニア	0	170	オクシピタル・ホーン症候群	0
121 神経フェリチン症	0	171	ウィルソン病	4
122 脳表ヘモジデリン沈着症	1	172	低ホスファターゼ症	0
123 禿頭と変形性脊椎症を伴う常染色体劣性白質脳症	0	173	VATER症候群	0
124 皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性脳動脈症	2	174	那須・ハコラ病	0
125 神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性びまん性白質脳症	0	175	ウィーバー症候群	0
126 ペリー症候群	0	176	コフィン・ローリー症候群	0
127 前頭側頭葉変性症	3	177	有馬症候群	0
128 ビッカースタッフ脳幹脳炎	0	178	モワット・ウィルソン症候群	0
129 痙攣重積型(二相性)急性脳症	1	179	ウィリアムズ症候群	0
130 先天性無痛無汗症	0	180	ATR-X症候群	0
131 アレキサンダー病	1	181	クルーゾン症候群	0
132 先天性核上性球麻痺	0	182	アペール症候群	0
133 メビウス症候群	0	183	ファイファー症候群	0
134 中隔視神経形成異常症/ドモルシア症候群	0	184	アントレー・ピクスラー症候群	0
135 アイカルディ症候群	0	185	コフィン・シリス症候群	0
136 片側巨脳症	0	186	ロスムンド・トムソン症候群	0
137 限局性皮質異形成	1	187	歌舞伎症候群	0
138 神経細胞移動異常症	0	188	多脾症候群	2
139 先天性大脳白質形成不全症	0	189	無脾症候群	0
140 ドラベ症候群	0	190	鰓耳腎症候群	1
141 海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん	0	191	ウェルナー症候群	0
142 ミオクロニー欠神てんかん	0	192	コケイン症候群	0
143 ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん	0	193	ブラダー・ウィリ症候群	0
144 レノックス・ガストー症候群	1	194	ソトス症候群	0
145 ウエスト症候群	0	195	ヌーナン症候群	0
146 大田原症候群	0	196	ヤング・シンプソン症候群	0
147 早期ミオクロニー脳症	0	197	1p36欠失症候群	0
148 遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん	0	198	4p欠失症候群	0
149 片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群	0	199	5p欠失症候群	0
150 環状20番染色体症候群	0	200	第14番染色体父親性ダイソミー症候群	0
151 ラスムッセン脳炎	0	201	アンジェルマン症候群	0
152 PCDH19関連症候群	0	202	スミス・マギニス症候群	0
153 難治頻回部分発作重積型急性脳炎	0	203	22q11.2欠失症候群	2
154 徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん性脳症	0	204	エマヌエル症候群	0
155 ランドウ・クレフナー症候群	0	205	脆弱X症候群関連疾患	0
156 レット症候群	0	206	脆弱X症候群	0
157 スタージ・ウェーバー症候群	0	207	総動脈幹遺残症	0
158 結節性硬化症	5	208	修正大血管転位症	1
159 色素性乾皮症	0	209	完全大血管転位症	0
160 先天性魚鱗癬	0	210	単心室症	0

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾 患 名	患者数		疾 患 名	患者数
211	左心低形成症候群	0	259	レシチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ欠損症	0
212	三尖弁閉鎖症	3	260	シトステロール血症	0
213	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症	0	261	タンジール病	0
214	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	0	262	原発性高カイルミクロン血症	0
215	ファロー四徴症	1	263	脳髄黄色腫症	2
216	両大血管右室起始症	2	264	無βリポタンパク血症	0
217	エプスタイン病	0	265	脂肪萎縮症	0
218	アルポート症候群	3	266	家族性地中海熱	4
219	ギャロウェイ・モワト症候群	0	267	高IgD症候群	0
220	急速進行性糸球体腎炎	1	268	中條・西村症候群	0
221	抗糸球体基底膜腎炎	1	269	化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症・アクネ症候群	0
222	一次性ネフローゼ症候群	20	270	慢性再発性多発性骨髄炎	2
223	一次性膜性増殖性糸球体腎炎	1	271	強直性脊椎炎	20
224	紫斑病性腎炎	3	272	進行性骨化性線維異形成症	0
225	先天性腎性尿崩症	0	273	肋骨異常を伴う先天性側弯症	1
226	間質性膀胱炎(ハンナ型)	0	274	骨形成不全症	1
227	オスラー病	1	275	タナトフォリック骨異形成症	0
228	閉塞性細気管支炎	0	276	軟骨無形成症	1
229	肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性)	2	277	リンパ管腫症/ゴーハム病	1
230	肺胞低換気症候群	0	278	巨大リンパ管奇形(頸部顔面病変)	0
231	α1-アンチトリプシン欠乏症	0	279	巨大静脈奇形(頸部口腔咽頭びまん性病変)	0
232	カーニー複合	0	280	巨大動静脈奇形(頸部顔面又は四肢病変)	2
233	ウォルフラム症候群	0	281	クリッペル・トレノネー・ウェーバー症候群	4
234	ペルオキシソーム病(副腎白質ジストロフィーを除く。)	0	282	先天性赤血球形成異常性貧血	0
235	副甲状腺機能低下症	2	283	後天性赤芽球癆	2
236	偽性副甲状腺機能低下症	3	284	ダイヤモンド・ブラックファン貧血	0
237	副腎皮質刺激ホルモン不応症	0	285	ファンconi貧血	0
238	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	1	286	遺伝性鉄芽球性貧血	0
239	ビタミンD依存性くる病/骨軟化症	0	287	エプスタイン症候群	0
240	フェニルケトン尿症	1	288	自己免疫性出血病XIII	1
241	高チロシン血症1型	0	289	クローンカイト・カナダ症候群	0
242	高チロシン血症2型	0	290	非特異性多発性小腸潰瘍症	0
243	高チロシン血症3型	0	291	ヒルシュスブルグ病(全結腸型又は小腸)	0
244	メーブルシロップ尿症	0	292	総排泄腔外反症	0
245	プロピオン酸血症	0	293	総排泄腔遺残	1
246	メチルマロン酸血症	0	294	先天性横隔膜ヘルニア	0
247	イソ吉草酸血症	0	295	乳幼児肝巨大血管腫	0
248	グルコーストランスポーター1欠損症	0	296	胆道閉鎖症	3
249	グルタル酸血症1型	0	297	アラジール症候群	0
250	グルタル酸血症2型	0	298	遺伝性膝炎	0
251	尿素サイクル異常症	0	299	嚢胞性線維症	0
252	リジン尿性蛋白不耐症	0	300	IgG4関連疾患	11
253	先天性葉酸吸収不全	0	301	黄斑ジストロフィー	0
254	ポルフィリン症	1	302	レーベル遺伝性視神経症	0
255	複合カルボキシラーゼ欠損症	0	303	アッシャー症候群	0
256	筋型糖原病	0	304	若年発症型両側性感音難聴	0
257	肝型糖原病	1	305	遅発性内リンパ水腫	0
258	ガラクトース-1-リン酸ウリジルトランスフェラーゼ欠損症	0	306	好酸球性副鼻腔炎	48

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾 患 名	患者数		疾 患 名	患者数
307	カナバン病	0	319	セピアプテリン還元酵素(SR)欠損症	0
308	進行性白質脳症	0	320	先天性グリコシルホスファチジルイノシトール(GPI)欠損症	0
309	進行性ミオクローヌスてんかん	0	321	非ケトーシス型高グリシン血症	0
310	先天異常症候群	0	322	β -ケトチオラーゼ欠損症	0
311	先天性三尖弁狭窄症	0	323	芳香族L-アミノ酸脱炭酸酵素欠損症	0
312	先天性僧帽弁狭窄症	0	324	メチルグルタコン酸尿症	0
313	先天性肺静脈狭窄症	0	325	遺伝性自己炎症疾患	0
314	左肺動脈右肺動脈起始症	0	326	大理石骨病	0
315	ネイルパテラ症候群(爪膝蓋骨症候群)/L MX1B関連腎症	2	327	特発性血栓症(遺伝性血栓性素因によるものに限る。)	0
316	カルニチン回路異常症	0	328	前眼部形成異常	0
317	三頭酵素欠損症	0	329	無虹彩症	0
318	シトリン欠損症	0	330	先天性気管狭窄症	0

(注)「患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・地域歯科診療支援病院歯科初診料	・後発医薬品使用体制加算
・歯科外来診療環境体制加算	・病棟薬剤業務実施加算
・歯科診療特別対応連携加算	・データ提出加算
・特定機能病院入院基本料	・入退院支援加算
・救急医療管理加算	・せん妄ハイリスク患者ケア加算
・超急性期脳卒中加算	・精神疾患診療体制加算
・診療録管理体制加算	・精神科急性期医師配置加算
・医師事務作業補助体制加算	・地域医療体制確保加算
・急性期看護補助体制加算	・地域歯科診療支援病院入院加算
・看護職員夜間配置加算	・救命救急入院料
・看護補助加算	・特定集中治療室管理料
・療養環境加算	・総合周産期特定集中治療室管理料
・重症者等療養環境特別加算	・新生児治療回復室入院医療管理料
・無菌治療室管理加算	・小児入院医療管理料
・緩和ケア診療加算	・
・精神科身体合併症管理加算	・
・精神科リエゾンチーム加算	・
・摂食障害入院医療管理加算	・
・栄養サポートチーム加算	・
・医療安全対策加算	・
・感染防止対策加算	・
・抗菌薬適正使用支援加算	・
・患者サポート体制充実加算	・
・褥瘡ハイリスク患者ケア加算	・
・ハイリスク妊娠管理加算	・
・ハイリスク分娩管理加算	・

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・ウイルス疾患指導料	・持続血糖測定器加算
・遠隔モニタリング加算(ペースメーカー指導管理料)	・遺伝学的検査
・糖尿病合併症管理料	・骨髄微小残存病変量測定
・がん性疼痛緩和指導管理料	・BRCA1/2遺伝子検査
・がん患者指導管理料	・がんゲノムプロファイリング検査
・外来緩和ケア管理料	・先天性代謝異常症検査
・移植後患者指導管理料	・抗HLA抗体(スクリーニング検査)及び抗HLA抗体(抗体特異性同定検査)
・糖尿病透析予防指導管理料	・HPV核酸検出及びHPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)
・小児運動器疾患指導管理料	・検体検査管理加算(IV)
・乳腺炎重症化予防ケア・指導料	・国際標準検査管理加算
・婦人科特定疾患治療管理料	・遺伝カウンセリング加算
・腎代替療法指導管理料	・遺伝性腫瘍カウンセリング加算
・外来放射線照射診療料	・心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算
・ニコチン依存症管理料	・時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト
・療養・就労両立支援指導料	・胎児心エコー法
・ハイリスク妊産婦共同管理料(Ⅰ)	・ヘッドアップティルト試験
・がん治療連携計画策定料	・皮下連続式グルコース測定
・ハイリスク妊産婦連携指導料	・長期継続頭蓋内脳波検査
・肝炎インターフェロン治療計画料	・神経学的検査
・薬剤管理指導料	・補聴器適合検査
・医療機器安全管理料1	・黄斑局所網膜電図及び全視野精密網膜電図
・医療機器安全管理料2	・ロービジョン検査判断料
・総合医療管理加算(歯科疾患管理料)	・コンタクトレンズ検査料
・歯科治療時医療管理料	・内服・点滴誘発試験
・在宅患者歯科治療時医療管理料	・センチネルリンパ節生検(片側)
・在宅植込型補助人工心臓(非拍動流型)指導管理料	・有床義歯咀嚼機能検査、咀嚼能力検査及び咬合圧検査
・在宅腫瘍治療電場療法指導管理料	・精密触覚機能検査

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・睡眠時歯科筋電図検査	・認知療法・認知行動療法
・画像診断管理加算1	・抗精神病特定薬剤治療指導管理料(治療抵抗性統合失調症治療指導管理料に限る。)
・画像診断管理加算2	・医療保護入院等診療料
・画像診断管理加算3	・静脈圧迫処置(慢性静脈不全に対するもの)
・歯科画像診断管理加算	・硬膜外自家血注入
・ポジトロン断層撮影、ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影、ポジトロン断層・磁気共鳴コンピューター断層複合撮影又は乳房用ポジトロン断層撮影	・人工腎臓
・CT撮影及びMRI撮影	・手術用顕微鏡加算
・冠動脈CT撮影加算	・口腔粘膜処置
・血流予備量比コンピューター断層撮影	・う蝕歯無痛的窩洞形成加算
・外傷全身CT加算	・CAD/CAM冠
・心臓MRI撮影加算	・有床義歯修理及び有床義歯内面適合法の歯科技工加算
・乳房MRI撮影加算	・皮膚悪性腫瘍切除術(センチネルリンパ節加算を算定する場合に限る。)
・小児鎮静下MRI撮影加算	・皮膚移植術(死体)
・頭部MRI撮影加算	・組織拡張器による再建手術(一連につき)(乳房(再建手術)の場合に限る。)
・全身MRI撮影加算	・処理骨再建加算
・抗悪性腫瘍剤処方管理加算	・骨移植術(軟骨移植術を含む。)(自家培養軟骨移植術に限る。)
・外来化学療法加算1	・椎間板内酵素注入療法
・無菌製剤処理料	・腫瘍脊椎骨全摘術
・心大血管疾患リハビリテーション料(Ⅰ)	・脳腫瘍覚醒下マッピング加算
・脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅰ)	・原発性悪性脳腫瘍光線力学療法加算
・運動器リハビリテーション料(Ⅰ)	・頭蓋骨形成手術(骨移動を伴うものに限る。)
・呼吸器リハビリテーション料(Ⅰ)	・脳刺激装置植込術(頭蓋内電極植込術を含む。)及び脳刺激装置交換術、脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術
・がん患者リハビリテーション料	・内皮移植加算
・リンパ浮腫複合的治療料	・羊膜移植術
・集団コミュニケーション療法料	・緑内障手術(緑内障治療用インプラント挿入術(プレートのあるもの))
・歯科口腔リハビリテーション料2	・緑内障手術(水晶体再建術併用眼内ドレーン挿入術)
・通院・在宅精神療法(児童思春期精神科専門管理加算)	・網膜付着組織を含む硝子体切除術(眼内内視鏡を用いるもの)

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・網膜再建術	・バルーン閉塞下逆行性経静脈的塞栓術
・人工中耳植込術、人工内耳植込術、植込型骨導補聴器移植術及び植込型骨導補聴器交換術	・胆管悪性腫瘍手術(膵頭十二指腸切除及び肝切除(葉以上)を伴うものに限る。)
・内視鏡下鼻・副鼻腔手術V型(拡大副鼻腔手術)	・腹腔鏡下肝切除術
・鏡視下咽頭悪性腫瘍手術(軟口蓋悪性腫瘍手術を含む。)	・生体部分肝移植術
・鏡視下喉頭悪性腫瘍手術	・同種死体肝移植術
・上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療以外の診療に係るものに限る。)、下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療以外の診療に係るものに限る。)	・腹腔鏡下膵腫瘍摘出術及び腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術
・上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療に係るものに限る。)、下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療に係るものに限る。)	・同種死体膵移植術、同種死体膵腎移植術
・乳腺悪性腫瘍手術(乳がんセンチネルリンパ節加算1又は乳がんセンチネルリンパ節加算2を算定する場合に限る。)	・早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
・乳腺悪性腫瘍手術(乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴わないもの)及び乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴うもの))	・腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
・ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)	・腹腔鏡下腎盂形成手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・肺悪性腫瘍手術(壁側・臓側胸膜全切除(横隔膜、心膜合併切除を伴うもの)に限る。)	・同種死体腎移植術
・内視鏡下筋層切開術	・生体腎移植術
・食道縫合術(穿孔、損傷)(内視鏡によるもの)、内視鏡下胃・十二指腸穿孔瘻孔閉鎖術、胃瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、小腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、結腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、腎(腎盂)瘻瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、尿管瘻瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、膀胱瘻瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)及び直腸瘻瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)	・膀胱水圧拡張術
・経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)	・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術
・胸腔鏡下弁形成術及び胸腔鏡下弁置換術	・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術
・経皮的僧帽弁クリップ術	・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
・不整脈手術(左心耳閉鎖術(経カテーテル的手術によるもの)に限る。)	・腹腔鏡下仙骨腫固定術
・経皮的中隔心筋焼灼術	・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに限る。)
・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術	・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮頸がんに限る。)
・両心室ペースメーカー移植術及び両心室ペースメーカー交換術	・胎児胸腔・羊水腔シャント術
・植込型除細動器移植術、植込型除細動器交換術及び経静脈電極抜去術	・胎児輸血術(一連につき)
・両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術	・胃瘻造設術(内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。)
・大動脈バルーンポンピング法(IABP法)	・医科点数表第2章第10部手術の通則の19に掲げる手術
・補助人工心臓	・輸血管理料 I
・骨格筋由来細胞シート心表面移植術	・輸血適正使用加算
・経皮的下肢動脈形成術	・貯血式自己血輸血管理体制加算
・腹腔鏡下リンパ節群郭清術	・コーディネート体制充実加算

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算	
・胃瘻造設時嚥下機能評価加算	
・歯周組織再生誘導手術	
・手術時歯根面レーザー応用加算	
・広範囲顎骨支持型装置埋入手術	
・歯根端切除手術の注3	
・レーザー機器加算の施設基準	
・麻酔管理料(Ⅰ)	
・麻酔管理料(Ⅱ)	
・歯科麻酔管理料	
・放射線治療専任加算	
・外来放射線治療加算	
・高エネルギー放射線治療	
・1回線量増加加算	
・強度変調放射線治療(IMRT)	
・画像誘導放射線治療加算 (IGRT)	
・体外照射呼吸性移動対策加算	
・定位放射線治療	
・定位放射線治療呼吸性移動対策加算	
・画像誘導密封小線源治療加算	
・病理診断管理加算	
・悪性腫瘍病理組織標本加算	
・口腔病理診断管理加算	
・クラウン・ブリッジ維持管理料	
・歯科矯正診断料	
・顎口腔機能診断料(顎変形症(顎離断等の手術を必要とするものに限る。)の手術前後における歯科矯正に係るもの)	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

7 診療報酬の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・急性リンパ性白血病細胞の免疫遺伝子再構成を利用した定量的PCR法による骨髄微小残存病変(MRD)量の測定	・
・腹腔鏡下広汎子宮全摘術	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(注) 1 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入しなくともよいこと。

(注) 2 「施設基準等の種類」欄には、特定機能病院の名称の承認申請又は業務報告を行う3年前の4月以降に、診療報酬の算定方法(平成二〇年厚生労働省告示第五九号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

8 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	1. 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	解剖例 CPC 6 回／年 生検例 20 回／年
剖 検 の 状 況	剖検症例数 18 例 / 剖検率 4.3 %

(注) 「症例検討会の開催頻度」及び「剖検の状況」欄には、前年度の実績を記入すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
(JSPS)循環器内科学、代謝および内分泌学分野に関する学術研究動向-老化制御から紐解く循環器・代謝疾患の新たな研究展開-	南野 徹	循環器内科	1,560,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
水俣病、緑内障におけるヘッドマウント型視野計を用いた両眼開放視野に関する研究	福地 健郎	眼科	3,500,000	補委 新潟県
メチル水銀中毒の脳血管障害への影響における検討	金澤 雅人	脳神経内科	3,000,000	補委 新潟県
エイズ患者・HIV感染者の歯科医療体制整備に向けた調査研究	高木 律男	顎顔面口腔外科	2,400,000	補委 新潟県
関東・甲信越ブロックエイズ対策促進事業における調査研究事業	茂呂 寛	感染管理部	19,040,000	補委 新潟県
関東・甲信越ブロックエイズ対策促進事業における調査研究事業	茂呂 寛	感染管理部	5,000,000	補委 新潟県
エイズ治療拠点病院治療促進事業における調査研究事業	茂呂 寛	感染管理部	200,000	補委 新潟県
(AMED)肝硬変に対する間葉系幹細胞およびマクロファージの線維化改善機序のイメージングおよびエクソソーム解析による解明とその応用	寺井 崇二	消化器内科	26,620,000	補委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
(AMED)認知症臨床ゲノム情報統合データベースの整備	池内 健	脳神経内科	7,500,000	補委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
(AMED)国内流行HIV及びその薬剤耐性株の長期的動向把握に関する研究	茂呂 寛	感染管理部	585,000	補委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
①基礎研究:聴覚伝導路を用いた感覚代行システムによる平衡リハビリテーションの検討 ②臨床研究:慢性めまいに対する診断方法確立とリハビリテーション介入による治療効果判定	堀井 新	耳鼻咽喉・頭頸部外科	3,500,000	補委 新潟県
(AMED)TGF- β シグナルを標的にしたCARASILの新規治療シーズの探索	小野寺 理	脳神経内科	22,490,000	補委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
障害児者歯科保健医療実態調査の集計・分析委託	葭原 明弘	お口の健康室	78,000	補委 新潟県
(AMED)ゲノム編集を用いた優性遺伝子性中枢神経疾患の治療方法の開発	小野寺 理	脳神経内科	24,699,999	補委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
(AMED)HPVワクチンの有効性の評価のための大規模疫学研究	榎本 隆之	産科婦人科	55,574,999	補委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
不妊症患者の実態と生殖補助医療技術による妊孕性の向上に関する研究	榎本 隆之	産科婦人科	972,000	補委 新潟県
(AMED)予防的治療法を最適化するための早期アルツハイマー病の診断法の確立	池内 健	脳神経内科	6,600,000	補委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
(AMED)剖検脳・罹患組織を用いたマルチオミクス解析による神経変性タウオパチーの病態解明と創薬標的の同定	池内 健	脳神経内科	29,640,000	補委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構

小計 18件

(AMED)新規老化関連分子を標的とした糖尿病大血管合併症治療法の開発	南野 徹	循環器内科	6,500,000	補委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
(AMED)進行性核上性麻痺と関連タウオパチーの患者レジストリと試料レポジトリを活用した診療エビデンスの構築	池内 健	脳神経内科	14,820,000	補委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
(AMED)重症薬疹における特異的細胞死誘導受容体をターゲットにした新規治療薬開発	阿部 理一郎	皮膚科	24,960,000	補委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
(AMED)血清エクソソーム内細菌成分のアレルギー・自己免疫疾患発症への関与の解明	阿部 理一郎	皮膚科	19,500,000	補委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
(AMED)メガリンをターゲットにした急性腎障害および慢性腎臓病の創薬研究	斎藤 亮彦	小児科	9,750,000	補委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
(AMED)新型インフルエンザ等重症呼吸器感染症の臨床・病理学的解析に基づく診断・治療に係る国際連携研究	齋藤 昭彦	小児科	2,600,000	補委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
地域保健における歯科疾患の予防	葭原 明弘	お口の健康室	800,000	補委	弥彦村役場
(AMED)網羅的ゲノム解析とインフォマティクス統合解析による認知症の新規病態解析	池内 健	脳神経内科	72,800,000	補委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
(AMED)網羅的ゲノム解析とインフォマティクス統合解析による認知症の新規病態解析	池内 健	脳神経内科	22,900,000	補委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
(AMED)画像集積、AI診断活用開発	阿部 理一郎	皮膚科	7,150,000	補委	公益社団法人日本皮膚科学会
(AMED)血液バイオマーカーを用いた認知症と精神・神経疾患の簡易鑑別診断システムの構築	池内 健	脳神経内科	9,400,000	補委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
リンパ管疾患データベースの整備及び疾患関連試料基礎バンクの作成	木下 義晶	小児外科	200,000	補委	国立研究開発法人国立成育医療研究センター
低身長を伴った思春期早発症例における遺伝学的原因および臨床像の検討の研究	長崎 啓祐	小児科	350,000	補委	国立研究開発法人国立成育医療研究センター
(AMED)重症薬疹関連書類の作成、臨床試料収集と関連解析	阿部 理一郎	皮膚科	2,990,000	補委	公益財団法人木原記念横浜生命科学振興財団
(AMED)新潟大学医学総合病院を中心とした多診療科によるIRUD拠点病院の構築	成田 一衛	腎・膠原病内科	5,200,000	補委	国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター
(AMED)難治性リンパ管疾患レジストリを活用したリンパ管疾患鑑別診断法の確立及び最適治療戦略の導出	木下 義晶	小児外科	1,040,000	補委	国立研究開発法人国立成育医療研究センター
(AMED)新潟県における若年性認知症の有病率・生活実態把握	池内 健	脳神経内科	1,100,000	補委	地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター
(AMED)GM-CSF吸入 ガイドライン	高田 俊範	魚沼地域医療教育センター	117,000	補委	独立行政法人国立病院機構 近畿中央呼吸器センター
(AMED)先天性および若年性の視覚聴覚二重障害の原因となる難病の診療向上に向けた、疾患横断的な全国多施設レジストリ研究	堀井 新	耳鼻咽喉・頭頸部外科	650,000	補委	独立行政法人国立病院機構 東京医療センター
(AMED)加齢に伴う老化細胞蓄積メカニズムとその病的老化形質に対する関与の解明	南野 徹	循環器内科	26,000,000	補委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
(AMED)運動学習に着目した新規脳機能評価法を活用したエビデンス創出	小野寺 理	脳神経内科	500,000	補委	国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター

(AMED)効果的な保健指導手法の評価と開発プログラムの実証研究	加藤 公則	内分泌・代謝内科	57,200	補委	公益財団法人愛知県健康づくり振興事業団
(AMED)ウェアラブルデバイスを用いて“嗜む”を行動変容することによる食生活の適正化	小野 高裕	義歯診療科	14,950,000	補委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
摂食・嚥下障害者用介護用品・食品等の開発	井上 誠	口腔リハビリテーション科	387,000	補委	にいがた摂食嚥下障害サポート研究会
パーキンソン病発症予防のための運動症状発症前biomarkerの特定のための研究(The Japan Parkinson's Progression Markers Initiative (通称:J-PPMI))	池内 健	脳神経内科	1,100,000	補委	国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター, 国立大学法人京都大学, 国立大学法人大阪大学, 学校法人順天堂, 国立大学法人名古屋大学
次世代シーケンサーを用いた癌ゲノム医療システム基盤構築に関する研究	若井 俊文	消化器外科	4,300,000	補委	新潟県病院局
「重症薬疹関連書類の作成、臨床試料収集と関連解析」に付随する研究	阿部 理一郎	皮膚科	3,100,000	補委	公益財団法人木原記念横浜生命科学振興財団
「重症薬疹関連書類の作成、臨床試料収集と関連解析」に付随する研究	阿部 理一郎	皮膚科	57,405	補委	公益財団法人木原記念横浜生命科学振興財団
見附市健康寿命延伸・消化器疾患先制プロジェクト	寺井 崇二	消化器内科	60,000,000	補委	見附市
個別化医療における悪性腫瘍補助療法に対する費用対効果モデルの確立	石川卓	医療情報部	1,900,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
膵島細胞症様変化に着目した糖尿病に対する次世代細胞療法の創成	小林隆	小児外科	3,800,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
乳癌免疫微小環境における脂質メディエーター分子の役割解明と治療応用を目指した研究	永橋昌幸	消化器外科	6,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
歯髄創傷治癒過程におけるglucose transporterの機能解析	竹内亮祐	総合臨床研修センター	300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
歯周炎の病態に対する腸内細菌叢の影響と関連メカニズムの解明	佐藤圭祐	総合臨床研修センター	1,100,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
低酸素環境下で培養した口腔粘膜線維芽細胞を用いた新規培養真皮開発技術基盤の構築	齋藤夕子(原夕子)	顎顔面口腔外科	1,100,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
時間軸を考慮した顎顔面形成におけるmicroRNAの機能解析	永井孝宏	総合臨床研修センター	1,000,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
脊髄X層におけるノルアドレナリンの作用機序と慢性疼痛の病態解明	大橋宣子	麻酔科	1,100,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
細菌付着を減弱するジフテリア菌表層糖脂質誘導体を用いたバイオフィルム制御剤の開発	長谷川泰輔	歯の診療科	1,100,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
ロングスパンブリッジ用新規CAD/CAM用レジンの開発およびその臨床応用	高昇将	冠・ブリッジ診療科	1,100,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
舌運動モーションキャプチャと舌圧測定と同時に測一高齢者の嚥下時舌運動評価一	相楽仁子	義歯診療科	1,100,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
歯周炎組織中におけるアルツハイマー病原分子のネットワーク解析	久保田健彦	歯周病科	150,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
腫瘍特異的遺伝子異常による肺癌再発予測バイオマーカーの開発と補助化学療法の効果	橋本毅久	魚沼地域医療教育センター	2,031,284	補委	独立行政法人日本学術振興会

小計 21件

圧迫性頚髄症を対象とした3DAC法による脊髄神経路変性の評価と歩行機能の対比	浦川貴朗	整形外科	200,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
口の痛みと意欲低下の関連—動物実験系の確立とエピジェネティクス修飾の可能性—	佐藤由美子	歯科麻酔科	1,800,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
縦断研究による高齢者の唾液流量に関する回帰モデルの作成	濃野要	予防歯科	498,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
消化器外科手術後の包括的嚥下機能評価に関する研究	小杉伸一	魚沼地域医療教育センター	1,200,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
歯科臨床経験の差を科学する モーションキャプチャが明らかにする印象採得の勘所	奥村暢旦	歯科総合診療部	1,500,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
mTORシグナルを標的とした悪性グリオーマに対する新規化学療法の基盤構築	江田岳誉	薬剤部	1,100,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
AML/MDSへの免疫チェックポイント阻害薬の応用に向けた腫瘍免疫評価法の確立	柴崎康彦	血液内科	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
妊娠高血圧症候群の発症予防を目的とした解毒酵素遺伝子と嗜好品摂取との相互作用解析	能伸太郎	産科婦人科	600,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
7,8-ジヒドロキシフラボンのNASHにおける病態改善メカニズムの解明と治療応用	川合弘一	消化器内科	500,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
重症下肢虚血におけるメタボローム解析を用いた病態および治療マーカーの解明	柳川貴央	循環器内科	1,100,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
急速進行性間質性肺疾患に対するポリミキシンB吸着カラム療法の作用機序の解明	大橋和政	魚沼地域医療教育センター	1,200,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
TDP-43量制御の脆弱性に着目した、核酸医薬によるALS治療戦略の検証	須貝章弘	脳神経内科	1,100,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
中枢神経系自己免疫疾患におけるマクロファージの動態と生物学的意義の解析	河内泉	脳神経内科	800,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
敗血症急性期において鉄調節因子ヘプシジンが果たす役割—新規治療法の開発に向けて	茂呂寛	検査部	900,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
HPG・HPA系相互作用とホルモン補充療法反応性を用いた難治性精神疾患の病態解明	鈴木雄太郎	精神科	500,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
定量的画像解析に基づく小型肺腺癌のCT画像評価法の確立	石川浩志	放射線診断科	500,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
乳癌ホルモン療法耐性機序における脂質メディエーター分子機構の解明および臨床的意義	五十嵐麻由子	消化器外科	1,000,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
胃癌におけるアクチビン受容体変異による新規シグナル伝達機構の解明及び臨床的意義	油座築	消化器外科	700,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
胃癌におけるBRCA1/2遺伝子変異解析およびタンパク質発現とその臨床的意義	滝沢一泰	消化器外科	900,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
大腸癌肝転移における抗酸化ストレス蛋白質発現の臨床的意義と抗癌剤耐性機序の解明	中野麻恵	腫瘍センター	700,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
早期DNA損傷修復機構に基づく胆管生検試料における確証的な良悪性判定評価法の確立	石川博補	高次救命災害治療センター	1,100,000	補委	独立行政法人日本学術振興会

脂質メディエーター産生酵素の膵癌微小環境形成における役割と臨床的意義	中島真人	消化器外科	1,100,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
位相差X線CTと数値流体解析による小児肺静脈狭窄病変の病態解明	白石修一	手術部	700,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
脊髄損傷後の軸索再生におけるGAP-43の機能解明と新規脊髄保護療法の開発	渡邊慶	整形外科	400,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
糖鎖アレイを利用したABO不適合腎移植における抗体関連型拒絶反応予測検査法の開発	田崎正行	泌尿器科	1,200,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
超早産児の消化管成熟に向けた治療戦略:肺サーファクタントと胎脂を用いた動物実験	西島浩二	総合周産期母子医療センター	900,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
加齢性難聴が認知機能障害に与える影響に関する研究	森田由香	耳鼻咽喉・頭頸部外科	500,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
フラビン蛋白蛍光イメージングを用いたマウス大脳皮質前庭領野同定とその可塑性の解析	大島伸介	耳鼻咽喉・頭頸部外科	400,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
重粒子線3次元線量分布への歯科用合金の影響解明と分布に影響しないマウスピース開発	勝良剛詞	歯科放射線科	700,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
画像定量解析による永久歯および乳歯のミネラル密度ゴールドスタンダードの確立	坂井幸子(林幸子)	歯科放射線科	1,000,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
長期骨量維持を目指したプライミング細胞カクテル移植による多面的骨再生療法の開発	秋葉奈美	冠・ブリッジ診療科	1,200,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
RGD配列に富む細胞高親和性リコンビナントペプチドからなる骨再生足場素材の開発	星名秀行	インプラント治療部	1,100,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
病的情動変容が惹起する口腔顔面領域心因性疼痛の行動生理学的解明	田中裕	歯科麻酔科	1,100,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
新たな凍結保存歯移植法の開発-骨髄間葉系幹細胞培養上清を応用する-	新美奏恵	口腔再建外科	800,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
歯胚移植を応用した歯根膜静的幹細胞の恒常性維持機構の解明	大島邦子	小児歯科・障がい者歯科	1,200,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
新たな歯周炎・リウマチ関連機序の解明- NET誘導性カルバミル化ペプチドの関与 -	小林哲夫	歯科総合診療部	600,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
矯正-呼吸器内科連携による閉塞性睡眠時無呼吸発症・重症化リスク予測システムの開発	竹山雅規	矯正歯科	1,400,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
自発性異常味覚の診断に関わる5因子の検討	船山さおり	口腔リハビリテーション科	1,200,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
新規膜結合型キメラサイトカインによるNK細胞増幅法の開発	今村勝	小児科	1,100,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
間葉系幹細胞の急性肝障害下の産生物質、エクソソームに着目した抗炎症療法の開発	土屋淳紀	消化器内科	1,100,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
虚血性不整脈の原因遺伝子同定による病態解明と新たな個別化治療の開発	佐藤光希	循環器内科	1,100,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
新規老化関連分子SAGPを標的とした老化細胞除去による加齢関連疾患治療法の開発	須田将吉	循環器内科	800,000	補委	独立行政法人日本学術振興会

肝細胞癌の脈管侵襲における脂質メ ディエーター分子機構の解明と臨床的 意義	廣瀬雄己	消化器外科	1,000,000	補 委	独立行政法人日 本学術振興会
胃癌DNA二重鎖損傷修復機構破綻の 包括的評価と臨床的意義の解明	堅田朋大	消化器外科	1,000,000	補 委	独立行政法人日 本学術振興会
ケタミンが脊髄伝導路および脊髄シナ プス伝達に及ぼす作用に関する基礎お よび臨床研究	古谷健太	魚沼地域医療教育セ ンター	900,000	補 委	独立行政法人日 本学術振興会
慢性痛成立過程の脳脊髄可塑性変化: 抑制性神経回路の役割の解明	倉部美起	麻酔科	700,000	補 委	独立行政法人日 本学術振興会
インフルエンザ肺炎の早期診断法の確 立とサイトカインパネルを用いた重症化 機序の解明	林正周	呼吸器・感染症内科	1,200,000	補 委	独立行政法人日 本学術振興会
関節軟骨修復に寄与するマイクロRNA の探索	目良恒	魚沼地域医療教育セ ンター	800,000	補 委	独立行政法人日 本学術振興会
骨密度を規定する候補遺伝子Mpp7の 骨組織における役割の解明	近藤直樹	整形外科	1,100,000	補 委	独立行政法人日 本学術振興会
骨軟部腫瘍に対する免疫治療の開発	生越章	魚沼地域医療教育セ ンター	400,000	補 委	独立行政法人日 本学術振興会
特異的代謝メカニズムを標的とした婦人 科悪性腫瘍がん幹細胞の新規治療法 の探索	石黒竜也	総合周産期母子医療 センター	1,000,000	補 委	独立行政法人日 本学術振興会
喘息発症における上咽頭細菌叢の関 与:16s rRNA解析を用いた網羅的検討	高橋奈央	耳鼻咽喉・頭頸部外 科	700,000	補 委	独立行政法人日 本学術振興会
規格化ナノ構造に接着する蛋白質が制 御する細胞機能の解明	秋葉陽介	冠・ブリッジ診療科	1,200,000	補 委	独立行政法人日 本学術振興会
グラスファイバー強化型レジンブロック削 り出しダウエルコアを用いた支台築造法 の開発	荒井良明	顎関節治療部	900,000	補 委	独立行政法人日 本学術振興会
唾液腺腫瘍の低酸素応答性増殖機構 を標的とした抗腫瘍治療法の創出	丸山智	歯科病理検査室	1,300,000	補 委	独立行政法人日 本学術振興会
本邦における中枢性甲状腺機能低下症 の診療状況および分子遺伝学的検討	長崎啓祐	小児科	900,000	補 委	独立行政法人日 本学術振興会
ピエゾセンサーを用いた嚥下機能評価 法と嚥下リハビリテーションシステムの確立	木村慎二	総合リハビリテーショ ンセンター	600,000	補 委	独立行政法人日 本学術振興会
老化細胞の選択的除去効果を有する新 規薬剤の導出と加齢性疾患への効果の 検討	勝海悟郎	循環器内科	1,000,000	補 委	独立行政法人日 本学術振興会
シヌクレイノパチー前駆症状に関与する 口腔微生物神経毒の定量的検討	小澤鉄太郎	魚沼地域医療教育セ ンター	1,400,000	補 委	独立行政法人日 本学術振興会
周産期の母親から子への愛着形成に影 響を与える精神医学的・産科学的因子 の同定	福井直樹	精神科	2,000,000	補 委	独立行政法人日 本学術振興会
腸内細菌叢に着目した統合失調症の mortality gap回復と新たな治療戦略	須貝拓朗	精神科	1,500,000	補 委	独立行政法人日 本学術振興会
胃癌発生腺管の3D組織構築と遺伝子 解析からの検討	八木一芳	魚沼地域医療教育セ ンター(消化器内科)	1,500,000	補 委	独立行政法人日 本学術振興会
小腸絨毛基底膜における「窓」の脂肪吸 収に対する調節機能の解明	横山純二	光学医療診療部	1,400,000	補 委	独立行政法人日 本学術振興会

小計 21件

卵巣癌肝転移における直腸間膜リンパ節転移を経由した新たな転移経路の解明	中野雅人	第一外科	1,700,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
胃癌マイクロサテライト不安定性評価の検証と薬物治療における臨床的意義の解明	羽入隆晃	第一外科	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
大動脈疾患における細胞老化の病的意義の解明	長澤綾子	心臓血管外科	1,000,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
口腔－腸管連関の新展開：嚥下された歯周病原細菌は腸炎を悪化させるか？	高橋直紀	高度口腔機能教育研究センター	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
ヒト歯髄の創傷治癒過程におけるM2マクロファージとシュワン細胞の相互作用の解明	吉羽永子	歯の診療科	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
アスコルビン酸輸送担体を介した象牙芽細胞分化を促進させる歯髄再生メカニズムの解明	大倉直人	歯の診療科	900,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
咀嚼時の情動変化が脳賦活に与える影響	長谷川陽子	義歯診療科	1,500,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
顎口腔運動学習による嚥下関連高次脳ネットワーク再構築を検証する	真柄仁	摂食・嚥下機能回復部	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
3D画像を用いた新しい口蓋裂咬合評価システムの構築	児玉泰光	顎顔面口腔外科	2,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
口腔粘膜重層培養系を用いたmTOR阻害剤による口内炎症発症機序の解明	北村信隆	臨床研究推進センター	1,000,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
口腔癌進展における癌関連線維芽細胞(CAF)の機能解明	船山昭典	口腔再建外科	1,600,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
SOCS3が制御する高脂肪誘発性myeloid hematopoiesisの機序	牛木隆志	生命科学医療センター	900,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
S1Pの癌代謝制御機構に着眼したトリプルネガティブ乳癌の病態と薬剤耐性機序の解明	永橋昌幸	消化器外科	1,800,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
費用対効果分析の実用上の問題点に対する統計学理論による解決策の検討	赤澤宏平	医療情報部	1,600,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
慢性呼吸不全に抗ミトコンドリア抗体の及ぼす影響～陽圧呼吸からの離脱を目指して～	大嶋康義	呼吸器・感染症内科	500,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
常染色体優性遺伝性縮毛症および乏毛症の分子病態解明	藤本篤	皮膚科	1,200,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
蛍光免疫組織化学を用いた胃pSM癌における簇出の生物学的悪性度評価及びその意義	岡村拓磨	消化器外科	500,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
エピジェネティック修飾から見た慢性右心不全の重症度と可逆性の新たな指標	杉本愛	心臓血管外科	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
子宮内膜症発症及び癌化におけるIL1Aの意義	安達聡介	総合周産期母子医療センター	200,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
一側性嗅覚検査によるアルツハイマー病早期診断法の確立	佐々木崇暢	耳鼻咽喉・頭頸部外科	500,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
フラビン蛋白イメージングを用いたマウス大脳味覚野の機能解明	馬場洋徳	耳鼻咽喉・頭頸部外科	900,000	補委	独立行政法人日本学術振興会

小計 21件

IGFBP-3による骨代謝制御機構の解明と新規骨増生法開発への応用	江口香里	冠・ブリッジ診療科	500,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
人工培養骨：骨膜シートがもたらす骨再生現象の経時的解析	今井秀明	インプラント治療部	850,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
口腔がんにおける血液循環がん細胞の存在意義	金丸祥平	口腔再建外科	800,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
口唇閉鎖機能の定量化による新治療目標への臨床応用	高橋功次朗	矯正歯科	900,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
カンボジアにおける妊産婦期からの口腔保健指導が乳歯う蝕予防に与える影響	久保田悠	予防歯科	900,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
再発膠芽腫の新規治療法:EUrd-CED法のラット脳幹部腫瘍モデルでの検討	塚本佳広	脳神経外科	1,100,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
膠芽腫における神経成長関連タンパク質-43kDa(GAP-43)のリン酸化の解析	岡田正康	脳神経外科	900,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
オリゴデンドログリアに着目した多系統萎縮症のバイオマーカーの探索	徳武孝允	脳神経内科	1,100,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
視神経脊髄炎関連疾患の病態機序へのエクソソームの関与	佐治越爾	脳神経内科	1,000,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
画像誘導放射線治療における患者被曝線量低減に向けた線量予測システムの開発	棚邊哲史	放射線治療科	600,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
革新的動体追跡放射線治療に向けたクリップマーカーの開発および臨床応用	川口弦	魚沼地域医療教育センター	600,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
乳児突然死に関連したミトコンドリア呼吸鎖異常症の原因遺伝子PNPAL4の機能解明	入月浩美	小児科	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
炎症背景粘膜に着目した潰瘍性大腸炎関連腫瘍の発生に関する新規バイオマーカーの探索	水野研一	消化器内科	1,000,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
ラット膵発癌モデルの開発による膵癌早期診断マーカーおよび新規治療法の確立	五十嵐聡	消化器内科	1,200,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
新規NASH発癌モデルの開発とその機序解析	坂牧僚	消化器内科	700,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
食道アカラシアにおける食道細菌叢同定とCAGE法を用いた食道発癌リスク解析	高橋一也	消化器内科	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
プロテオーム解析による重症薬疹の早期診断バイオマーカーの探索	濱菜摘	皮膚科	1,600,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
胚盤胞補完法を利用したマウス多能性幹細胞を用いた肺再生	北原哲彦	呼吸器外科	1,400,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
ドロペリドールの脊髄における作用機序の解明	三ツ間祐介	麻酔科	900,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
麻酔薬の脊髄前角細胞における作用機序の解明	出口浩之	麻酔科	900,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
フラビン蛋白蛍光イメージング法を用いたミクログリアの神経障害性疼痛への関与の解明	番場景子	麻酔科	1,700,000	補委	独立行政法人日本学術振興会

小計 21件

オピオイド誘発性痛覚過敏での神経-グリア連関におけるセロトニンの関与の解明	佐々木美佳	麻酔科	1,200,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
フラビン蛋白自家蛍光反応を用いた新たな術中イメージングの確立	三橋大樹	脳神経外科	200,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
3次元画像解析による脊柱靱帯骨化症の骨化進展:骨代謝動態を含めた包括的解析	勝見敬一	魚沼地域医療教育センター	200,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
脊髄損傷回復期に重要なモノアミンの脊髄前角運動ニューロンに対する作用機序の解明	庄司寛和	整形外科	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
卵巣成熟嚢胞性奇形腫の悪性転化症例における網羅的遺伝子異常、融合遺伝子の探索	田村亮	産科婦人科	500,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
3次元がん幹細胞培養系を用いた、卵巣がん腹膜播種促進メカニズムの解明	山脇芳	産科婦人科	1,600,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
蝸牛外側壁構成細胞の加齢性変化-連続切片走査型電子顕微鏡法による3次元解析-	正道隆介	耳鼻咽喉・頭頸部外科	500,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
多列面検出器型CTによる頭頸部癌化学放射線治療後の嚥下障害機序の解明	山崎恵介	耳鼻咽喉・頭頸部外科	700,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
内耳蝸牛におけるN-結合型糖鎖の網羅的解析と内リンパ液環境の制御メカニズムの解明	野々村頼子	耳鼻咽喉・頭頸部外科	1,100,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
末梢神経移行術後の神経回路再編および機能回復	若槻華子	形成・美容外科	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
日中ブラキシズム是正指導としての行動変容法の効果を客観的に定量評価する	高嶋真樹子	顎関節治療部	700,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
口腔内圧を指標とした上顎顎義歯の封鎖性評価	小飯塚仁美	義歯診療科	1,600,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
アロマセラピーによるストレス誘発性咬筋痛改善の脳神経メカニズムの解明	長谷川真奈	歯科総合診療部	1,100,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
拡散強調画像分画成分抽出による三叉神経障害性疼痛の新たな評価法の開発	須田有紀子	歯科麻酔科	700,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
顎変形症に対するVisual feedbackを応用した新規筋機能療法の開発	坂上馨	矯正歯科	1,100,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
小児期における捕食動作メカニズムの機能解析	中島努	小児歯科・障がい者歯科	1,200,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
TRPV1に着目した矯正歯科治療時の疼痛メカニズムと歯槽骨吸収の解明	大倉麻里子	矯正歯科	900,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
SETD1A遺伝子の稀な変異と日本人統合失調症における発症リスク	森川亮	精神科	1,800,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
性ホルモンに着目した治療抵抗性うつ病の治療法および認知症予防法の確立	常山暢人	精神科	2,000,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
がん放射線耐性克服に向けた新たな治療戦略開発;耐性細胞株で増加する分子に着眼して	金光祥臣	臨床研究推進センター	1,600,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
頭頸部癌化学放射線治療に対する抗真菌薬予防投与による新たな毒性低減法の開発	齋藤紘丈	総合臨床研修センター	1,600,000	補委	独立行政法人日本学術振興会

小計 21件

国内におけるパレコウイルスA3の前方視的疫学調査	相澤悠太	小児科	600,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
S1Pの腫瘍関連免疫細胞に与える影響および乳癌制御機構の解明	土田純子	消化器外科	1,600,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
急性期疼痛時の脊髄におけるnNOSとCOX-2の関連性	大西毅	麻酔科	1,600,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
長時間作用型ステロイド添加による局所麻酔薬作用延長効果の解明	松田敬一郎	麻酔科	1,700,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
抑肝散の周術期投与による術後痛と不安の軽減とそのメカニズムの解明	田中萌生	麻酔科	1,500,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
脊髄前角運動ニューロンにおける麻酔薬の作用と、虚血神経保護作用の有無と作用機序	山本知裕	総合周産期母子医療センター	2,400,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
形態、アライメント、運動から見た変形性膝関節症の発症、進行メカニズムの解明	望月友晴	整形外科	500,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
頸髄損傷患者における3DAC画像を用いた軸索再生の可視化と臨床機能との相関解析	浦川貴朗	整形外科	1,400,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
持続性知覚性姿勢誘発めまいの病態解明	八木千裕	耳鼻咽喉・頭頸部外科	1,400,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
機能性メタボライトの抗酸化作用による歯周炎抑制効果の検討	松川由実(松田由実)	歯周病科	1,900,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
2型糖尿病ラットの歯髄創傷治癒におけるグルコース輸送担体Glut4の機能解析	遠間愛子	総合臨床研修センター	800,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
PCSK9は歯周治療効果を評価する新たなバイオリジカルマーカーとなるか？	宮沢春菜	歯周病科	1,200,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
高齢者における光治療応用はスクレーミング後菌血症による生体応答変化を防げるか？	保苅崇大	総合臨床研修センター	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
骨髄由来幹細胞により制御される骨膜シートの骨化機序の解明	上松晃也	インプラント治療部	900,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
特異的分子発現を利用したヒト口唇および赤唇インビトロモデル開発とその有効性の検証	上野山敦士	顎顔面口腔外科	1,100,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
咀嚼・嚥下・呼吸の相互変調効果に関する神経学的解析	那小屋公太	摂食・嚥下機能回復部	1,500,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
骨質マーカーによる進行性下顎頭吸収発症リスク評価法の確立	齋藤大輔	口腔再建外科	1,200,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
間葉系幹細胞培養上清を利用した下顎頭吸収の予防・治療法の検討	須田大亮	口腔再建外科	700,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
ADHD患者の痛覚伝達における神経学的変調の解明	平原三貴子	総合臨床研修センター	2,400,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
矯正力に対する歯根膜の部位特異的な組織応答メカニズムの解明	北見公平	矯正歯科	1,700,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
多職種連携による費用対効果を指標とした歯科における抗菌薬適正使用の研究	吉田謙介	薬剤部	800,000	補委	独立行政法人日本学術振興会

二段階口蓋形成手術法における硬口蓋閉鎖時期の検討－長期言語成績による分析－	大湊麗	言語治療室	2,600,000	☒ 補 ☐ 委	独立行政法人日本学術振興会
---------------------------------------	-----	-------	-----------	---	---------------

・小計 1件

合計 208件

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院 における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1	Shimizu I, Minamino T.	循環器内科	Cellular senescence in cardiac diseases.	J Cardiol. 2019; 74: 313-319.	Original Article
2	Hasegawa Y, Watanabe H, Ikami Y, et al.	循環器内科	Early repolarization and risk of lone atrial fibrillation.	J Cardiovasc Electrophysiol. 2019; 30: 565-568	Original Article
3	Sato A, Takano T, Chinushi M, et al.	循環器内科	Usefulness of the intravenous flecainide challenge test before oral flecainide treatment in a patient with Andersen-Tawil syndrome.	BMJ Case Report. 2019; 7: e229628.	Original Article
4	Chinushi M, Saitoh O, Sugai A, et al.	循環器内科	Enhanced arrhythmogenic potential induced by renal autonomic nerve stimulation: Role of renal artery catheter ablation.	Heart Rhythm. 2019; pii: S1547-5271(19)30670-8.	Original Article
5	Sato A, Hasegawa Y, Haniu H, et al.	循環器内科	Replacement of an Implantable Cardioverter-Defibrillator (ICD) with a New Standard Subcutaneous ICD System in a Patient with Jervell and Lange-Nielsen Syndrome.	Int Heart J. 2019; 60: 1206-1210	Original Article
6	Hoyano M, Ozaki K, Nishida K, et al.	循環器内科	High-resolution Angioscopy of the Endoluminal Stent Graft at Six months after Implantation.	Circ J. 2019; 83: 1970.	Original Article
7	Fuse K, Uemura S, Tamura S, et al.	内分泌・代謝内科, 血液内科	Patient-based prediction algorithm of relapse after allo-HSCT for acute Leukemia and its usefulness in the decision-making process using a machine learning approach.	Cancer Med. 2019;8(11):5058-5067	Original Article
8	Yamamoto M, Fujihara K, Ishizawa M, et al.	内分泌・代謝内科, 血液内科	Overt Proteinuria, Moderately Reduced eGFR and Their Combination Are Predictive of Severe Diabetic Retinopathy or Diabetic Macular Edema in Diabetes.	Invest Ophthalmol Vis Sci. 2019;60(7):2685-2689	Original Article
9	Yamamoto M, Fujihara K, Ishizawa M, et al.	内分泌・代謝内科, 血液内科	Pulse Pressure is a Stronger Predictor Than Systolic Blood Pressure for Severe Eye Diseases in Diabetes Mellitus.	J Am Heart Assoc. 2019;8(8):e010627	Original Article
10	Harada M, Fujihara K, Osawa T, et al.	内分泌・代謝内科, 血液内科	Relationship between Number of Multiple Risk Factors and Coronary Artery Disease Risk With and Without Diabetes Mellitus.	J Clin Endocrinol Metab. 2019;104(1):5084-5090	Original Article
11	Hatta M, Fujihara K, Morikawa SY, et al.	内分泌・代謝内科, 血液内科	Combined Effects of Energy Intake and Physical Activity on Obesity in Japanese Patients with Type 2 Diabetes (JDDM 50): A Cross-Sectional Study,	Diabetes Ther. 2019;10(3):1133-1138	Original Article

小計 11件

12	Mitobe M, Kawamoto K, Suzuki T, et al.	内分泌・代謝内科, 血液内科	Anaplastic large cell lymphoma, with 1,25(OH)2D3-mediated hypercalcemia: A case report.	J Clin Exp Hematop. 2019;59(1):22-28	Case Report
13	Mitobe M, Kawamoto K, Suzuki T, et al.	内分泌・代謝内科, 血液内科	Gemcitabine, Dexamethasone, and Cisplatin Regimen as an Effective Salvage Therapy for High-grade B-cell Lymphoma with MYC and BCL2 and/or BCL6 Rearrangements.	Intern Med. 2019;58(4):575-580	Case Report
14	Kitazawa M, Fujihara K, Osawa T, et al.	内分泌・代謝内科, 血液内科	Risk of coronary artery disease according to glucose abnormality status and prior coronary artery disease in Japanese men.	Metabolism. 2019 Dec;101:153991	Original Article
15	Suzuki T, Miyoshi H, Shimono J, et al.	内分泌・代謝内科, 血液内科	Clinicopathological analysis of splenic red pulp low-grade B-cell lymphoma.	Pathol Int. 2020 May;70(5):280-286	Original Article
16	Sone H, Kaneko T, Shiki K, et al.	内分泌・代謝内科, 血液内科	Efficacy and safety of empagliflozin as add-on to insulin in Japanese patients with type 2 diabetes: A randomized, double-blind, placebo-controlled trial.	Diabetes Obes Metab. 22(3):417-426, 2020	Original Article
17	Fujihara K, Matsubayashi Y, Yamada MH, et al.	内分泌・代謝内科, 血液内科	Combination of diabetes mellitus and lack of habitual physical activity is a risk factor for functional disability in Japanese.	BMJ Open Diabetes Res Care. 2020 Jan;8(1).	Original Article
18	Shibasaki Y, Suwabe T, Katagiri T, et al.	内分泌・代謝内科, 血液内科	The Glasgow prognostic score divides high-risk hematopoietic cell transplantation-specific comorbidity index patients into stratified subgroups in allogeneic hematopoietic cell transplantation.	Ann Hematol. 2020 Mar;99(3):671-673.	Letter
19	Yamamoto S, Ito T, Sato M, Goto S, et al.	腎・膠原病内科	Adsorption of Protein-Bound Uremic Toxins Using Activated Carbon through Direct Hemoperfusion in vitro.	Blood Purif. 2019;48(3):215-222.	Original Article
20	Hiroki Maruyama, Kaori Miyata, Mariko Mikame, et al.	腎・膠原病内科	Effectiveness of plasma lyso-Gb3 as a biomarker for selecting high-risk patients with Fabry disease from multispecialty clinics for genetic analysis	Genet Med. 2019 May;21(5):1263	Original Article
21	Keiko Kabasawa, Michihiro Hosojima, Ribeka Takachi, et al.	腎・膠原病内科	Association of estimated dietary acid load with albuminuria in Japanese adults: a cross-sectional study	BMC Nephrol. 2019 May 30;20(1):194	Original Article
22	Takeshi Kuroda, Yumi Ito, Naofumi Imai, et al.	腎・膠原病内科	Significant association between renal function and area of amyloid deposition in kidney biopsy specimens from patients with AA amyloidosis associated with rheumatoid arthritis and AL amyloidosis	Amyloid. 2019;26(sup1):125-126	Original Article
23	Minako Wakasugi, Junichiro James Kazama, Atsushi Wada, et al.	腎・膠原病内科	Functional impairment attenuates the association between high serum phosphate and mortality in dialysis patients: a nationwide cohort study	Nephrol Dial Transplant. 2019 Jul 1;34(7):1207-1216	Original Article
24	Hiroe Sato, Naoki Kondo, Ayako Wakamatsu, et al.	腎・膠原病内科	High bisphosphonate treatment rates and the prevalence of atypical femoral fractures in patients with systematic lupus erythematosus: a single-center retrospective study performed in Japan	Rheumatol Int. 2019 Oct;39(10):1803-1810	Original Article

小計 13件

25	Minako Wakasugi, Junichiro J Kazama, Kan Kikuchi, et al.	腎・膠原病内科	Hemodialysis Product and Hip Fracture in Hemodialysis Patients: A Nationwide Cohort Study in Japan	Ther Apher Dial. 2019 Dec;23(6):507-517	Original Article
26	Suguru Yamamoto, Toru Ito, Mami Sato, et al.	腎・膠原病内科	Adsorption of Protein-Bound Uremic Toxins Using Activated Carbon through Direct Hemoperfusion in vitro	Blood Purif. 2019;48(3):215-222	Original Article
27	Yuki Higuchi, Michihiro Hosojima, Hideyuki Kabasawa, et al.	腎・膠原病内科	Rice Endosperm Protein Administration to Juvenile Mice Regulates Gut Microbiota and Suppresses the Development of High-Fat Diet-Induced Obesity and Related Disorders in Adulthood	Nutrients. 2019 Dec 2;11(12)	Original Article
28	Minako Wakasugi, Junichiro J Kazama, Ichiei Narita	腎・膠原病内科	Secular trends in end-stage kidney disease requiring renal replacement therapy in Japan: Japanese Society of Dialysis Therapy Registry data from 1983 to 2016	Nephrology (Carlton). 2020 Feb;25(2):172-178	Original Article
29	Sayuri Takamura, Yoshiyasu Fukusumi, Ying Zhang, et al.	腎・膠原病内科	Partitioning-Defective-6-Ephrin-B1 Interaction Is Regulated by Nephlin-Mediated Signal and Is Crucial in Maintaining Slit Diaphragm of Podocyte	Am J Pathol. 2020 Feb;190(2):333-346	Original Article
30	Ichiei Narita, Toya Ohashi, Norio Sakai, et al.	腎・膠原病内科	Efficacy and safety of migalastat in a Japanese population: a subgroup analysis of the ATTRACT study	Clin Exp Nephrol. 2020 Feb;24(2):157-166	Original Article
31	Toru Ito, Suguru Yamamoto, Keiichi Yamaguchi, et al.	腎・膠原病内科	Inorganic polyphosphate potentiates lipopolysaccharide-induced macrophage inflammatory response	J Biol Chem. 2020 Mar 20;295(12):4014-4023	Original Article
32	Taeko Kitsu, Keiko Kabasawa, Yumi Ito, et al.	腎・膠原病内科	Low serum 25-hydroxyvitamin D is associated with low grip strength in an older Japanese population	J Bone Miner Metab. 2020 Mar;38(2):198-204	Original Article
33	Miyuki Sato, Satoshi Watanabe, Hiroshi Tanaka, et al.	呼吸器・感染症内科	Retrospective analysis of antitumor effects and biomarkers for nivolumab in NSCLC patients with EGFR mutations.	PLoS One. 2019 Apr 12;14(4):e0215292	Original Article
34	Yu Saida, Satoshi Watanabe, Tetsuya Abe, et al.	呼吸器・感染症内科	Efficacy of EGFR-TKIs with or without upfront brain radiotherapy for EGFR-mutant NSCLC patients with central nervous system metastases.	Thorac Cancer. 2019 Nov;10(11):2106-2116	Original Article
35	Satoshi Shoji, Michihiro Hosojima, Hideyuki Kabasawa, et al.	呼吸器・感染症内科	Correlation of prechemotherapy urinary megalin ectodomain (A-megalin) levels with the development of cisplatin-induced nephrotoxicity: a prospective observational study.	BMC Cancer. 2019 Dec 2;19(1):1170.	Original Article
36	Satoshi Hokari, Toshiaki Kikuchi	呼吸器・感染症内科	Should Pulmonologists Be Gatekeepers or Supporters for Preoperative Patients?	Respir Investig. 2020 Jan;58(1):4-6	Others
37	Yuka Kimura, Toshiyuki Koya, Takashi Hasegawa, et al.	呼吸器・感染症内科	Characterization of low adherence population in asthma patients from Japan using Adherence Starts with Knowledge-12.	Allergol Int. 2020 Jan;69(1):61-65	Original Article

小計 13件

38	Satoshi Hokari, Yusuke Tamura, Atsushi Kaneda, et al.	呼吸器・感染症内科	Comparative analysis of TTF-1 binding DNA regions in small-cell lung cancer and non-small-cell lung cancer.	Mol Oncol. 2020 Feb;14(2):277-293.	Original Article
39	Satoshi Shoji, Satoshi Watanabe, Kaori Takamura, et al.	呼吸器・感染症内科	First-line Osimertinib Treatment in Patients With Lung Squamous Cell Carcinoma Harboring Active Epidermal Growth Factor Receptor Mutations	Lung Cancer. 2020 Feb;140:113-115	Letter
40	Katsuaki Asakawa, Kazutaka Yoshizawa, Ami Aoki, et al.	呼吸器・感染症内科	Comparison of cytokine profiles between anti-ARS antibody-positive interstitial lung diseases and those with anti-MDA-5 antibodies.	Clin Rheumatol. 2020 Feb 13.	Original Article
41	Sato H, Ikarashi S, Terai S.	消化器内科	A Rare Case Involving the Inability to Belch.	Intern Med. 2019 Apr 1;58(7):929-931.	Case Report
42	Kobayashi T, Takahashi K, Terai S.	消化器内科	A Case of Enteritis Induced by Nivolumab.	Clin Gastroenterol Hepatol. 2019 May;17(6):A31-A32.	Case Report
43	Azumi M, Takeuchi M, Koseki Y, et al.	消化器内科	The search, coagulation, and clipping (SCC) method prevents delayed bleeding after gastric endoscopic submucosal dissection.	Gastric Cancer. 2019 May;22(3):567-575.	Original Article
44	Azumi M, Takeuchi M, Koseki Y, et al.	消化器内科	Correction to: The search, coagulation, and clipping (SCC) method prevents delayed bleeding after gastric endoscopic submucosal dissection.	Gastric Cancer. 2019 May;22(3):576.	Original Article
45	Arao Y, Kamimura K, Ikemi M, et al.	消化器内科	A Rare Duodenal Carcinosarcoma: A Case Report and Literature Review.	Intern Med. 2019 May 1;58(9):1273-1278.	Case Report
46	Kawata Y, Tsuchiya A, Seino S, et al.	消化器内科	Early injection of human adipose tissue-derived mesenchymal stem cell after inflammation ameliorates dextran sulfate sodium-induced colitis in mice through the induction of M2 macrophages and regulatory T cells.	Cell Tissue Res. 2019 May;376(2):257-271.	Original Article
47	Morita S, Yagi K, Terai S.	消化器内科	Endoscopic ultrasound-guided hepaticogastrostomy using a novel covered metallic stent with a fine-diameter delivery system.	Dig Endosc. 2019 May;31(3):e60-e61.	Case Report
48	Morita S, Suda T, Terai S.	消化器内科	Submucosal painting for gastroduodenal stent placement.	Dig Endosc. 2019 May;31(3):e64-e65.	Case Report
49	Ikarashi S, Tsuchiya A, Hayashi K, et al.	消化器内科	Delayed pancreatic ductal leakage after EUS-FNA for autoimmune pancreatitis.	Endosc Ultrasound. 2019 Jul-Aug;8(4):277-278.	Case Report
50	Kimura N, Yokoyama J, Terai S.	消化器内科	Utility of measuring paraesophageal varices using computed tomography to select endoscopic treatment for patients with esophageal varices.	Dig Endosc. 2019 May;31(3):335.	Case Report

小計 13件

51	Kamimura K, Shinagawa-Kobayashi Y, Mizuno K, et al.	消化器内科	Esophageal Stenosis by Prostate Cancer Metastasis.	Am J Gastroenterol. 2019 Apr;114(4):685-687.	Letter
52	Owaki T, Sato H, Horigome R, et al.	消化器内科	Eosinophilic esophagitis after total gastrectomy treated with proton pump inhibitors: a case report.	Clin J Gastroenterol. 2019 Oct;12(5):420-423.	Case Report
53	Watanabe S, Takahashi K, Funakoshi K, et al.	消化器内科	Methotrexate-Associated Lymphoproliferative Disorder: A Rare Case of Large Liver Tumors.	Hepatology. 2019 Aug;70(2):748-750.	Case Report
54	Morita K, Azumi R, Sato M, et al.	消化器内科	Dynamic changes in basal lamina fenestrations in rat intestinal villous epithelium under high-fat diet condition.	Biomed Res. 2019;40(2):57-66.	Case Report
55	Mizuno KI, Yokoyama J, Terai S.	消化器内科	Management of endoscopic submucosal dissection for ulcerative colitis-associated neoplasia: Tips and pitfalls.	Dig Endosc. 2019 Apr;31 Suppl 1:44-45	Case Report
56	Tominaga K, Tsuchiya A, Mizuno KI, et al.	消化器内科	Duodenal lymphangiectasia distinguished from follicular lymphoma by narrow-band imaging magnification endoscopy.	Gastrointest Endosc. 2019 Sep;90(3):528-529	Case Report
57	Sato K, Takahashi K, Aruga Y, et al.	消化器内科	A case of pancreatic pseudocysts accompanied by infection, pseudoaneurysm ruptures, and pseudocystocolonic fistulae.	Clin J Gastroenterol. 2019 Dec;12(6):615-620.	Original Article
58	Kimura N, Yamagiwa S, Sugano T, et al.	消化器内科	Usefulness of chemokine C-C receptor 7-/programmed cell death-1+ follicular helper T cell subset frequencies in the diagnosis of autoimmune hepatitis.	Hepatology Res. 2019 Sep;49(9):1026-1033.	Case Report
59	Sato H, Takahashi K, Mizuno KI, et al.	消化器内科	Overlap in disease concept of functional esophageal disorders and minor esophageal motility disorders.	J Gastroenterol Hepatol. 2019 Nov;34(11):1940-1945	Case Report
60	Kamimura K, Sakamaki A, Kamimura H, et al.	消化器内科	Considerations of elderly factors to manage the complication of liver cirrhosis in elderly patients.	World J Gastroenterol. 2019 Apr 21;25(15):1817-1827.	Review
61	Yoshida T, Takamura M, Goto R, et al.	消化器内科	Efficacy and safety of ribavirin therapy for chronic hepatitis E after kidney transplantation.	Hepatology Res. 2019 Oct;49(10):1244-1248.	Case Report
62	Takahashi S, Kamimura K, Abe H, et al.	消化器内科	Multiple Endocrine Neoplasia Type 1-Related Acute Pancreatitis.	Pancreas. 2019 May/Jun;48(5):e35-e38.	Case Report
63	Hama I, Tominaga K, Yamagiwa S, et al.	消化器内科	Different distribution of mucosal-associated invariant T cells within the human cecum and colon.	Cent Eur J Immunol. 2019;44(1):75-83.	Original Article

小計 13件

64	Hashimoto S, Mizuno KI, Takahashi K, et al.	消化器内科	Evaluating the effect of injecting triamcinolone acetonide in two sessions for preventing esophageal stricture after endoscopic submucosal dissection.	Endosc Int Open. 2019 Jun;7(6):E764-E770.	Case Report
65	Yokoo T, Kanefuji T, Suda T, et al.	消化器内科	Rational arrangement of measuring shear wave speed in the liver.	World J Gastroenterol. 2019 May 28;25(20):2503-2513.	Original Article
66	Tominaga K, Tsuchiya A, Sato H, et al.	消化器内科	A rare case of Paneth cell-rich depressed adenoma in the terminal ileum.	Gastrointest Endosc. 2019 Oct;90(4):694-695.	Case Report
67	Sakai N, Kamimura K, Shinagawa-Kobayashi Y, et al.	消化器内科	Effective prevention of sorafenib-related vascular damage induced adverse events and maintenance of hepatic function by dried bonito broth and histidine.	Cancer Manag Res. 2019 May 13;11:4437-4448.	Original Article
68	Nakajima N, Hashimoto S, Sato H, et al.	消化器内科	Efficacy of gelatin hydrogels incorporating triamcinolone acetonide for prevention of fibrosis in a mouse model.	Regen Ther. 2019 May 10;11:41-46.	Original Article
69	Sakamaki A, Kamimura K, Fukui N, et al.	消化器内科	A case report of psychiatric symptoms following direct-acting antiviral and ribavirin combination therapy for chronic hepatitis C in a patient with innate anxiety.	BMC Gastroenterol. 2019 Jun 13;19(1):85.	Case Report
70	Horigome R, Sato H, Honma T, et al.	消化器内科	Septicemic listeriosis during adalimumab- and golimumab-based treatment for ulcerative colitis: case presentation and literature review.	Clin J Gastroenterol. 2019 Jun 20.	Case Report
71	Takatsuna M, Takeuchi M, Usuda H, et al.	消化器内科	Case of early-stage gastric cancer identified in the gastric mucosa with lanthanum phosphate deposition.	Endosc Int Open. 2019 Jul;7(7):E893-E895.	Original Article
72	Sato H, Honma T, Yamada S, et al.	消化器内科	Rare case of systemic scleroderma showing full-layer histologic features of an ileal lesion.	Gastrointest Endosc. 2019 Dec;90(6):991-993.	Case Report
73	Ko M, Kamimura K, Sakamaki A, et al.	消化器内科	Rare Mesenteric Arterial Diseases: A Case Report of Fibromuscular Dysplasia and Segmental Arterial Mediolysis and Literature Review.	Intern Med. 2019 Dec 1;58(23):3393-3400	Review
74	Yoshida T, Kamimura K, Hosaka K, et al.	消化器内科	Colorectal neuroendocrine carcinoma: A case report and review of the literature.	World J Clin Cases. 2019 Jul 26;7(14):1865-1875.	Review
75	Tominaga K, Yokoyama J, Hayashi K, et al.	消化器内科	Wavy mucosal tear in the sigmoid colon.	Clin Case Rep. 2019 Aug 7;7(9):1825-1826.	Case Report
76	Tsuchiya A, Takeuchi S, Watanabe T, et al.	消化器内科	Mesenchymal stem cell therapies for liver cirrhosis: MSCs as "conducting cells" for improvement of liver fibrosis and regeneration.	Inflamm Regen. 2019 Sep 9;39:18.	Case Report

小計 13件

77	Nagoya T, Kamimura K, Goto R, et al.	消化器内科	Inhibition of sodium-glucose cotransporter 2 ameliorates renal injury in a novel medaka model of nonalcoholic steatohepatitis-related kidney disease.	FEBS Open Bio. 2019 Dec;9(12):2016-2024	Original Article
78	Morita S, Yagi K, Terai S.	消化器内科	Endoscopic retrieval of a button battery using the tip of a magnetic tube.	Dig Endosc. 2019 Nov;31(6):e116-e117.	Case Report
79	Kojima Y, Tsuchiya A, Ogawa M, et al.	消化器内科	Mesenchymal stem cells cultured under hypoxic conditions had a greater therapeutic effect on mice with liver cirrhosis compared to those cultured under normal oxygen conditions.	Regen Ther. 2019 Sep 20;11:269-281.	Original Article
80	Ikarashi S, Tsuchiya A, Kawata Y, et al.	消化器内科	Effects of Human Adipose Tissue-Derived and Umbilical Cord Tissue-Derived Mesenchymal Stem Cells in a Dextran Sulfate Sodium-Induced Mouse Model.	Biores Open Access. 2019 Nov 11;8(1):185-199.	Original Article
81	Mizusawa T, Kamimura K, Sato H, et al.	消化器内科	Methotrexate-related lymphoproliferative disorders in the liver: Case presentation and mini-review.	World J Clin Cases. 2019 Nov 6;7(21):3553-3561.	Case Report
82	Kamimura K, Yokoo T, Abe H, et al.	消化器内科	Gene Therapy for Liver Cancers: Current Status from Basic to Clinics.	Cancers (Basel). 2019 Nov 25;11(12). pii: E1865.	Review
83	Kamimura H, Takeda N, Owaki T, et al.	消化器内科	Antiprogramed cell death-1 therapy with microspheres for metastatic liver tumors.	JGH Open. 2019 Jun 24;3(6):542-543.	Original Article
84	Takahashi SS, Sou YS, Saito T, et al.	消化器内科	Loss of autophagy impairs physiological steatosis by accumulation of NCoR1.	Life Sci Alliance. 2019 Dec 26;3(1). pii: e201900513	Original Article
85	Morita S, Kamimura K, Abe H, et al.	消化器内科	Pulmonary tumor thrombotic microangiopathy of hepatocellular carcinoma: A case report and review of literature	World J Gastroenterol. 2019 Dec 28;25(48):6949-6958	Case Report
86	Tominaga K, Sato H, Yokomichi H, et al.	消化器内科	Variation in small bowel transit time on capsule endoscopy.	Ann Transl Med. 2020 Mar;8(6):348.	Original Article
87	Yokoyama K, Sato H, Sato Y, et al.	消化器内科	Rare gastric outlet obstruction owing to ectopic pancreas: a case report and literature review.	Ann Transl Med. 2020 Mar;8(5):252.	Review
88	Koseki Y, Sato H, Terai S.	消化器内科	An unusual case of esophageal motility disorder.	Gastroenterology. 2020 Mar 20:S0016-5085(20)30382-6.	Original Article
89	Okoshi M, Sato H, Honma T, et al.	消化器内科	Rare paradoxical adverse event in Crohn's disease: a case report.	Ann Transl Med. 2020 Feb;8(4):133.	Original Article

小計 13件

90	Kamimura K, Yokoo T, Abe H, et al.	消化器内科	Effect of Diphtheria Toxin-Based Gene Therapy for Hepatocellular Carcinoma.	Cancers (Basel). 2020 Feb 18;12(2):472.	Original Article
91	Ishihara E, Nagaoka Y, Okuno T, et al.	消化器内科	Prostaglandin E2 and its receptor EP2 trigger signaling that contributes to YAP-mediated cell competition.	Genes Cells. 2020 Mar;25(3):197-214.	Original Article
92	Yoshida T, Hashimoto S, Mizuno KI, et al.	消化器内科	Advanced squamous cell carcinoma in an asymptomatic, large, epiphrenic esophageal diverticulum.	Clin J Gastroenterol. 2020 Jan 27.	Original Article
93	Morita S, Arai Y, Sugawara S, et al.	消化器内科	Percutaneous Gastrojejunostomy Catheter Placement Using a Slow-Leak Balloon through the Reconstructed Gastric Tube after Esophagectomy.	J Vasc Interv Radiol. 2020 Mar;31(3):478-481.	Original Article
94	Shao X, Uojima H, Setsu T, et al.	消化器内科	Usefulness of autotaxin for the complications of liver cirrhosis.	World J Gastroenterol. 2020 Jan 7;26(1):97-108.	Original Article
95	Arao Y, Kamimura K, Ikemi M, et al.	消化器内科	Rare Brain Metastasis From a Pancreatobiliary Subtype of Intraductal Papillary Mucinous Neoplasm.	Pancreas. 2020 Jan;49(1):e8-e11.	Letter
96	Sato H, Mizuno KI, Hashimoto S, et al.	消化器内科	Secondary Achalasia in Myotonic Dystrophy May Have a Different Pathology and Management.	Intern Med. 2020 Mar 15;59(6):875.	Case Report
97	Sato H, Takeuchi M, Terai S.	消化器内科	Endoscopic diverticulectomy for Zenker's diverticulum with heterotopic gastric mucosa.	Dig Endosc. 2020 Jan;32(1):145.	Case Report
98	Sato H, Mizuno KI, Hashimoto S, et al.	消化器内科	Achalasia in a Patient with Myotonic Dystrophy.	Intern Med. 2020 Jan 1;59(1):67-68.	Case Report
99	Sakamaki A, Kamimura K, Fukui N, et al.	消化器内科	A case report of psychiatric symptoms following direct-acting antiviral and ribavirin combination therapy for chronic hepatitis C in a patient with innate anxiety.	BMC Gastroenterol. 2019; 19(1): 85	Case Report
100	Suzuki T, Takizawa T, Kamio Y, et al.	脳神経内科	Noninvasive Vagus Nerve Stimulation Prevents Ruptures and Improves Outcomes in a Model of Intracranial Aneurysm in Mice.	Stroke. 2019 May;50(5):1216-1223	Original Article
101	Natsumeda M, Liu Y, Nakata S, et al.	脳神経内科	Inhibition of enhancer of zest homologue 2 is a potential therapeutic target for high-MYC medulloblastoma.	Neuropathology. 2019 Apr;39(2):71-77	Original Article
102	Sano M, Jinguji S, Yoshimura J, et al.	脳神経内科	De Novo Pineal Region Germinoma in the Seventh Decade of Life: A Case Report	NMC Case Report Journal. 2019 Jun 11;6(3):75-78	Case Report

小計 13件

103	Ando K, Hasegawa H, Kikuchi B, et al.	脳神経内科	Treatment Strategies for Infectious Intracranial Aneurysms: Report of Three Cases and Review of the Literature	Neurologia medico-chirurgica(Tokyo). 2019 Sep 15;59(9):344-350.	Original Article
104	Suzuki T, Okamoto K, Genkai N, et al.	脳神経内科	A homogeneously enhancing mass evolving into multiple hemorrhagic and necrotic lesions in amoebic encephalitis with necrotizing vasculitis.	Clinical imaging. 2020 Mar;60(1):48-52	Case Report
105	Kanazawa M, Takahashi T, Ishikawa M, et al.	脳神経内科	Angiogenesis in the ischemic core: A potential treatment target?	J Cereb Blood Flow Metab. 2019 May;39(5):753-769	Review
106	Hatakeyama M, Ninomiya I, Kanazawa M.	脳神経内科	Angiogenesis and neuronal remodeling after ischemic stroke	Neural Regen Res. 2020 Jan;15(1):16-19	Review
107	Uemura M, Nozaki H, Koyama A, et al.	脳神経内科	HTRA1 Mutations Identified in Symptomatic Carriers Have the Property of Interfering the Trimer-Dependent Activation Cascade	Front Neurol. 2019 Jun 28;10:693	Original Article
108	Sugai A, Kato T, Koyama A, et al.	脳神経内科	Non-genetically modified models exhibit TARDBP mRNA increase due to perturbed TDP-43 autoregulation	Neurobiol Dis. 2019 Oct;130:104534	Original Article
109	Hatakeyama M, Kanazawa M, Ninomiya I, et al.	脳神経内科	A novel therapeutic approach using peripheral blood mononuclear cells preconditioned by oxygen-glucose deprivation	Sci Rep. 2019 Nov 14;9(1):16819	Original Article
110	Nishizawa M, Onodera O, Hirakawa A, et al.	脳神経内科	Effect of rovatirelin in patients with cerebellar ataxia: two randomised double-blind placebo-controlled phase 3 trials	J Neurol Neurosurg Psychiatry. 2020 Mar;91(3):254-262	Original Article
111	Ando S, Kanazawa M, Onodera O.	脳神経内科	Progressive Supranuclear Palsy with Predominant Cerebellar Ataxia	J Mov Disord. 2020 Jan;13(1):20-26	Review
112	Kawachi I, Okamoto S, Sakamoto M, et al.	脳神経内科	Recent transition of medical cost and relapse rate of multiple sclerosis in Japan based on analysis of a health insurance claims database	BMC Neurol. 2019 Dec 16;19(1):324	Original Article
113	Ozawa T, Shimizu H, Matsui H, et al.	脳神経内科	Shrinkage of the myenteric neurons of the small intestine in patients with multiple system atrophy	Auton Neurosci. 2019 Nov;221:102583	Original Article
114	Sakai N, Uemura M, Kato T, et al.	脳神経内科	Hemorrhagic cerebral small vessel disease caused by a novel mutation in 3' UTR of collagen type IV alpha 1	Neurol Genet. 2019 Dec 26;6(1):e383	Case Report
115	Uemura M, Kanazawa M, Yamagishi T, et al.	脳神経内科	Role of RNF213 p.4810K variant in the development of intracranial arterial disease in patients treated with nilotinib	J Neurol Sci. 2020 Jan 15;408:116577	Letter

小計 13件

116	Kenta Sasaki, Qiliang Zhou, Yoshifumi Matsumoto, et al.	腫瘍内科	Treatment of Gastric and Gastroesophageal Cancer Patients With Hemodialysis by CapeOX.	Intern Med, 58 (19), 2791-2795	Case Report
117	Yoshifumi Matsumoto, Kazuyoshi Kimura, Qiliang Zhou, et al.	腫瘍内科	Treatments and Outcomes of Older Patients With Esophageal Cancer: Comparison With Younger Patients	Mol Clin Oncol, 11 (4), 383-389 Oct 2019	Original Article
118	Tajiri M, Suzuki Y, Tsuneyama N, et al.	精神科	Hormonal dynamics effect of serum insulin-like growth factor I and cortisol/dehydroepiandrosterone sulfate ratio on symptom severity of major depressive disorder.	J Clin Psychopharmacol. 2019; 39(4): 367-371	Original Article
119	Igeta H, Watanabe Y, Morikawa R, et al.	精神科	Rare compound heterozygous missense SPATA7 variations and risk of schizophrenia; whole-exome sequencing in a consanguineous family with affected siblings, follow-up sequencing and a case-control study.	Neuropsychiat Dis Treat. 2019; 15: 2353-2363	Original Article
120	Motegi T, Fukui N, Hashijiri K, et al.	精神科	Identifying the factor structure of the Mother-to-Infant Bonding Scale for post-partum women and examining its consistency during pregnancy.	Psychiatry Clin Neurosci. 2019; 73(10): 661-662	Letter
121	Sugai T, Suzuki Y, Yamazaki M, et al.	精神科	Lower prolactin levels in patients treated with aripiprazole regardless of antipsychotic monopharmacy or polypharmacy.	J Clin Psychopharmacol. 2020; 40(1): 14-17, 2020	Original Article
122	Sugimoto A, Suzuki Y, Orime N, et al.	精神科	Non-linear pharmacokinetics of atomoxetine in adult Japanese patients with ADHD.	J Atten Disord. 2020; 24(3): 490-493	Original Article
123	Hayashi T, Akikawa R, Kawasaki K, et al.	精神科	Macaques exhibit implicit gaze bias anticipating others' false-belief-driven actions via medical prefrontal cortex.	Cell Rep. 2020; 30(13): 4433-4444	Original Article
124	Aizawa Yuta	小児科	Multidrug-Resistant Gram-Negative Bacterial Bloodstream Infections in Children's Hospitals in Japan, 2010-2017.	Pediatr Infect Dis J. 2019 Jul;38(7):653-659.	Original Article
125	Oyanagi H, Shimada Y, Nagahashi M, et al.	消化器外科	SMAD4 alteration associates with invasive-front pathological markers and poor prognosis in colorectal cancer.	Histopathology. 2019 May;74(6):873-882	Original Article
126	Toge K, Sakata J, Hirose Y, et al.	消化器外科	Lymphatic spread of T2 gallbladder carcinoma: Regional lymphadenectomy is required independent of tumor location.	Eur J Surg Oncol. 2019 Aug;45(8):1446-1452	Original Article
127	Moro K, Nagahashi M, Gabriel E, et al.	消化器外科	Clinical application of ceramide in cancer treatment.	Breast Cancer. 2019 Jul;26(4):407-415	Review
128	Otani T, Ichikawa H, Hanyu T, et al.	消化器外科	Long-Term Trends in Respiratory Function After Esophagectomy for Esophageal Cancer.	J Surg Res. 2020 Jan;245:168-178	Original Article

小計 13件

129	Wakai T, Prasoon P.	消化器外科	Dynamic Changes with Liver Atrophy as an Alternate Marker of Chemotherapy-Associated Liver Injury.	Ann Surg Oncol. 2019 Nov;26(12):3813-3814	Letter
130	Takabe K, Nagahashi M, Butash AL, et al.	消化器外科	Do Preys Prey on Their Predators? Confusion Over Predatory "Hage-taka" Journals.	Japan Med Assoc J. 2019 Sep 4;2(2):200-201	Review
131	Prasoon P, Hirose Y, Sakata J, et al.	消化器外科	Early-stage T1b adenocarcinoma arising in the remnant cystic duct after laparoscopic cholecystectomy: a case report and literature review.	BMC Surg. 2019 Nov 29;19(1):183	Case Report
132	Yuza K, Sakata J, Prasoon P, et al.	消化器外科	Long-term outcomes of surgical resection for T1b gallbladder cancer: an institutional evaluation.	BMC Cancer. 2020 Jan 6;20(1):20	Original Article
133	Yamada S, Kameyama H, Abe K, et al.	消化器外科	Timing of Surgery to Treat Ulcerative Colitis: An Investigation Focused on Japanese Adults.	Inflamm Intest Dis. 2020 Feb;5(1):20-26	Original Article
134	Shiraishi S, Sugimoto A, Tsuchida M.	心臓血管外科, 呼吸器外科	Swing-back and trap-door technique repair for interrupted aortic arch with right-sided descending aorta	Interact Cardiovasc Thorac Surg. 2019 Nov ;29•5:818-819.	Case Report
135	Sato Seijiro; Nakamura Masaya; Shimizu Yuki;et al.	心臓血管外科, 呼吸器外科	The impact of emphysema on surgical outcomes of early-stage lung cancer: a retrospective study	BMC Pulmonary Medicine. ; 2019 Apr ;19•1:73	Original Article
136	Shiraishi S, Bamba K, Sugimoto A,et al.	心臓血管外科, 呼吸器外科	A novel parameter for pulmonary blood flow during palliative procedures: velocity time integral of the pulmonary vein†.	Eur J Cardiothorac Surg. 2019 May ;55•5:823-828	Original Article
137	Ai Sugimoto, MD, PhD, Shuichi Shiraishi, MD, PhD, Masashi Takahashi, MD, PhD,et al.	心臓血管外科, 呼吸器外科	Superior Vena Cava Flap to Reroute Partial Anomalous Pulmonary Venous Connection	World J Pediatr Congenit Heart Surg. 2019 Sep;10•5:645-647	Case Report
138	Yoda Takuya	整形外科	Association between bone mineral density and ulnar styloid fracture in older Japanese adults with low-energy distal radius fracture.	Arch Osteoporos. 2020 Mar 19;15(1):51.	Original Article
139	Hiroyuki Kawashima	整形外科	Symptom Burden and End-of-Life Palliative Treatments during the Last Two Weeks of Life in Patients with Advanced Musculoskeletal Sarcoma.	J Palliat Med. 2019. Aug;22(8):908-914.	Original Article
140	Akira Ogose	整形外科	The natural history of incidental retroperitoneal schwannomas.	PLoS One. 2019 Apr 15;14(4):e0215336.	Original Article
141	Naoki Oike	整形外科	Long-term outcomes of an extracorporeal irradiated autograft for limb salvage operations in musculoskeletal tumours: over ten years' observation.	Bone Joint J. 2019 Sep;101-B(9):1151-1159.	Original Article

小計 13件

142	Tetsuro Yamagishi	整形外科	Expression Profiling of Receptor-Activator of Nuclear Factor-Kappa B Ligand in Soft Tissue Tumors.	Tohoku J Exp Med. 2019. Jun;248(2):87-97.	Original Article
143	Hiroyuki Kawashima	整形外科	Reconstruction of knee extensor with patellar tendon autograft following intraoperative radiotherapy.	Knee. 2020 Jan;27(1):257-262.	Original Article
144	Tetsuro Yamagishi	整形外科	Stanniocalcin-1 mRNA expression in soft-tissue tumors.	Nagoya J Med Sci. 2020 Feb;82(1):85-92.	Original Article
145	Takashi Ariizumi	整形外科	Osteoinduction and osteoconduction with porous beta-tricalcium phosphate implanted after fibular resection in humans.	J Biomaterials Nanobiotechnology. 2019;10:159-173.	Original Article
146	Ohashi M, Watanabe K, Hirano T, et al.	整形外科	Long-term Impacts of Brace Treatment for Adolescent Idiopathic Scoliosis on Body Composition, Paraspinal Muscle Morphology, and Bone Mineral Density.	Spine (Phila Pa 1976). 2019 Sep;44(18):E1075-E1082.	Original Article
147	Ohashi M, Hirano T, Watanabe K, et al.	整形外科	En Bloc Spondylectomy for Spinal Metastases: Detailed Oncological Outcomes at a Minimum of 2 Years after Surgery.	Asian Spine J. 2019 Apr;13(2):296-304.	Original Article
148	Watanabe K, Ohashi M, Hirano T, et al.	整形外科	Health-Related Quality of Life in Nonoperated Patients With Adolescent Idiopathic Scoliosis in the Middle Years: A Mean 25-Year Follow-up Study	Spine (Phila Pa 1976) 2020 Jan 15;45(2):E83-E89	Original Article
149	Watanabe K, Katsumi K, Ohashi M, et al.	整形外科	Surgical Outcomes of Spinal Fusion for Osteoporotic Vertebral Fracture in the Thoracolumbar Spine: Comprehensive Evaluations of 5 Typical Surgical Fusion Techniques	J Orthop Sci 2019 Nov;24(6):1020-1026	Original Article
150	Mizouchi T, Watanabe K, Izumi T, et al.	整形外科	Quantitative Radiographic Analysis of Foraminal Re-Stenosis After Posterior Cervical Foraminotomy With Laminoplasty	J Clin Neurosci 2019 Sep;67:99-104.	Original Article
151	Watanabe K, Ohashi M, Hirano T, et al.	整形外科	Can Posterior Implant Removal Prevent Device-Related Vertebral Osteopenia After Posterior Fusion in Adolescent Idiopathic Scoliosis? A Mean 29-year Follow-Up Study	Eur Spine J 2019 Jun;28(6):1314-1321	Original Article
152	Mochizuki T, Tanifuji O, Sato T, et al.	整形外科	Scoring system for optimal management of acute traumatic patellar dislocation: A multicenter study.	J Orthop Sci. 2020 Jan;25(1):173-177	Original Article
153	Kondo N, Arai K, Fujisawa J, et al.	整形外科	Clinical outcome of Niigata-Senami-Kyocera modular unconstrained total elbow arthroplasty for destructive elbow in patients with rheumatoid arthritis.	J Shoulder Surg. 2019 May;28: 915-924	Original Article
154	Kanai T, Kondo N, Okada M, et al.	整形外科	The JNK pathway represents a novel target in the treatment of rheumatoid arthritis through the suppression of MMP-3	J Orthop Surg Res 2020; 15: 87	Original Article

小計 13件

155	Kondo N, Miyasaka D, Watanabe Y, et al.	整形外科	Atypical femoral fracture associated with delayed union for which the cessation of alendronate and daily administration of teriparatide contributed to fracture healing: histopathological evidence of the enhancement in bone formation parameters.	Modern Rheumatol Case Rep 2019; 4: 141-146.	Case Report
156	Kondo N, Mizouchi T, Kubota K, et al.	整形外科	A case of advanced ankylosing spondylitis complicated with cervical myelopathy due to ossification of yellow ligament in which bone histomorphometry demonstrated delayed calcification	Modern Rheumatol Case Rep 2020 Jan 7 186-191	Case Report
157	Kondo N, Kudo N, Fujisawa J, et al.	整形外科	Clinical outcome of certolizumab pegol use in patients with rheumatoid arthritis.	Clin Rheumatol Rel Res 2019; 31: 314-320.	Original Article
158	Okumura G, Kondo N, Sato K, et al.	整形外科	Experimental arthritis and Porphyromonas gingivalis administration synergistically decrease bone regeneration in femoral cortical defects.	Scientific Reports 2019;9:20031.	Original Article
159	Hayato Suzuki	整形外科	Anatomical Sacral Slope, a New Pelvic Parameter, Is Associated With Lumbar Lordosis and Pelvic Incidence in Healthy Japanese Women: A Retrospective Cross-Sectional Study	J Orthop Surg (Hong Kong). Jan-Apr 2020;28(1):2309499 019888809	Original Article
160	Norio Imai	整形外科	Correlation of tilt of the anterior pelvic plane angle with anatomical pelvic tilt and morphological configuration of the acetabulum in patients with developmental dysplasia of the hip: a cross-sectional study	Journal of Orthopedic Surgery and Research 14:323 2019	Original Article
161	Norio Imai	整形外科	Tibiofemoral rotation is related to differences in the lateral femoral condyle configuration in both normal subjects and women with hip dysplasia: A three-dimensional analysis	BMC musculoskeletal Disorders 20:353 2019	Original Article
162	Norio Imai	整形外科	Evaluation of anatomical pelvic parameters between normal, healthy men and women using three-dimensional computed tomography: a cross-sectional study of sex-specific and age-specific differences	Journal of Orthopedic Surgery and Research 14:126 2019	Original Article
163	Norio Imai	整形外科	Accuracy of acetabular cup placement using CT-based navigation in total hip arthroplasty: Comparison between obese and non-obese patients	Journal of Orthopaedic Science 24:482-487. 2019	Original Article
164	Norio Imai	整形外科	Incidence of four major types of osteoporotic fragility fractures among elderly individuals in Sado, Japan, in 2015	Journal of Bone and Mineral Metabolism 37:484-490. 2019	Original Article
165	Kobayashi T, Kubota M, Kinoshita Y, et al.	小児外科	Epidermal growth factor receptor/heme oxygenase-1 axis is involved in chemoresistance to cisplatin and pirarubicin in HepG2 cell lines and hepatoblastoma specimens	Pediatr Surg Int 35(12):1369-1378, 2019.	Original Article
166	Kabata Y, Orime M, Abe R, et al.	皮膚科	The Morphology, Size and Density of the Touch Dome in Human Hairy Skin by Scanning Electron Microscopy	Microscopy (Oxf). 2019 Jun 1;68(3):207-215	Original Article
167	Shinkuma S, Nakamura H, Maehara M, et al.	皮膚科	Electron Microscopic and Immunohistochemical Findings of the Epidermal Basement Membrane in Two Families with Nail-patella Syndrome	Acta Derm Venereol. 2019 Nov 1;99(12):1110-1115.	Original Article

小計 13件

168	Hama N, Nishimura K, Hasegawa A, et al.	皮膚科	Galectin-7 as a Potential Biomarker of Stevens-Johnson Syndrome/Toxic Epidermal Necrolysis: Identification by Targeted Proteomics Using Causative Drug-Exposed Peripheral Blood Cells	J Allergy Clin Immunol Pract. Nov-Dec 2019;7(8):2894-2897	Original Article
169	Iwai Y, Hama N, Abe R.	皮膚科	sQuiz Your Knowledge! Cord-like Erythematous Plaques on the Lower Limbs of a Patient With Systemic Lupus Erythematosus	Eur J Dermatol. 2020 Feb 1;30(1):80-81	Original Article
170	Ansai O, Shinkuma S, Kabata Y, et al.	皮膚科	Amino Acid Charge and Epidermolysis Bullosa Simplex Severity: Genotype-Phenotype Correlations	J Eur Acad Dermatol Venereol. 2020 Feb;34(2):e87-e90	Letter
171	Tomii K, Fujimoto A, Yokoyama R, et al.	皮膚科	Erythema Dyschromicum Perstans With a Wagyu Beef-Like Appearance on Dermoscopy	J Eur Acad Dermatol Venereol. 2020 Mar;34(3):e141-e142	Letter
172	Hagiwara R, Shinkuma S, Tomii K, et al.	皮膚科	Multiple Seborrheic Keratosis-Like Lesions of Mycosis Fungoides Masquerading as the Leser-Trèlat Sign	J Dermatol. 2020 Mar;47(3):e96-e97	Letter
173	Ominato J, Oyama T, Cho H, et al.	眼科	The Natural Course of IgG4-related Ophthalmic Disease After Debulking Surgery: A Single-Centre Retrospective Study	BMJ Open Ophthalmol. 2019 Aug 9;4(1):e000295.	Original Article
174	Terashima H, Hasebe H, Okamoto F, et al.	眼科	COMBINATION THERAPY OF INTRAVITREAL RANIBIZUMAB AND SUBTHRESHOLD MICROPULSE PHOTOCOAGULATION FOR MACULAR EDEMA SECONDARY TO BRANCH RETINAL VEIN OCCLUSION: 6-MONTH RESULT	Retina. 2019 Jul;39(7):1377-1384.	Original Article
175	Igarashi R, Yamashita SI, Yamashita T, et al.	眼科	Gemcitabine Induces Parkin-independent Mitophagy Through Mitochondrial-Resident E3 Ligase MUL1-mediated Stabilization of PINK1	Sci Rep. 2020 Jan 30;10(1):1465.	Original Article
176	Ogi M, Yamagishi T, Tsukano H, et al.	耳鼻咽喉・頭頸部外科	Associative responses to visual shape stimuli in the mouse auditory cortex.	PLoS One. 2019 Oct 3; 14(10): e0223242	Original Article
177	Yagi C, Morita Y, Kitazawa M, et al.	耳鼻咽喉・頭頸部外科	A validated questionnaire to assess the severity of persistent postural-perceptual dizziness (PPPD): The Niigata PPPD Questionnaire (NPQ)	Otol Neurotol. 2019 Aug;40(7):e747-e752	Original Article
178	Morita Y, Sasaki T, Takahashi K, et al.	耳鼻咽喉・頭頸部外科	Age-related hearing loss is strongly associated with cognitive decline regardless of the APOE4 polymorphism.	Otol Neurotol. 2019 Dec;40(10):1263-1267	Original Article
179	Yagi C, Morita Y, Takahashi K, et al.	耳鼻咽喉・頭頸部外科	Otosclerosis: anatomical distribution of otosclerotic loci analyzed by high-resolution computed tomography.	Eur Arch Otorhinolaryngol. 2019 May;276(5):1335-1340	Original Article
180	Morita Y, Tono T, Sakagami M, et al.	耳鼻咽喉・頭頸部外科	Nationwide Survey of Congenital Cholesteatoma using Staging and Classification Criteria for Middle Ear Cholesteatoma Proposed by the Japan Otological Society	Auris Nasus Larynx. 2019 Jun;46(3):346-352	Original Article

小計 13件

181	Ishioka K, Okumura H, Sasaki T, et al.	耳鼻咽喉・頭頸部外科	Effects of unilateral sinonasal surgery on sleep-disordered breathing.	Acta Otolaryngol. 2019 Sep;139(9):777-782	Original Article
182	Honda K, Ishiyama K, Suzuki S, et al.	耳鼻咽喉・頭頸部外科	Sentinel lymph node biopsy using combined preoperative CT lymphography and intraoperative indocyanine green fluorescence imaging in patients with early tongue cancer.	JAMA Otolaryngology-Head & Neck Surgery. 2019Aug; 145(8): 735-740	Original Article
183	Ueki Y, Saito K, Ilioka H, et al.	耳鼻咽喉・頭頸部外科	PLOD2 Is Essential to Functional Activation of Integrin β 1 for Invasion/Metastasis in Head and Neck Squamous Cell Carcinomas.	iScience. 2020 Feb 21;23(2):100850	Original Article
184	Sugino K, Tamura R, Nakaoka H, et al.	産科婦人科	Germline and somatic mutations of homologous recombination-associated genes in Japanese ovarian cancer patients.	Sci Rep. 2019 Nov 28;9(1):17808.	Original Article
185	Suda K, Nakaoka H, Yoshihara K, et al.	産科婦人科	Different mutation profiles between epithelium and stroma in endometriosis and normal endometrium.	Hum Reprod. 2019 Oct 2;34(10):1899-1905.	Original Article
186	Yoshihara K, Sekine M, Nishino K, et al.	産科婦人科	The 61st Annual Meeting of the Japanese Society for Gynecologic Oncology (JSGO).	J Gynecol Oncol. 2019 Nov;30(6):e114.	Original Article
187	Mori Y, Yamawaki K, Ishiguro T, et al.	産科婦人科	ALDH-Dependent Glycolytic Activation Mediates Stemness and Paclitaxel Resistance in Patient-Derived Spheroid Models of Uterine Endometrial Cancer.	Stem Cell Reports. 2019 Oct 8;13(4):730-746.	Original Article
188	Enomoto T, Aoki D, Hattori K, et al.	産科婦人科	The first Japanese nationwide multicenter study of BRCA mutation testing in ovarian cancer: CHARacterizing the cross-sectionaL approach to Ovarian cancer geneTic TEsting of BRCA (CHARLOTTE).	Int J Gynecol Cancer. 2019 Jul;29(6):1043-1049.	Original Article
189	Nonaka T, Takahashi M, Nonaka C, et al.	産科婦人科	The analysis of chromosomal abnormalities in patients with recurrent pregnancy loss, focusing on the prognosis of patients with inversion of chromosome (9).	Reprod Med Biol. 2019 Jun 24;18(3):296-301.	Original Article
190	Hirotake Saito, Ryusuke Shodo, Keisuke Yamazaki, et al.	放射線診断科・治療科	The Association Between Oral Candidiasis and Severity of Chemoradiotherapy-Induced Dysphagia in Head and Neck Cancer Patients: A Retrospective Cohort Study	Clin Transl Radiat Oncol. 2019 Oct 31;20:13-18	Original Article
191	Nakano Toshimichi, Aoyama H, Saito H, et al.	放射線診断科・治療科	The neurocognitive function change criteria after whole-brain radiation therapy for brain metastasis, in reference to health-related quality of life changes: a prospective observation study.	BMC Cancer BMC Cancer 20(1):66,202020	Original Article
192	Yamamoto T, Schindler E	麻酔科	A new way to determine correct depth of central venous catheter insertion using a real-time ultrasound-guided insertion technique in pediatric patients	Paediatr Anaesth. 2019; 29・4:368-76	Original Article
193	Seino Y, Ohashi N, Imai H, et al.	麻酔科	Optimal position of inferior vena cava cannula in pediatric cardiac surgery: A prospective, randomized, controlled, double-blind study	J Cardiothorac Vasc Anesth. 2019; 33・5: 1253-9	Original Article

小計 13件

194	Ohashi N, Ohashi M, Baba H	麻酔科	Action of Norepinephrine on Lamina X of the Spinal Cord	Neuroscience. 2019; 408:214-25	Original Article
195	Yamamoto T, Flenner M, Schindler E	麻酔科	Complications associated with nasotracheal intubation and proposal of simple countermeasure	Anaesthesiol Intensive Ther. 2019; 51•1: 72-3	Letter
196	Onishi T, Watanabe T, Sasaki M, et al.	麻酔科	Acute spatial spread of NO-mediated potentiation during hindpaw ischaemia in mice	J Physiol. 2019; 597•13: 3441-55	Original Article
197	Yamamoto T, Schindler E, Asfour B, et al.	麻酔科	Cardiopulmonary bypass method with blood delivery via femoral artery cannulation for pediatric aortic arch repair	Paediatr Anaesth. 2019; 29•8:885-6	Letter
198	Yamamoto G, Kamiya Y, Sasaki M, et al.	麻酔科	Neurosteroid dehydroepiandrosterone sulphate enhances pain transmission in rat spinal cord dorsal horn	Br J Anaesth. 2019; 123•2: e215-25	Original Article
199	Hiroshi Endoh	救急科	Early prognostication of neurological outcome by heart rate variability in adult patients with out-of-hospital sudden cardiac arrest.	Crit Care 2019 Oct 17;23(1):323	Original Article
200	Takeuchi R, Katagiri W, Endo S, Kobayashi T	口腔再建外科	Exosomes from conditioned media of bone marrow-derived mesenchymal stem cells promote bone regeneration by enhancing angiogenesis	PLoS One. 2019 Nov;14(11): e0225472	Original Article
201	Kuryu M, Niimi K, Goto H, et al.	口腔再建外科	Assessment of the oral health-related quality of life and the health-related quality of life of patients with stomatological diseases	Oral Sci Int. 2019 Sep;16(3):147-154	Original Article
202	Shimizu S, Nakatani Y, Kakiyama Y, et al.	顎顔面口腔外科	Daily administration of Sake Lees (Sake Kasu) reduced psychophysical stress-induced hyperalgesia and Fos responses in the lumbar spinal dorsal horn evoked by noxious stimulation to the hindpaw in the rats.	Biosci Biotechnol Biochem 2020 Jan;84(1):159-170.	Original Article
203	Masayuki Tsuneki, Satoshi Maruyama, Manabu Yamazaki, et al.	顎顔面口腔外科	Masseter muscle hypertrophy: A case report	J Oral Maxillofac Surg Med Pathol 31, 6, 381-434	Case Report
204	Yoko Iwase, Issei Saitoh, Atsuyoshi Okamoto, et al.	小児歯科・障がい者歯科	Comparison of dynamic occlusal contacts during chewing between children with primary dentition and normal adult females	Pediatric Dental Journal. 2019 Dec; 29,3: 116-122	Original Article
205	Yuki Nakamura, Tsutomu Nakajima, Yuki Sasakawa, et al.	小児歯科・障がい者歯科	Influence of Food Adhesivity and Quantity in Lip Closing Pressure	Physiol Behav. 2020 Feb; 1, 214: 112743	Original Article
206	Kurihara K, Fukui T, Sakaue K, et al.	矯正歯科	The effect of tongue thrusting on tongue pressure production during swallowing in adult anterior open bite cases	J Oral Rehabil. 2019 Oct;46(10):895-902	Original Article

小計 13件

207	Trakanant S, Nihara J, Kawasaki M, et al.	矯正歯科	Molecular mechanisms in palatal rugae development.	J Oral Biosci. 2020 Mar;62(1):30-35	Review
208	Yamaga T, Ogawa H, Miyazaki H	予防歯科	Influence of occlusal deterioration considering prosthetics on subsequent all-cause mortality in a Japanese elderly independent population	Gerodontology 2019 June;36(2):163-170	Original Article
209	Tetsuo Kobayashi	歯周病科	Effects of tofacitinib on the clinical features of periodontitis in patients with rheumatoid arthritis: two case reports.	MBC Rheumatol.2019 Apr 19;3:13	Case Report
210	Hasegawa Y, Sakuramoto-Sadakane A, Yoshida M, et al.	義歯診療科	Basic survey for the prevention of intraoral residual medication in older adults: A pilot study.	Gerodontology. 2020 Mar; 37(1):93-96	Original Article
211	Hasegawa Y, Horii N, et al.	義歯診療科	Is a history of falling related to oral function? A cross-sectional survey of elderly subjects in rural Japan.	Int J Environ Res Public Health. 2019 Oct 11;16(20):3843	Original Article
212	Salazar S., Hori K., Uehara F., et al.	義歯診療科	Masticatory performance analysis using photographic image of gummy jelly.	J Prosthodont Res. 2020 Jan;64(1):48-54	Original Article
213	Tsujimura T, Ueha R, Yoshihara M, et al.	口腔リハビリテーション科	Involvement of the epithelial sodium channel in initiation of mechanically evoked swallows in anaesthetized rats	J Physiol. 2019 Jun;597(11):2949-2963	Original Article
214	Ito K, Eda Hiro A, Watanabe Y, et al.	口腔リハビリテーション科	Qualitative analysis of the vocabulary used in work logs of a preventive programme for elderly oral function and nutrition	J Oral Rehabil. 2019 Aug;46(8):723-729	Original Article
215	Yoko Matsuno, Takefumi Yamashita, Michiru Wagatsuma, et al.	検査部	Convergence in LINE-1 nucleotide variations can benefit redundantly forming triplexes with lncRNA in mammalian X-chromosome inactivation	Mob DNA. 2019 Jul 30;10:33	Original Article
216	Masakazu Nitta	高次救命災害治療センター	A case of diffuse alveolar hemorrhage following synthetic cathinone inhalation	World J Emerg Med 2020;11(3):182-184	Case Report
217	Yusuke Hayashi	高次救命災害治療センター	Lactate indices as predictors of in-hospital mortality or 90-day survival after admission to an intensive care unit in unselected critically ill patients	PLoS One 2020 Mar 9;15(3):e0229135.	Original Article
218	Masakazu Nitta	高次救命災害治療センター	Aortoesophageal Fistula after Thoracic Endovascular Aortic Repair for Blunt Thoracic Aortic Injury	Journal of Trauma and Injury 2019; 32(3): 172-175	Case Report
219	Ushiki T, Tsuneyama H, Masuko M, et al.	輸血・再生・細胞治療センター	Rhnull phenotype caused by a novel RHAG mutation, c.945+1G>A, in the Japanese population.	Transfusion. 2019 Aug;59(8):2519-2522	Original Article

小計 13件

220	Ryo Koda, Masafumi Tsuchida, Noriaki Iino, et al.	魚沼地域医療教育センター	IgG4-related Periarthritis Successfully Diagnosed by an Alternative Prostate Biopsy	Intern Med. 2019 Aug 15;58(16):2401-2406	Case Report
221	Hashimoto A, Takeuchi S, Kajita R, et al.	臨床研究推進センター	Proteogenomic analysis of granulocyte macrophage colony-stimulating factor autoantibodies in the blood of a patient with autoimmune pulmonary alveolar proteinosis.	Scientific Reports. 2020 Mar;18;10(1):4923.	Original Article
222	Nakata K, Sugi T, Kuroda K, et al.	臨床研究推進センター	Validation of a new serum granulocyte-macrophage colony-stimulating factor autoantibody testing kit.	ERJ Open Res. 2020 Jan 27;6(1).	Original Article
223	Ayaka Yaegashi,	薬剤部	A case of severe hepatotoxicity induced by cisplatin and 5-fluorouracil	Int Cancer Conf J. 2019 Nov; 9(1):24-27.	Case Report

小計 4件

合計 223件

(注) 1 当該特定機能病院に所属する医師等が前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。

- 2 報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること(筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に「発表者氏名」に関しては、英文で、筆頭著者を先頭に論文に記載された順に3名までを記載し、それ以上は、他、またはet al.とする。

- 4 「筆頭著者の所属」については、和文で、筆頭著者の特定機能病院における所属を記載すること。

- 5 「雑誌名・出版年月等」欄には、「雑誌名. 出版年月(原則雑誌掲載月とし、Epub ahead of printやin pressの掲載月は認めない); 巻数: 該当ページ」の形式で記載すること(出版がオンラインのみの場合は雑誌名, 出版年月(オンライン掲載月)の後に(オンライン)と明記すること)。

記載例: Lancet. 2015 Dec; 386: 2367-9 / Lancet. 2015 Dec (オンライン)

- 6 「論文種別」欄には、Original Article, Case report, Review, Letter, Othersから一つ選択すること。

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院 における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1	南野徹	循環器内科	近未来の心不全治療薬の展望	心臓 2019; 51: 377.	Review
2	須田将吉, 清水逸 平, 南野徹	循環器内科	【血管内皮細胞機能の最新知見】血管内皮細胞 老化について	日本血栓止血学会 誌 2019; 30: 521- 528.	Review
3	久保田直樹, 尾崎和 幸, 大久保健志 他	循環器内科	下大静脈フィルター留置後に増悪した深部静脈 血栓症に対してカテーテル血栓溶解療法を施行 した一例	心臓 52(1): 79-84, 2020.	Case Report
4	若杉三奈子、成田 一衛	腎・膠原病内科	透析導入の見合わせ(非導入)割合の推移	日本腎臓学会誌 2019; 61(2): 91-97	Original Article
5	長谷川絵理子	腎・膠原病内科	腎糸球体上皮細胞(ポドサイト)機能維持におけ るスフィンゴシン1リン酸受容体シグナルの役割 ーフィンゴリモドのポドサイト保護作用についての 検討ー	新潟医学会雑誌 2019; 133(2): 73-82	Original Article
6	佐藤弘恵、細島康 宏、鈴木芳樹	腎・膠原病内科	たんぱく質の質と腎臓との関係 一食事パターン も含めてー	日本腎臓学会誌 2019; 61(5): 563- 573	Review
7	成田一衛	腎・膠原病内科	診療ガイドライン at a glance 腎疾患患者の妊 娠:診療ガイドライン2017	日本内科学会雑誌 2019 Aug;108(8): 1579-1582	Review
8	蒲澤秀門、細島康 宏、成田一衛	腎・膠原病内科	高齢透析患者に対する栄養補助療法	日本透析医学会雑誌 2019 Aug; 34(2): 250-255	Review
9	若杉三奈子、風間 順一郎、成田一衛	腎・膠原病内科	透析導入率の経年変化 1983年から2016年まで	日本透析医学会雑 誌 2019 Dec; 34(3): 491-496	Review
10	長谷川絵理子、小 林大介、伊藤聡 他	腎・膠原病内科	イグラチモドの腎機能に与える影響	臨床リウマチ 2019; 31(2): 145-154	Original Article
11	黒田毅、須藤真則、 長谷川絵理子 他	腎・膠原病内科	高齢関節リウマチの患者における腎機能障害の 横断的研究	中部リウマチ 2020; 49(2): 5-7	Original Article

小計 11件

12	黒澤陽一、伊藤聡、 坂井俊介 他	腎・膠原病内科	ゴリムマブ自己注射の実態調査	中部リウマチ 2020; 49(2): 14-17	Original Article
13	若杉三奈子	腎・膠原病内科	CKD対策の効果	日本腎臓学会 2019; 61(2): 86-90	Review
14	鈴木芳樹、猪坂善 隆、荒木信一 他	腎・膠原病内科	サルコペニア・フレイルを合併した保存期CKDの 食事療法の提言	日本腎臓学会誌 2019; 61(5): 525- 555	Review
15	番場祐基、茂呂寛、 永野啓 他	呼吸器・感染症内科	深在性真菌症診断における国内3種の(1→3)β —D—グルカン測定試薬の比較	感染症学雑誌2019 年7月93巻4号 p. 500-506	Original Article
16	茂呂寛、菊地利明	呼吸器・感染症内科	肺MAC症の病型 FC型とNB型の根本的な違い は何か(総説)	結核2019年11月 Vol.94 No.11-12 p. 563-568	Review
17	金澤雅人、高橋哲 哉、川村邦雄 他	脳神経内科	VEGF—t-PA 治療後の脳出血合併を抑える治 療標的—	臨床神経学 2019 Nov 8;59(11):699- 706	Review
18	坪口晋太郎、石原智 彦、須貝 章弘 他	脳神経内科	TDP-43封入体から解くALSの分子病態	Brain Nerve. 2019 Nov;71(11):1183- 1189	Review
19	島野雄也、須貝章 弘、山岸拓磨 他	脳神経内科	出血性病変が検出されずに広範な脳病変に 至ったアミロイドβ 関連血管炎の1 例	臨床神経学 2020 Mar 31;60(3):187- 192	Case Report
20	笠原壮、石原智彦、 小池佑佳 他	脳神経内科	Transactive response DNA-binding protein 43 kDa (TDP-43) 凝集体の形成と分解からみた amyotrophic lateral sclerosis (ALS) 分子機構	臨床神経学 2020 Feb 27;60(2):109- 116	Review
21	相澤悠太	小児科	ESBL産生大腸菌による有熱性尿路感染症に対 するフロモキシセフの使用について	小児感染免疫 2019; 31: 293-294	Letter
22	坂田純、若井俊文	消化器外科	【新 手術記録の書き方】胆道の手術 胆嚢床切 除を伴う胆嚢摘出術	消化器外科 2019.04;42(5): 807- 813	Review
23	三浦宏平、坂田純、 廣瀬雄己 他	消化器外科	【すぐに使える周術期管理マニュアル】術式別の 術前・術中・術後管理 胆 胆嚢癌に対する拡大 胆摘術	臨床外科 2019.10;74(11): 175-178	Review
24	若井俊文、小松嘉 人、辻晃仁 他	消化器外科	胃癌に対するゲノム医療の展開	胃がんperspective 2019.10;10(4): 261- 270	Review

小計 13件

25	亀山仁史, 島田能史, 阿部馨 他	消化器外科	婦人科悪性疾患に対する消化器外科介入症例の検討	癌と化学療法 2019.12;46(13):2176-2178	Original Article
26	榛沢和彦, 伊倉真衣子, 森下篤 他	心臓血管外科, 呼吸器外科	頸動脈微小栓子シグナル(一過性高輝度信号)検出を契機に経食道心エコー法を用いた大動脈弓部に線虫感染が疑われた若年性多発性皮質下変性の1例	Neurosurgery 2019 ;32・3:129-133	Case Report
27	榛沢和彦	心臓血管外科, 呼吸器外科	災害と関連する血栓性疾患	日本血栓止血学会誌 2019 ;30・1:81-87	Original Article
28	榛沢和彦, 伊倉真衣子, 岡本竹司 他	心臓血管外科, 呼吸器外科	新潟県中越沖地震被災地域一般住民における貼り付け型プローブを用いた総頸動脈の微小栓子シグナル(high intensity transient signals; HITS)と脳・心血管疾患との関連	Neurosurgery 2019 ;32・2:46-52	Original Article
29	新熊悟	皮膚科	遺伝性皮膚疾患のup-to-date	日本臨床皮膚科医会雑誌. 2019.4; 36・3: 378-382	Review
30	長谷川瑛人, 阿部理一郎	皮膚科	SJS/TENの病態と治療	日本皮膚免疫アレルギー学会雑誌. 2019.4; 2・2: 257-264	Review
31	酒井あかり	皮膚科	皮膚腫瘍患者の受診動機調査-皮膚癌の早期発見のために-	新潟市医師会報. 2019.5; 578: 2-5	Original Article
32	富井光一, 阿部理一郎	皮膚科	【内科医が知っておくべき皮膚疾患 そう痒を伴うことが多い皮膚疾患を中心に】セミナー&治療 内科医が知っておくべき皮膚疾患診療のポイント 薬疹 重症薬疹の診断と治療	Medical Practice. 2019.5; 36・5: 781-786	Review
33	勝見達也, 藤川大基, 横山令 他	皮膚科	PET-CTでリンパ節転移を疑った皮膚型皮膚平滑筋肉腫の1例	Skin Cancer. 2019.6; 34・1: 46-49	Case Report
34	鈴木丈雄, 新熊悟, 荻根沢真帆子 他	皮膚科	発症から診断までに10年以上が経過した粘膜類天疱瘡の1例	臨床皮膚科. 2019.9; 73・10: 813-817	Case Report
35	荻根沢真帆子, 折目真理, 伊藤明子 他	皮膚科	【色のついた皮膚病《赤》】臨床例 Borrelia miyamotoiとライム病ボレリアの共感染により認められた遊走性紅斑	皮膚病診療. 2019.10; 41・10: 913-916	Case Report
36	鈴木丈雄, 伊藤明子, 会沢敦子 他	皮膚科	【日常に潜む接触皮膚炎】酸化染毛剤による接触皮膚炎症候群	皮膚病診療. 2020.1; 42・1: 30-33	Original Article
37	新熊悟	皮膚科	【水疱をどう診る?どう治す?】表皮水疱症	Derma. 2020.2; 292: 70-78	Review

小計 13件

38	濱菜摘, 阿部理一郎	皮膚科	【カラーアトラス 口腔・咽頭粘膜疾患-目で見て覚える鑑別ポイント】Stevens-Johnson症候群および中毒性表皮壊死症による口腔・咽頭粘膜病変	耳鼻咽喉科・頭頸部外科. 2020.2; 92・2: 136-139	Review
39	長谷川友加里, 坂上悠太 他	眼科	正常眼圧緑内障の経過中に視交叉部腫瘍合併が明らかになった4例	日本眼科学会雑誌. 2019 Nov; 123(12):1101-1108	Original Article
40	堀井新	耳鼻咽喉・頭頸部外科	メニエール病 今日の診断指針 第8版 疾患編 第19章 耳鼻咽喉科疾患	医学書院. 2020.03.25;1669-1671	Review
41	堀井新	耳鼻咽喉・頭頸部外科	救急・当直マニュアルいざというときの対応法 IV. 救急外来・当直での処置と治療「急性症状を示す聴覚器疾患」メニエール病	耳鼻咽喉科・頭頸部外科. 2019.04;91(5):248-253	Review
42	堀井新	耳鼻咽喉・頭頸部外科	メニエール病 一押さえておきたい診断・治療のコツー 生活指導と心理療法	ENTONI. 2019.07; 234:71-74	Review
43	堀井新	耳鼻咽喉・頭頸部外科	超高齢化する現代社会のめまい診療 2. 高齢者においてめまい症状を呈する疾患	メディカルビューポイント. 2019;40(3): 1-2	Review
44	堀井新	耳鼻咽喉・頭頸部外科	耳鼻咽喉科としての認知症への対応 前庭機能低下と認知障害の関連について	日本耳鼻咽喉科学会会報. 2020.01; 123(1): 12-15	Review
45	高橋邦行, 堀井新	耳鼻咽喉・頭頸部外科	医学・医療におけるシミュレーターの進歩と普及 26.側頭骨手術トレーナ、シミュレーター	医学のあゆみ. 2019.04; 269(2): 166-169	Review
46	高橋邦行	耳鼻咽喉・頭頸部外科	多職種で挑む致死的感染症 悪性外耳道炎(頭蓋底骨髄炎)	日本耳鼻咽喉科感染症・エアロゾル学会会誌. 2019.05; 7(2): 63-68	Review
47	森田由香	耳鼻咽喉・頭頸部外科	治療法の再整理とアップデートのために 専門家による私の治療 外耳道異物	日本医事新報. 2019.08; 4971:51	Review
48	松山洋	耳鼻咽喉・頭頸部外科	口腔・咽頭手術 口腔腫瘍摘出術 頬粘膜腫瘍	JOHNS. 2019.09; 35(9): 1045-1048	Review
49	堀井新	耳鼻咽喉・頭頸部外科	【耳鼻咽喉科領域の痛みのすべて-訴えにどう対応するか-】口蓋扁桃摘出術	ENTONI. 2019.12; 239:22-25	Review
50	本田耕平	耳鼻咽喉・頭頸部外科	【私はこうしている-口腔咽頭頭頸部手術編】頸部・甲状腺・食道手術 外頸動脈結紮術	JOHNS. 2019.09; 35(9):1261-1263	Review

小計 13件

51	正道隆介、山崎恵介、植木雄志 他	耳鼻咽喉・頭頸部外科	頭頸部癌外来化学療法における上腕ポートと末梢挿入型中心静脈カテーテルの比較	頭頸部外科. 2019.10; 29(2):123-128	Original Article
52	松山洋、山崎恵介、岡部隆一 他	耳鼻咽喉・頭頸部外科	日本人頭頸部扁平上皮癌に対する高用量シスプラチン併用化学放射線療法の多施設共同第I/II相試験	日本耳鼻咽喉科学会会報. 2019.09; 122(9):1269-1270	Original Article
53	堀井新	耳鼻咽喉・頭頸部外科	持続性知覚性姿勢誘発めまい(PPPD)の診断と治療	日本耳鼻咽喉科学会会報. 2020.02; 123(2):170-172	Review
54	吉原弘祐	産科婦人科	ゲノム研究に基づく婦人科がんの発生・進展機構の解明 オミックスデータ解析から婦人科悪性腫瘍の発生を探る	日本産科婦人科学会雑誌. 2019 71巻9号 Page1741-1750	Original Article
55	青山英史、川口弦	放射線診断科・治療科	神経鞘腫・髄膜腫の定位放射線治療	Jpn J Neurosurg28(8): 499-504, 2019	Original Article
56	古谷健太	麻酔科	目指せ「マスク換気マスター」徹底分析シリーズ マスク換気から始める気道管理 ◆用種の軌道確保法とマスク換気	LiSA. 2019年4月1日; 26・4: 340-6	Others
57	清水大喜、上村夏生、間宗史 他	麻酔科	経皮的穿刺で起炎菌を同定し、保存的に治療を行った感染性大動脈瘤の2例	臨床麻酔. 2019年4月; 43・4: 565-8	Case Report
58	清水大喜、上村夏生、清野豊 他	麻酔科	自然気管破裂患者の気管裂傷部に二腔チューブが迷入した1症例	臨床麻酔. 2019年4月; 43・5: 693-6	Case Report
59	清水大喜	麻酔科	痛みとしびれの原因疾患 糖尿病性末梢神経障害	整形外科看護. 2019年8月25日; 24・8: 24-35	Case Report
60	紙谷義孝、大西毅	麻酔科	6 侵害刺激・痛みと血圧	LiSA. 2019年9月14日; 別冊秋号: 39-46	Others
61	清野豊、今井英一	麻酔科	29 モニタリング	LiSA. 2019年9月14日; 別冊秋号: 173-80	Others
62	松田敬一郎、紙谷義孝	麻酔科	覚醒下開頭術の麻酔法 - 確実な脳機能温存のための麻酔管理 -	臨床麻酔. 2019年12月; 43・12: 1583-9	Review
63	清水大喜、渡部達範、田中萌生 他	麻酔科	難治性の直腸がん術後の肛門部痛に対して漢方治療が奏功した一症例	慢性疼痛. 2019年12月; 38・1: 203-5	Case Report

小計 13件

64	齋藤大輔, 原太一, 丸山智 他	口腔再建外科	下顎角部に発生した奇形様嚢胞の1例	日口腔外会誌. 2019;65(7):479-483	Case Report
65	羽賀健太, 小田陽平, 金丸祥平 他	口腔再建外科	慢性腎不全患者の口底部蜂窩織炎を契機として観察された腎性骨異常栄養症の1例	日口腔外会誌. 2019;65(10): 672-677	Case Report
66	長谷部大地, 高橋功次朗, 遠藤諭 他	口腔再建外科	日本人におけるIndex of Orthognathic Functional Treatment Need (IOFTN)の有用性についての検討ー第1報ー	日顎変形会誌. 2019;29(1): 5-10	Original Article
67	長谷部大地, 高橋功次朗, 加藤祐介 他	口腔再建外科	日本人におけるIndex of Orthognathic Functional Treatment Need (IOFTN)の有用性についての検討ー第2報ー	日顎変形会誌. 2019;29(4): 289-294	Original Article
68	三上俊彦, 船山昭典, 金丸祥平 他	口腔再建外科	放射線誘発が疑われた口腔内多発癌の1例	日口腔内会誌. 2019;25(1):10-15	Case Report
69	児玉泰光, 吉田謙介, 西川敦 他	顎顔面口腔外科	歯科ICTによる歯科外来抜歯の予防的抗菌薬適正使用支援活動	環境感染誌 2020 Mar:35(1):48-57	Original Article
70	齋藤太郎, 小山貴寛, 上野山敦士 他	顎顔面口腔外科	慢性口内炎に対して処方した半夏瀉心湯に起因すると思われる薬剤性肺障害の1例	日口外誌 2019 Aug;65(8):534-538	Case Report
71	伊藤元貴, 西川 敦, 結城龍太郎 他	顎顔面口腔外科	C1-INH製剤の予防投与なく抜歯を行い得た遺伝性血管性浮腫の1例	日有病歯誌 2019 Apr:28(1):25-31	Case Report
72	吉田謙介, 児玉泰光, 新美奏恵 他	顎顔面口腔外科	小児口腔外科症例に対する疑義照会の検討	小児口外 2019 June:29(1):29-33	Review
73	渡部桃子, 鶴巻浩	顎顔面口腔外科	抗血栓療法中の患者に対するインプラント埋入手術の臨床的検討	顎顔面インプラント誌 2019 Apr:18 (1): 23-28	Review
74	弦巻 立	歯科麻酔科	「顎変形症治療を行う上で注意すべき全身疾患と麻酔管理」～顎変形症治療の基本-診断・手術・麻酔管理について～	日本顎変形症学会雑誌,2019年29巻4号P311-314, 2019.	Review
75	大塚(須田)有紀子, 照光真, 瀬尾憲司	歯科麻酔科	拡散強調画像のクラスター解析による下歯槽神経の成分分画	新潟歯学会雑誌, 49(1):13-18, 2019.	Original Article
76	市川佳弥, 丹原惇, 朝日藤寿一 他	矯正歯科	新潟大学医歯学総合病院においてPNAM治療を行った片側口唇口蓋裂患児における外鼻形態変化の短期的評価	日本口蓋裂学会雑誌. 2019年10月; 44巻3号: 182-191	Original Article

小計 13件

77	阿部遼, 坂上馨, 福井忠雄 他	矯正歯科	超音波診断装置を用いた骨格性下顎前突症患者の嚥下時舌運動様相の検討	日本顎変形症学会雑誌. 2019年8月; 29巻3号:229-236	Original Article
78	深町直哉, 坂上馨, 栗原加奈子 他	矯正歯科	全自動解析装置を用いた骨格性下顎前突症患者における咀嚼能力と顎顔面形態との関連	日本顎変形症学会雑誌. 2019年8月; 29巻3号:237-246	Original Article
79	坂上馨, 栗原加奈子, 深町直哉 他	矯正歯科	骨格性下顎前突症患者的顎矯正手術後における嚥下時舌圧発現様相の解析	日本顎変形症学会雑誌. 2019年4月; 29巻1号: 42-50	Original Article
80	小野高裕	義歯診療科	健康リスクとしての咀嚼障害と義歯治療の効果ー超高齢社会の歯科的戦略ー.	群馬県歯科医学会雑誌. 2019;23: 1-6.	Original Article
81	伊藤加代子, 辻村恭憲, 真柄仁 他	口腔リハビリテーション科	車椅子実習に対する歯学部1年次生の意識に関する検討	新潟大学高等教育研究. 2019年7巻:1-8	Original Article
82	渡邊貴博, 田畑智, 五十嵐文枝 他	総合リハビリテーションセンター	急性期熱傷患者の作業療法実践過程における多職種連携の重要性 両手指切断患者の食事動作を通して	新潟県作業療法士会学術誌, 2020年2月;14:17-26	Case Report
83	上村正巳, 青木寿成, 佐藤美里 他	輸血・再生・細胞治療センター	Micro Typing Systemによる生後4ヵ月未満児不規則抗体検査	日本輸血細胞治療学会誌 (1881-3011)65巻3号 Page562-567(2019.06)	Original Article
84	佐藤瑞穂, 内山正子, 青木美栄子 他	感染管理部	当院におけるVentilator-Associated Events (VAE) サーベイランスと旧定義Ventilator-Associated Pneumonia (VAP) サーベイランスとの比較検討	日本環境感染学会誌2019年5月34巻3号 p. 162-168	Original Article
85	荒井 良明, 星名 秀行, 高嶋 真樹子 他	顎口腔インプラント治療部	下顎半側区域切除後の再建プレート上の皮弁と残存顎堤で支持されたインプラントオーバーデンチャー12年経過症例	日本口腔インプラント学会誌. 2019年9月;32巻3号:230-235	Original Article

小計 9件

合計 85件

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 記載方法は、前項の「高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文」の記載方法に準拠すること。

(様式第 3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

① 倫理審査委員会の設置状況	有
② 倫理審査委員会の手順書の整備状況	有
・ 手順書の主な内容 ・ 人を対象とする医学系研究に関する標準業務手順書 ・ 研究等倫理審査委員会に関する標準業務手順書	
③ 倫理審査委員会の開催状況	年12回

(注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。

2 前年度の実績を記載すること。

(2) 利益相反を管理するための措置

① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	有
② 利益相反の管理に関する規定の整備状況	有
・ 規定の主な内容 ・ 国立大学法人新潟大学利益相反マネジメント規程 ・ 新潟大学利益相反マネジメント委員会人を対象とする医学系研究等利益相反マネジメント専門委員会細則 ・ 新潟大学利益相反マネジメントガイドライン（人を対象とする医学系研究等）	
③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年12回

(注) 前年度の実績を記載すること。

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年2回
・ 研修の主な内容 ・ 令和元年度 研究倫理セミナー ・ ヒトゲノム・遺伝子解析研究倫理セミナー	

(注) 前年度の実績を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

新潟大学医歯学総合病院と県内多数の連携医療機関を循環するきわめて多彩な専門重点コースから選択ができる。また、連携医療機関とのネットワークが形成されているため、専門領域における一般的な疾患の十分な研修が可能である。

(注) 上記の研修内容は医師法及び歯科医師法の規定による臨床研修を終了した医師及び歯科医師に対する専門的な研修について記載すること。

2 研修の実績

上記研修を受けた医師数	医科111人, 歯科10人
-------------	---------------

(注) 前年度の研修を受けた医師の実績を記入すること。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
尾崎和幸	循環器内科	准教授	26年	
曾根博仁	内分泌・代謝内科	教授	28年	
曾根博仁	血液内科	教授	28年	
成田一衛	腎・膠原病内科	教授	35年	
菊地利明	呼吸器・感染症内科	教授	28年	
菊地利明	心療内科	教授	28年	
寺井崇二	消化器内科	教授	28年	
寺井崇二	胆肝膵内科	教授	28年	
小野寺 理	脳神経内科	教授	31年	
西條康夫	腫瘍内科	教授	34年	
染矢俊幸	精神科	教授	35年	
齋藤昭彦	小児科	教授	27年	
若井俊文	消化器外科	教授	26年	
若井俊文	乳腺・内分泌外科	教授	26年	
土田正則	心臓血管外科	教授	33年	
土田正則	呼吸器外科	教授	33年	
川島寛之	整形外科	教授	24年	
松田 健	形成・美容外科	教授	22年	
木下義晶	小児外科	教授	27年	
藤井幸彦	脳神経外科	教授	35年	
阿部理一郎	皮膚科	教授	24年	
富田善彦	泌尿器科	教授	33年	
福地健郎	眼科	教授	33年	

堀井 新	耳鼻咽喉・頭頸 部外科	教授	29年	
榎本隆之	産科婦人科	教授	35年	
石川浩志	放射線治療科	教授	25年	
石川浩志	放射線診断科	教授	25年	
馬場 洋	麻酔科	教授	30年	
新田正和	救急科	准教授	22年	
川島寛之	リハビリテーシ ョン科	教授	24年	
味岡洋一	病理診断科	教授	33年	
藤井規孝	歯科総合診療部	教授	27年	

- (注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。
- (注) 2 内科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。
- (注) 3 外科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）
・研修の主な内容・研修の期間・実施回数，研修の参加人数に関して 別添1「2019年度キャリア開発支援研修計画」を参照（対象研修：専門領域シリーズ等）
② 業務の管理に関する研修の実施状況（任意）
・研修の主な内容・研修の期間・実施回数，研修の参加人数に関して 別添1「2019年度キャリア開発支援研修計画」を参照（対象研修：基礎研修及び役割研修等）
③ 他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況
・研修の主な内容・研修の期間・実施回数，研修の参加人数に関して 別添2「他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況：令和元年度」を参照

(注) 1 高度の医療に関する研修について、前年度実績を記載すること。

(注) 2 「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。

研 修 名		受講対象者	ね ら い	講師・研修担当	開催日	受講者数
新採用者 オリエンテーション	病院組織と看護部	新採用者	社会人・医療人・組織の一員としての心構えを持つ	看護部長	4/1	81
	看護部総務関連・コンプライアンス			総務担当副看護部長	4/1	81
	事務部の機能・諸手続きの説明			総務課副課長	4/1	81
	目標管理と評価制度			質管理担当副看護部長	4/1	81
	社会人・看護職の倫理			質管理担当副看護部長	4/1	81
	各部門・部署の機能			各部門看護師長・医療情報部副部長・臨床工学部門長・臨床検査技師長・栄養管理室長・副薬剤部長	4/2	81
	キャリア開発・現任教育			教育担当副看護部長	4/3	81
	看護支援システム・重症度、医療・看護必要度			業務担当副看護部長	4/3	81
	コンプライアンス(飲酒運転防止)			教育担当副看護部長	4/4	80
	看護体制・PNSについて			業務担当副看護部長	4/5	80
	院内オリエンタリング			看護職キャリア開発コアセンター	4/5	80
	電子カルテ操作			看護職キャリア開発コアセンター	4/4	81
労働安全衛生教育			労働者の安全衛生に関する知識を習得できる	健康管理センター産業医	4/2	81
基礎研修	感染管理 1		院内感染対策マニュアルに沿った、基本的な知識と技術を習得できる	感染管理認定看護師	4/3	81
	感染防止の基礎技術		基本的な手洗い、手指消毒の実際と着脱防止などの基礎技術を習得する	感染管理認定看護師	4/4	81
	安全管理 1		医療安全管理マニュアルに沿った、基本的な看護技術を習得できる 安全管理の視点から「患者確認行動」「指示受け方法」が理解できる	安全管理部GRM 看護安全管理委員会	4/3	81
	看護記録 1		院内における看護記録の概要を理解できる	看護情報委員会委員長	4/3	81
	接遇		接遇の基本ができる	外部講師	4/4	80
	口腔ケア		基本的な口腔ケア技術を習得できる	外来4・5階看護師	4/23・4/24	75
	褥瘡ケア I	1年目 看護職員	院内における褥瘡管理について理解できる 褥瘡発生要因、褥瘡発生防止について理解できる	皮膚・排泄ケア認定看護師	4/23・4/24	75
	褥瘡ケア II (予防体験)		患者体験を通して、褥瘡予防方法を理解できる	皮膚・排泄ケア認定看護師 院内認定看護師	4/23・4/24	75
	高齢者看護		高齢者の特徴を理解できる 高齢者の身辺介助を行なう際の注意点がわかる	看護職キャリア開発コアセンター	4/23・4/24	75
	点滴・注射の基礎知識 (注射指示の見方・滴下計算)		点滴の管理をする上で、必要な知識が理解できる	看護職キャリア開発コアセンター	4/5	75
	糖尿病の基礎知識 1 インスリン指示票と注射		インスリン指示票の見方、血糖測定とインスリン注射の基本が理解できる	看護職キャリア開発コアセンター	4/5	75
	糖尿病の基礎知識 2		インスリン療法について理解できる 低血糖と対処方法が理解できる インスリン注射時の注意点が理解できる	看護職キャリア開発コアセンター	5/9	74
	フィジカルアセスメント1 急変時の応援要請方法		急変時の応援要請方法が理解できる 救急カートの設置場所と中身がわかる	看護職キャリア開発コアセンター	5/9	74
	メンタルヘルスケア		自己のメンタルヘルスケアに目を向けることができる	保健管理センター産業医	5/9	74
	輸血の基礎知識		輸血の基礎がわかる	輸血・再生・細胞治療センター 副部長・技師長 他	5/9	74
	フィジカルアセスメント 「循環器・心電図」		心電図の正常・異常が判断できる	高次救命災害治療センター看護師	5/9	74
	電子カルテ操作・各種アセスメント		褥瘡等看護ケアに必要な各種アセスメント内容が理解でき、操作ができる	看護職キャリア開発コアセンター	5/22・23	74
	重症度、医療看護必要度		重症度、医療・看護必要度を理解し、入力することができる	看護情報委員会	5/22・23	74
	コミュニケーション1		提示された看護場面を通して患者とのコミュニケーションで必要な要素を理解できる・情報管理	看護職キャリア開発コアセンター	7/6	72+1(補講)
	看護記録 2		看護診断の基礎知識を習得できる	看護情報委員会	7/6	72
	コミュニケーション2		日々のコミュニケーションを振り返り、コミュニケーションにおける今後の課題をみつけれることができる	看護職キャリア開発コアセンター	10/4・10/18のいずれか	69
	救急看護 1 「気管挿管に使用する器材に触れてみよう」 「BLS研修」		気管挿管に使用する器材の組み立て方法がわかる	看護職キャリア開発コアセンター BLS院内研修担当者	7/3・7/11・7/18・7/25のいずれか	73
	フィジカルアセスメント 2		患者の状態を観察しアセスメントができる 患者の状態を的確に報告できる	看護職キャリア開発コアセンター	7/3・7/11・7/18・7/25のいずれか	73
	救急看護BLS		急変患者の観察ができる 観察した内容を応援スタッフに報告できる BLSとAEDの使用知識・技術を習得できる	看護職キャリア開発コアセンター BLS院内研修担当者	7/3・7/11・7/18・7/25のいずれか	73

研 修 名		受講対象者	ね ら い	講師・研修担当	開催日	受講者数
基礎研修	小児看護	希望者 (新採用者 ほか)	小児の呼吸・循環の異常を理解できる 異常時・急変時の行動を理解できる	小児救急看護認定看護師	10/4	37
	酸素療法	1年目 看護職員	酸素ポンプの取扱が安全に実施できる アウト レットの使い方がわかる	看護職キャリア開発コアセン ター	4/5	75
	採血		真空採血を安全・清潔に実施できる	看護職キャリア開発コアセン ター	4/9・4/10・4/16・ 4/17のいずれか 4/15補習	75
	筋肉注射・皮下注射		筋肉注射・皮下注射を安全・清潔に実施できる	看護職キャリア開発コアセン ター		75
	ステップⅠ (静脈注射1「点滴の管理」)		点滴調合～実施の手順を安全・清潔に実施でき る	看護職キャリア開発コアセン ター		75
	静脈注射2 「輸液ポンプとシリンジポンプ」		輸液ポンプとシリンジポンプの基本的操作方法を 理解できる	看護職キャリア開発コアセン ター		75
	静脈注射3 「薬剤の基礎知識」		薬剤を取り扱う上で、注意すべき薬剤とそのリス クについて理解できる	薬剤部薬剤師	11/6・11/7のいづれ か	68
	静脈注射4 「がん化学療法の看護」		化学療法をうける患者の看護の基礎を理解できる	がん化学療法看護認定看護師	11/6・11/7のいづれ か	68
	静脈注射5 「静脈留置針の刺入」		静脈留置針の刺入の基準手順が理解できるシ ミュレーターを使用しての静脈留置針の刺入を安 全・清潔に実施できる	看護職キャリア開発コアセン ター	11/21・11/22・ 11/25・11/26・ 11/27・11/28のいづ れか	66
	ステップⅡ 「基本看護技術の応用編」		患者の個別性を考慮し、状況に合わせて看護行 為を工夫できる	看護職キャリア開発コアセン ター	6/5・6/6・6/10・ 6/11・6/17・6/18の いずれか	74
	ステップⅢ 「多重課題」		多重課題の事例を通し、最適な方法の選択と実 践ができる 課題の学習プロセスを学び、臨床でプロセスを活 用できる	看護職キャリア開発コアセン ター	①11/6・11/7のいづ れか ②12/2・12/3・12/4・ 12/5・12/9・12/10の いずれか	①68②66
	臨床実践能力セルフ・モニタリング プログラム(SMP)3か月	2年目 看護職員	自己の観察判断の傾向と課題を学ぶ(3か月) 自己の観察判断の成長を確認する(6か月)	看護職キャリア開発コアセン ター	7/19・7/22・7/23の いずれか	73
	リフレッシュ研修 1		同期との交流を通し、思いを共有し合うことで、前 向きな気持ちを持つことができる	看護職キャリア開発コアセン ター	5/9	74
	リフレッシュ研修 2		仕事への責任感からくるストレスフルな気持ちを 同期と共感し合い、一緒にストレス対処方法を考 えることができる		7/6	72
	リフレッシュ研修 3		自己の看護を振り返ることや、理想とする看護師 像を同期と話し合うことで、残り半年の目標を考 えることができる		10/4・10/18のいづ れか	69
	リフレッシュ研修 4		入職後1年間を振り返り、自己の成長と今後の課 題を見つけることができる		3/4・3/5のいずれか	67
	リフレッシュ研修 5		同期との交流を通して、次年度に向けた自己の課 題を考えることができる		1/30・1/31のいづ れか	61
	安全管理 2	レベルⅠ	看護実践に必要な知識・技術を習得できる	看護安全管理委員会	7/16・7/23のいづ れか	67
	感染管理 2			感染管理認定看護師	10/5	72
	事例検討		看護実践過程を振り返り研究的視点で分析できる	看護研究支援委員会	年に2回予定 ①6/15 ②10/5	①64②63
	救急看護 2 「急変時の看護」	2年目 看護職員	基礎観察能力、および患者状態が変化した時の 対応を習得できる	集中ケア認定看護師 看護職キャリア開発コアセン ター	1/30・1/31のいづ れか	61

研 修 名		受講対象者	ね ら い	講師・研修担当	開催日	受講者数
役割研修	リーダーシップ(基礎編)	レベルⅡ	リーダーシップの基本を習得できる	教育委員会	7/22・1/22	①33②
	リーダーシップ(実践編)	レベルⅢ	部署の目標管理においてリーダーシップを発揮できる	教育委員会	オリ5/15 報告会2/21	オリ24①
	組織管理	レベルⅢ	組織の一員として果たす役割を理解できる	副看護部長	①8/8②12/23のいずれか	①29②24
	キャリアデザイン	レベルⅡ～ レベルⅣ	自己に気づき、今後の自身の目標を設定できる 自らを見つめ直し、将来の自己イメージを確立できる	外部講師	ⅡとⅢ1/11・1/18の いずれか Ⅳ2/1	Ⅱ49・Ⅲ26 ・Ⅳ10
	看護管理	看護師長	看護管理者としての役割を遂行できる	外部講師	12/8・2/10のいずれか	36
	看護管理	副看護師長	看護管理者としての役割を遂行できる	外部講師	2/10	50
	1年目サポーター(基礎編)研修	レベルⅡ(取得見込含む)	1年目サポーターの役割を理解できる	教育委員会	2/6・2/12のいずれか	66
	1年目サポーター(実践編)研修	初めて1年目サポーターを担う者 レベルⅡ	1年目サポーターの役割を理解し、役割機能を遂行できる	教育委員会	年に2回開催 ①6/4or6/17 ②1/17or1/27 次年度オリエンテーション3月予定	①57
	2年目サポーター研修	2年目サポーター	2年目サポーターの役割を理解し、役割を遂行できる	教育委員会	3/3	32
	エルダー研修	エルダー	エルダーの役割を理解し役割を遂行できる	教育委員会	①6/21 ②10/30	①35
	教育担当者研修	教育担当者	現任教育において能力を発揮できる	外部講師・教育委員会	①3/8終了 ②6/27 ③10/24 (次年度担当者対象3/3)	②25
	情報管理	看護情報係	情報管理において能力を発揮できる	看護情報委員会	①5/24 ②10/11	①30②30
	栄養サポート	NST担当者	栄養サポートにおいて能力を発揮できる	看護部NST	6/11	17
	感染管理	ICM	感染管理において能力を発揮できる	看護感染管理委員会	①6/3 ②11/21	①30②29
	安全管理	安全管理担当者	安全管理において能力を発揮できる	看護安全管理委員会	①6/6 ②12/2	①29
	入退院支援	入退院支援担当者	退院支援において能力を発揮できる	入退院支援委員会	①5/21 ②10/21 ③2/28 ④12/17訪問	①41②23③ ④6
	褥瘡ケア	褥瘡担当	褥瘡担当において能力を発揮できる	看護部褥瘡対策チーム	①6/27 ②検討中	①23
	実習指導	実習指導者(スタッフ)	実習指導において能力を発揮できる	看護部臨地実習委員会	①5/28 ②12/11	①28
専門領域・テーマ別研修	感染管理	レベルⅢ以上	感染管理に関する専門的知識・技術を習得し、実践およびスタッフ指導ができる	感染管理認定看護師	シリーズ8回(5/15・6/19・7/17・8/21・9/18・10/16・11/20・12/18)	16
	スキンケア	レベルⅢ以上	スキンケアに関する専門的知識・技術を習得し、実践およびスタッフ指導ができる	皮膚・排泄ケア認定看護師	シリーズ8回(5/10・6/14・7/19・8/9・9/13・10/11・11/8・12/13)	15
	呼吸ケア	レベルⅢ以上	呼吸ケアに関する専門的知識・技術を習得し、実践およびスタッフ指導ができる	集中ケア・慢性呼吸器疾患看護認定看護師	シリーズ7回(5/21・6/18・7/16・8/20・9/17・10/15・11/19・12/17)	12
	がん化学療法看護	レベルⅢ以上	がん化学療法に関する専門的知識・技術を習得し、実践およびスタッフ指導ができる	がん化学療法看護認定看護師	シリーズ8回(6/12・7/10・8/14・9/11・10/9・11/13・12/11・1/8)	16
	糖尿病ケア-基礎コース-	レベルⅡ以上	糖尿病療養指導に必要な知識と技術を習得し看護実践に活用できる	院内糖尿病療養指導士の会メンバー 慢性疾患看護専門看護師 他	シリーズ7回(5/9・6/6・7/4・8/1・9/5・10/3・11/7)	27
	緩和ケア	レベルⅡ以上	緩和ケアについて知識を習得し看護実践に活用できる	緩和ケア認定看護師	シリーズ10回(5/22・6/26・7/24・8/28・9/25・10/23・11/27・12/25・1/22・2/26)	20
	看護研究	希望者	臨床実践に直結する看護研究ができる	看護研究支援委員会	①12/3 ②12/10 ③12/11	①218②230 ③218
	文献検索	希望者	図書館の利用方法、文献検索を理解することができる	看護研究支援委員会 旭町図書館職員	5/22	20
	看護倫理	レベルⅠ	事例を通し、倫理的問題に気づき、表出することができる	教育委員会	7/30・8/13のいずれか	61
	看護倫理	レベルⅢ以上	倫理的課題に気づき、倫理的課題に対し、「倫理原則」や「看護実践上の倫理的概念」を用い、倫理的課題を整理し、看護師としてとるべき行動がわかる。	教育委員会	12/5・1/9のいずれか	49
	倫理研修	希望者	多職種で考える臨床倫理 他職種の考えや価値観を尊重し、多職種で事例を検討することができる	教育委員会 (臨床倫理検討委員会)	8/21	52

研 修 名		受講対象者	ね ら い	講師・研修担当	開催日	受講者数
専門領域・テーマ別研修	シミュレーション教育	レベルⅢ相当	シミュレーション教育に関する知識・技術を習得し、看護実践や教育支援に活用できる	教育委員会	①7/26②8/23のいずれか	①14
	シミュレーション教育ファシリテーター研修	レベルⅣ副看護師長	STEPⅠ. 演習を通し、リフレクション手法の理解を深める：デブリーフィング STEPⅡ. 演習を通し、リフレクション手法の理解を深める：デブリーフィングガイド作成と実施 STEPⅢ. 演習を通し、シミュレーション教育の理解を深める：活用できるシナリオ作成	教育委員会	STEPⅠ：6/7・6/27 STEPⅡ：8/9 STEPⅢ：9/13・12/20	STEPⅠ 21・ STEPⅡ 23・ STEPⅢ 10
	ストーリーマケア	希望者	ストーリーマケアに関する知識・技術を習得し看護実践に活用できる	ストーリーマケア担当看護師 皮膚・排泄ケア認定看護師	ベーシック①5/17②6/21 アドバンス①7/23②9/3	①30②22③8④6
	専門領域最新情報(up to-date)緩和ケアの最新知見を知ろう	希望者	専門領域における最新知識を習得し、看護実践に活用できる「緩和ケアにおける症状緩和の考え方」「緩和ケアにおけるACP」	緩和ケア認定看護師	7/26	61
看護補助者	基礎技術研修	新採用者	職務遂行に必要な知識・技術を習得する	看護部管理室他	①6/17 ②10/1 ③2/3	2
	看護補助者に必要な基礎知識	全員	①医療制度の概要及び病院の機能と組織、医療チーム及び看護チームの一員としての看護補助者業務、守秘義務、個人情報の保護について理解できる②看護補助者業務を遂行するための基礎的な知識・技術、看護補助者業務における医療安全と感染防止として急変時の応援要請について④日常生活にかかわる業務、看護補助者業務における医療安全と感染防止として感染管理研修	看護部管理室 感染管理認定看護師 看護職キャリア開発コアセンター	10/28・29	18

他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況:令和元年度

研修名	開催日時	受講者数 (のべ)
ファシリテーター養成研修STEP I シミュレーション教育の概要、リフレクション手法の基礎、シミュレーション体験	6月15日・9月7日	36
ファシリテーター養成研修STEP II デブリーフィングの概要と演習	6月1日・8月24日・11月30日	37
ファシリテーター養成研修STEP III デブリーフィングガイドの作成	7月13日・11月2日	23
ファシリテーター養成研修STEP IV シナリオ作成	2月15日	14
褥瘡担当者研修STEP I -スタッフに伝える・実践に活かす褥瘡ケアの基本を学ぶ-	7月5日・8月14日	30
褥瘡担当者研修STEP II -指導者として褥瘡アセスメントとケアの実践を学ぶ-	9月11日・10月30日	31
褥瘡担当者研修STEP III -症例を通し自施設で活用できる褥瘡ケアの指導方法を学ぶ-	11月14日・12月11日	15
基礎看護技術1 点滴管理・採血・注射・輸液ポンプ・シリンジポンプ	4月17日	2
看護技術Aコース 採血・注射・血糖測定	6月20日・8月7日・9月18日・10月23日・11月13日・2月5日	39
看護技術Bコース 点滴調合・静脈留置針刺入・輸液ポンプ・シリンジポンプ	6月20日・8月7日・10月23日・11月13日・2月19日	29
看護技術Cコース 感染管理・尿道留置カテーテル挿入と管理・浣腸・排便	6月12日・7月24日・9月4日・11月6日・2月5日	25
看護技術Dコース 急変時対応(BLS、挿管助、AED)・吸引・12誘導新d年図	5月29日・10月9日	24
看護技術Eコース 皮下埋め込み型ポート管理・経管栄養・胃ろう管理	8月28日・10月16日	8
褥瘡ケア研修 ずれ体験・ポジショニング・スキンケア	6月13日・8月23日・11月14日・12月26日	16
シリーズ研修 感染管理	5月15日・6月19日・7月17日・8月21日・9月18日・10月16日・11月20日	9
シリーズ研修 がん化学療法看護	6月12日・7月10日・8月14日・9月11日・10月9日・11月13日・12月11日・1月8日	8
シリーズ研修 緩和ケア	5月22日・6月26日・7月24日・8月28日・9月25日・10月23日・11月27日・12月25日・1月22日・2月26日	2
シリーズ研修 スキンケア	5月10日・6月14日・7月19日・8月9日・9月13日・10月11日・11月8日・12月13日	13
口腔ケアと嚥下リハビリ	8月2日	18
ストーマ研修 ①基礎編Ⅰ ②基礎編Ⅱ	①8月24日 ②11月6日	5

研修名	日時	受講者数
出前研修 佐渡市両津病院 -褥瘡予防・悪化しないためにポジショニングを学ぶ-	9月7日	13
出前研修 白根大通病院 褥瘡の発生を予防する	9月26日	53
出前研修 介護老人保健施設 葵の園・新潟島 感染管理研修	11月19日	39
出前研修 介護老人保健施設 葵の園・新潟島 褥瘡委員会勉強会 -褥瘡につながる皮膚常態化どうか、リスクの見分け方-	12月4日	36
出前研修 特別介護老人ホーム 横雲の里 緩和ケア研修「高齢者のエンド・オブ・ライフ・ケア」	1月27日	35

(様式第 5)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	1. 計画	2. 現状
管理責任者氏名	新潟大学医歯学総合病院長 富田善彦	
管理担当者氏名	新潟大学医歯学総合病院事務部長 岡田 俊	

		保 管 場 所	管 理 方 法	
診療に関する諸記録	規則第二十二条の三第二項に掲げる事項	病院日誌	病歴管理室、画像診断支援室、電算機室 ※外来、入院とも電子媒体（一部紙媒体） ※診療録を病院外に持ち出すことは禁止しており、やむを得ない理由の場合医療情報部の判断のもと処理する。	
		各科診療日誌		
		処方せん		
		手術記録		
		看護記録		
		検査所見記録		
		エックス線写真		
		紹介状		
		退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書		
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第二十二条の三第三項に掲げる事項	従業者数を明らかにする帳簿	総務課	各所掌課において管理
		高度の医療の提供の実績	医事課	
		高度の医療技術の開発及び評価の実績	医事課	
		高度の医療の研修の実績	総務課	
		閲覧実績	総務課	
		紹介患者に対する医療提供の実績	患者総合サポートセンター	
		入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課	
	規則第一条の十一第一項に掲げる事項	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全管理部	各所掌部門において管理
		医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全管理部	
		医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全管理部	
医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況		医療安全管理部		

			保 管 場 所	管 理 方 法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則 第一条の十一 第二項 第一号から第三号までに掲げる事項	院内感染対策のための指針の策定状況	感染管理部	各所掌部門において管理
		院内感染対策のための委員会の開催状況	感染管理部	
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染管理部	
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染管理部	
		医薬品安全管理責任者の配置状況	総務課	
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部	
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部	
		医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部	
		医療機器安全管理責任者の配置状況	総務課	
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	臨床工学部門	
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	臨床工学部門	
		医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	臨床工学部門	

		保 管 場 所	管 理 方 法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第九条の二十三第一項第一号から第十五号までに掲げる事項	医療安全管理責任者の配置状況	各所掌部門において管理
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況	
		医薬品安全管理責任者の業務実施状況	
		医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	
		診療録等の管理に関する責任者の選任状況	
		医療安全管理部門の設置状況	
		高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	
		未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況	
		監査委員会の設置状況	
		入院患者が死亡した場合等の医療安全管理部門への報告状況	
		他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況	
		当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	
		医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況	
		職員研修の実施状況	
		管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況	

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第 6)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別			1. 計画	2. 現状
閲覧責任者氏名			新潟大学医歯学総合病院長 富田善彦	
閲覧担当者氏名			新潟大学医歯学総合病院総務課長 土田秀樹	
閲覧の求めに応じる場所			医歯学総合病院内会議室	
閲覧の手続の概要				
様式第5の保管場所・管理方法による。				

(注)既に医療法施行規則第9条の20第5号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数		延	0 件
閲覧者別	医師	延	0 件
	歯科医師	延	0 件
	国	延	0 件
	地方公共団体	延	0 件

(注)特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

規則第1条の11第1項各号に掲げる医療に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
・ 指針の主な内容： 1 本院の医療安全管理に関する基本的な考え方 2 医療安全管理委員会及び医療安全管理に関わる組織等に関する基本的事項 3 医療安全管理に関する職員研修の基本方針 4 医療安全の確保を目的とした改善のための方策に関する基本方針 5 医療上の事故等の発生時の基本方針 6 患者との情報共有に関する基本方針 7 患者からの相談への対応に関する基本方針 8 高難度新規医療技術等を用いた医療の提供に関する基本方針 9 その他医療安全の推進のために必要な基本方針	
② 医療に係る安全管理のための委員会の設置及び業務の状況	
・ 設置の有無（ 有・無 ） ・ 開催状況：年 12回 ・ 活動の主な内容： 1 アクシデントの発生防止対策に関すること 2 アクシデントの発生防止に係る教育及び研修に関すること 3 安全管理の指針及び医療安全管理マニュアルに関すること 4 その他医療安全の推進に関すること	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 3回
・ 研修の内容（すべて）： 1 医療安全管理について 2 医薬品の安全管理2019 3 当院における医療機器安全管理 4 特定機能病院の承認要件の見直し及び医療安全監査委員会からの意見について 5 Rapid Response Systemとは何か？なぜ必要か？ 6 病院長からの緊急メッセージ 7 電子カルテの不正閲覧について 8 病院情報システムと個人情報管理 ※ この他に新規採用者・復職者への研修，外部委託業者への研修を別途実施した	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の実施状況	
・ 医療機関内における事故報告等の整備（ 有・無 ） ・ その他の改善のための方策の主な内容： 1 院内で発生したインシデント及びアクシデントのインシデントレポートによる報告と情報収集 2 医療安全対策の取り組みの評価，インシデント及びアクシデント事例等を医療安全管理部検討会での事例検討 3 インシデント及びアクシデント事例の医療安全推進委員会での報告，改善策の立案と実施，改善状況の検証・重大アクシデント発生時には速やかに管理者に報告するための体制整備 4 院内で発生した死亡・死産事例（入院・外来）の全例チェックおよび検討 5 医療事例審議委員会，（調査専門委員会）における事例分析，再発防止の検討，他	

（注）前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第1号に掲げる院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有・無
・ 指針の主な内容： 1 感染に関する基本的な考え方 2 感染対策のための委員会等の組織に関する基本的事項 3 感染対策のためのすべての職員に対する研修に関する基本方針 4 感染症の発生状況の報告に関する基本方針 5 感染発生時の対応に関する基本方針 6 患者等に対する指針の閲覧に関する基本方針 7 感染対策の推進のために必要なその他の基本方針	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 1 2 回
・ 活動の主な内容： 1 感染対策指針及び感染対策のマニュアルに関すること。 2 感染の予防対策に関すること。 3 感染発生時の対応及び改善策に関すること。 4 感染対策に係る情報の収集及び医療従事者への周知に関すること。 5 感染対策に係る教育及び研修に関すること。 6 感染対策の実施状況の評価に関すること。 7 関東・甲信越ブロックのエイズ治療拠点病院の業務に関すること。 8 その他感染対策に関すること。	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 2 回
・ 研修の内容（すべて）： 1 今求められている感染管理 2 麻疹・風疹の現状と対策 3 感染防止の基本手技 ～実践できているか確認しましょう～ 4 院内全体で考える、抗菌薬の適正使用とは 5 带状疱疹・播種性带状疱疹への対応 ※ この他に新規採用者・復職者への研修、外部委託業者への研修を別途実施した	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
・ 病院における発生状況の報告等の整備 （ 有・無 ） ・ その他の改善のための方策の主な内容： 1 耐性菌、人工呼吸器関連肺炎、中心ライン関連ライン血流感染、外科系診療科（消化器・乳腺内分泌外科、呼吸器・心臓血管外科、泌尿器科、産婦人科、脳神経外科、小児外科、整形外科）別SSI、病棟尿道留置カテーテル関連尿路感染、インフルエンザ、感染性胃腸炎、手指消毒薬の払い出し状況、手指衛生遵守状況、抗菌薬の使用状況等のサーベイランスを実施 2 サーベイランス情報を活用した院内ラウンドの実施（情報の共有と改善のためのディスカッション、環境チェック） 3 細菌検査や感染症迅速検査の結果の連絡体制を整備し、迅速な感染防止対策を実施 4 感染対策基本マニュアルの作成および改訂 5 血液培養陽性となった症例の情報収集および治療に関するコメントのメール配信又は、直接的な主治医とのディスカッション 6 TDM検討会（全抗MRSA薬使用症例の情報収集及びTDMコメントを提供） 7 感染症の診断・治療および感染対策に関する相談対応 8 針刺し・切創、粘膜曝露対策、職員のワクチン接種などの職業感染対策 9 施設管理部門、清掃業者等と連携によるファシリティマネジメント	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第2号に掲げる医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品安全管理責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年1回
- 研修の主な内容： 1 医薬品の安全管理（2019） ① 本院の医薬品安全管理体制 ② 本院の医薬品に関連するインシデント ③ 本院の本年度医薬品安全管理重点項目	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
・ 手順書の作成 （ 有・無 ） ・ 手順書の内訳に基づく業務の主な内容： ① 各部署の手順書の遵守状況のチェックを実施した。評価が悪かった項目は、後日改善を確認した。 ② 医薬品にかかる院内研修、適応外・未承認薬使用の審査、医薬品安全情報の院内周知等を実施した。 ③ 手順書の改訂を行った。	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
・ 医薬品に係る情報の収集の整備 （ 有・無 ） ・ 未承認等の医薬品の具体的な使用事例（あれば）： 1 進行性多巣性白質脳症に対する適応外のメフロキン、ミルタザピンの内服加療 2 血栓性血小板減少性紫斑病に対するリツキシマブの投与 3 転移性尿路上皮癌（腎盂癌）に対するドセタキセル単剤療法 他 以上を含め、未承認等の医薬品の使用は従来から使用しているものも含めて、すべて新規医療技術等管理センター（未承認新規医薬品等の担当部門）に申請があり、センターの会議で承認をされたものに限り使用している。医薬品安全管理責任者はセンターの会議に評価委員会委員として陪席をしており、未承認等の医薬品の使用事例を把握している。 ・ その他の改善のための方策の主な内容： 1 採用薬剤適正使用情報（Vol.67～Vol.84）の配信 当院採用薬について緊急性を要する情報が生じた場合、院内医療情報端末を利用して、メールにて配信を行っている。配信先（医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師、放射線技師、栄養士等）は必要に応じて選択して配信。 2 薬剤情報ステーションの発刊 薬剤部から2か月に1回発刊している情報誌の「安全の扉」のページで医薬品の安全使用についてトピックスを交えて情報提供している。	

（注）前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第3号に掲げる医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器安全管理責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年106回
・ 研修の主な内容： [人工心肺装置及び補助循環装置] (7回) ・2019年12月4日「人工心肺勉強会」(人工心肺装置の注意点) OP 室 ・2020年2月12日「麻酔科レジデントセミナー」(人工心肺装置の注意点) 手術部麻酔科控室 ・2019年10月8日、9日「補助循環装置ロータフロー使用説明会」(使用方法と注意点) OP 室 ・2019年10月16日「PCPS勉強会」(使用上の注意点、トラブルシューティング) 中央診療棟 4Fカンファレンス室 ・2019年12月4日「補助循環装置勉強会」(補助循環装置の注意点) OP 室 ・2020年1月22日「PCPS勉強会」(補助循環装置の注意点) 中央診療棟 4Fカンファレンス室 ・2020年2月12日「麻酔科レジデントセミナー」(補助循環装置の注意点) 手術部麻酔科控室 [人工呼吸器] (14回) ・2019年8月22日、23日「人工呼吸器 840 について」(PB840 の操作方法と注意点) 東7階病棟 ・2019年9月24日～26日「搬送用人工呼吸器導入説明会」(MONAL T60 人工呼吸器の取扱説明) 高次救命災害治療センター・ICU ・2019年10月1日～3日「搬送用人工呼吸器導入説明会」(MONAL T60 人工呼吸器の取扱説明) 高次救命災害治療センター・ICU ・2019年10月17日「人工呼吸器 840 について」(PB840 の操作方法と注意点) 西8階病棟 ・2019年10月24日～28日「人工呼吸器(インシデントを防ぐために)」(使用方法と注意点) ・2019年10月29日～11月2日「人工呼吸器(インシデントを防ぐために)」(使用方法と注意点) ・2019年11月3日～7日「人工呼吸器(インシデントを防ぐために)」(使用方法と注意点) ・2019年11月8日～12日「人工呼吸器(インシデントを防ぐために)」(使用方法と注意点) ・2019年11月13日～17日「人工呼吸器(インシデントを防ぐために)」(使用方法と注意点) ・2019年11月18日～22日「人工呼吸器(インシデントを防ぐために)」(使用方法と注意点) ・2019年11月23日～26日「人工呼吸器(インシデントを防ぐために)」(使用方法と注意点) ・2019年12月12日「人工呼吸器について」(ベンチレーター840 の取扱方法と注意点) 東7階病棟 ・2020年2月4日～6日「人工呼吸器 MONAL T60 の説明会」(使用方法と注意点) ME 室 ・2020年2月6日「人工呼吸器 PB840 について」(使用方法と注意点) 東8階病棟 [血液浄化装置] (8回) ・2019年10月24日～29日「血液浄化装置CHDF編(インシデントを防ぐために)」(使用方法と注意点) ・2019年10月30日～11月3日「血液浄化装置CHDF編(インシデントを防ぐために)」(使用方法と注意点) ・2019年11月4日～8日「血液浄化装置CHDF編(インシデントを防ぐために)」(使用方法と注意点) ・2019年11月9日～13日「血液浄化装置CHDF編(インシデントを防ぐために)」(使用方法と注意点) ・2019年11月14日～18日「血液浄化装置CHDF編(インシデントを防ぐために)」(使用方法と注意点) ・2019年11月19日～23日「血液浄化装置CHDF編(インシデントを防ぐために)」(使用方法と注意点) ・2019年11月24日～26日「血液浄化装置CHDF編(インシデントを防ぐために)」(使用方法と注意点) ・2020年2月8日「透析回路のプライミング研修(TR-3000M)」(組み立てとプライミング) 透析室 [除細動器(AEDを除く)] (7回) ・2019年10月24日～28日「除細動器(インシデントを防ぐために)」(使用方法と注意点) ・2019年10月29日～11月2日「除細動器(インシデントを防ぐために)」(使用方法と注意点) ・2019年11月3日～7日「除細動器(インシデントを防ぐために)」(使用方法と注意点) ・2019年11月8日～12日「除細動器(インシデントを防ぐために)」(使用方法と注意点) ・2019年11月13日～17日「除細動器(インシデントを防ぐために)」(使用方法と注意点) ・2019年11月18日～22日「除細動器(インシデントを防ぐために)」(使用方法と注意点) ・2019年11月23日～26日「除細動器(インシデントを防ぐために)」(使用方法と注意点) [閉鎖式保育器] (3回) ・2019年12月4、5、13、19日「閉鎖式保育器について」(使用方法、注意点、メンテナンス) ME 室 ・2019年12月5日「保育器の使用方法について」(Babyleo TN500 の取扱い) NICU ・2019年12月12日「保育器の使用方法について」(Babyleo TN500 の取扱い) NICU [その他の医療機器] (67回) ・2019年10月8日「イオントフォレーシス機器(麻酔器)説明」(使用方法と注意点) 皮膚科外来 ・2020年2月4日～7日「ソノベット IQ(超音波吸引装置)について」(使用方法と注意点) OP 室	

- 2019 年 10 月 23 日～24 日「PDT レーザ(レーザー手術装置)安全使用説明会」
(使用説明、トラブルシューティング) 光学医療診療部
- 2019 年 10 月 23 日、30 日「超音波画像診断装置新規導入説明会」
(シーメンスアキュソン P500 取扱説明) 血管撮影室
- 2020 年 2 月 14 日、18 日、20 日「気腹装置 エアシールについて」(使用方法と注意点) OP 室
- 2019 年 11 月 25 日「生体情報モニタ(ベッドサイドモニタ)/TOF 筋弛緩モニタ導入説明会」(使用説明) 歯科麻酔科
- 2019 年 9 月 18 日「デジタル眼振計使用説明会」
(FNG2004 の取扱いについて) 耳鼻咽喉・頭頸部外科外来
- 2019 年 10 月 23 日～25 日「恒温水槽説明会」(TR-1 α の使用方法・取扱い注意点)
総合周産期母子医療センター(NICU)
- 2019 年 9 月 27 日、30 日、10 月 1 日「簡易式血糖値測定器使用説明会」
(ワンタッチペリオビューの取扱いについて) 患者総合サポートセンター
- 2019 年 9 月 27 日「簡易式血糖値測定器使用説明会」(ワンタッチペリオビューの取扱いについて) 外来医科3階
- 2019 年 9 月 30 日「簡易式血糖値測定器使用説明会」(ワンタッチペリオビューの取扱いについて) 東3階病棟
- 2019 年 9 月 27 日、10 月 2、4、8、9 日「簡易式血糖値測定器使用説明会」
(ワンタッチペリオビューの取扱いについて) 東7階病棟
- 2019 年 10 月 10、12、14 日「簡易式血糖値測定器使用説明会」
(ワンタッチペリオビューの取扱いについて) 東7階病棟
- 2019 年 8 月 5 日「簡易式血糖値測定器グルテスト Neo アルファの新規導入時研修」(取扱いについて) 東5階病棟
- 2019 年 8 月 5、6、9 日「簡易式血糖値測定器使用説明会」
(グルテスト Neo アルファの取扱いについて) 患者総合サポートセンター
- 2019 年 8 月 5 日～9 日「簡易式血糖値測定器使用説明会」(グルテスト Neo アルファの取扱いについて) 放射線部
- 2019 年 8 月 5 日「簡易式血糖値測定器使用説明会」(グルテスト Neo アルファの取扱いについて) 血液浄化療法部
- 2019 年 8 月 6 日「簡易式血糖値測定器使用説明会」(グルテスト Neo アルファの取扱いについて) 東3階病棟
- 2019 年 8 月 6～9、14 日「簡易式血糖値測定器使用説明会」(グルテスト Neo アルファの取扱いについて) 東10階病棟
- 2019 年 8 月 7 日「簡易式血糖値測定器グルテスト Neo アルファの新規導入時研修」(取扱いについて) 外来3階
- 2019 年 8 月 7、9 日「簡易式血糖値測定器使用説明会」(グルテスト Neo アルファの取扱いについて) 外来医科2階
- 2019 年 8 月 7、8、14、16 日「簡易式血糖値測定器使用説明会」
(グルテスト Neo アルファの取扱いについて) 東8階病棟
- 2019 年 8 月 9 日「簡易式血糖値測定器使用説明会」(グルテスト Neo アルファの取扱いについて) 小児外科
- 2019 年 8 月 9、14 日「簡易式血糖値測定器使用説明会」
(グルテスト Neo アルファの取扱いについて) 西6階病棟カンファレンス室
- 2019 年 8 月 9 日「簡易式血糖値測定器使用説明会」(グルテスト Neo アルファの取扱いについて) 西6階病棟
- 2019 年 8 月 9 日「簡易式血糖値測定器使用説明会」(グルテスト Neo アルファの取扱いについて) 西9階病棟
- 2019 年 8 月 9、14、15、16、17 日「簡易式血糖値測定器使用説明会」
(グルテスト Neo アルファの取扱いについて) 東11階病棟
- 2019 年 8 月 9 日「簡易式血糖値測定器使用説明会」(グルテスト Neo アルファの取扱いについて) 西11階病棟
- 2019 年 8 月 9 日「簡易式血糖値測定器使用説明会」
(グルテスト Neo アルファの取扱いについて) 看護職キャリア開発コアセンター
- 2019 年 8 月 15、19 日「簡易式血糖値測定器使用説明会」(グルテスト Neo アルファの取扱いについて) 東9階病棟
- 2019 年 8 月 15 日「簡易式血糖値測定器使用説明会」(グルテスト Neo アルファの取扱いについて) 集中治療部
- 2019 年 8 月 15 日「簡易式血糖値測定器使用説明会」(グルテスト Neo アルファの取扱いについて) 集中治療部
- 2019 年 8 月 16 日「簡易式血糖値測定器使用説明会」(グルテスト Neo アルファの取扱いについて) 東11階病棟
- 2019 年 8 月 16、17、22、26、27 日「簡易式血糖値測定器使用説明会」
(グルテスト Neo アルファの取扱いについて) 東7階病棟
- 2019 年 8 月 15 日「血糖値測定器について」(グルテスト Neo アルファの使用方法・注意点) ME 室
- 2019 年 9 月 17 日「簡易式血糖値測定器使用説明会」
(ワンタッチペリオビューの取扱いについて) 看護職キャリア開発コアセンター
- 2019 年 9 月 17、23、26、27 日、10 月 25 日「簡易式血糖値測定器使用説明会」
(ワンタッチペリオビューの取扱いについて) 東9階病棟
- 2019 年 9 月 17 日「簡易式血糖値測定器使用説明会」(ワンタッチペリオビューの取扱いについて) 血液浄化療法部
- 2019 年 9 月 17、18、27、28、29 日「簡易式血糖値測定器使用説明会」
(ワンタッチペリオビューの取扱いについて) 東3階病棟
- 2019 年 9 月 18 日「簡易式血糖値測定器使用説明会」(ワンタッチペリオビューの取扱いについて) 通院治療室
- 2019 年 9 月 18、26 日、10 月 1、2 日「簡易式血糖値測定器使用説明会」
(ワンタッチペリオビューの取扱いについて) 内科30診
- 2019 年 9 月 18～20 日「簡易式血糖値測定器使用説明会」
(ワンタッチペリオビューの取扱いについて) 高次救命災害治療センター
- 2019 年 9 月 18～21、24 日「簡易式血糖値測定器使用説明会」
(ワンタッチペリオビューの取扱いについて) 集中治療部
- 2019 年 9 月 19 日「簡易式血糖値測定器使用説明会」(ワンタッチペリオビューの取扱いについて) 東10階病棟
- 2019 年 9 月 19 日「簡易式血糖値測定器使用説明会」(ワンタッチペリオビューの取扱いについて) 西9階病棟
- 2019 年 9 月 19 日「簡易式血糖値測定器使用説明会」(ワンタッチペリオビューの取扱いについて) 西10階病棟
- 2019 年 9 月 20 日「簡易式血糖値測定器使用説明会」(ワンタッチペリオビューの取扱いについて) 小児科
- 2019 年 9 月 20、25 日「簡易式血糖値測定器使用説明会」(ワンタッチペリオビューの取扱いについて) 手術室
- 2019 年 9 月 20 日「簡易式血糖値測定器使用説明会」(ワンタッチペリオビューの取扱いについて) 西6階病棟
- 2019 年 9 月 20 日「簡易式血糖値測定器使用説明会」(ワンタッチペリオビューの取扱いについて) 西6階病棟

- ・2019年9月20日「簡易式血糖値測定器使用説明会」(ワンタッチペリオビューの取扱いについて) 西5階病棟(NICU)
- ・2019年9月20日「簡易式血糖値測定器使用説明会」(ワンタッチペリオビューの取扱いについて) 東4階病棟
- ・2019年9月25、26日「簡易式血糖値測定器使用説明会」(ワンタッチペリオビューの取扱いについて) 集中治療部
- ・2019年9月26、27日、10月2日「簡易式血糖値測定器使用説明会」
(ワンタッチペリオビューの取扱いについて) 外来医科1階、エントランス階
- ・2019年9月26日「簡易式血糖値測定器使用説明会」(ワンタッチペリオビューの取扱いについて) 西11階病棟
- ・2019年9月26日「簡易式血糖値測定器使用説明会」(ワンタッチペリオビューの取扱いについて) 西8階病棟
- ・2019年9月26日「簡易式血糖値測定器使用説明会」(ワンタッチペリオビューの取扱いについて) 西7階病棟
- ・2019年9月26、28、29、30日「簡易式血糖値測定器使用説明会」
(ワンタッチペリオビューの取扱いについて) 東6階病棟
- ・2019年9月26、27、30日、10月4、9日「簡易式血糖値測定器使用説明会」
(ワンタッチペリオビューの取扱いについて) 東8階病棟
- ・2019年9月27日、10月2～4日「簡易式血糖値測定器使用説明会」
(ワンタッチペリオビューの取扱いについて) 東11階病棟
- ・2019年8月29日「スペキュラーマイクロスコープ CellCheck X8 研修」(使用方法と注意点) 眼科外来 視力検査室
- ・2019年8月19日「コントラストグレーターテスター GGT-2000 研修」(使用方法と注意点) 眼科外来 暗室検査室
- ・2019年12月9日「植込み型補助人工心臓 HeartMate II について」
(パワーモジュール、バッテリーチャージャーの保守点検について)
- ・2020年2月18、19日「エキシマレーザーデモに伴う研修会」(概要、取扱説明) 血管撮影室
- ・2019年8月7、13日「着用型自動除細動器 LifeVest(賃貸)の新規導入時研修」
(使用方法および注意点) 西10階病棟
- ・2019年9月11日「オートクレーブ SX-700 の研修」(使用方法と注意点) 薬剤部 製剤室
- ・2019年9月26日、10月1、2、4、21日「透視装置説明会」(取扱説明及びデモンストレーション) 光学医療診療部

③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況

- ・ 医療機器に係る計画の策定 (☒ 有 ・ 無)
- ・ 機器ごとの保守点検の主な内容：
医療機器(人工心肺装置、補助循環装置、人工呼吸器、血液浄化装置、除細動装置、閉鎖式保育器、診療用高エネルギー放射線発生装置、放射線照射装置、麻酔器、眼内内視鏡、歯科ユニット、高気圧酸素装置、ダヴィンチ、12誘導心電計、超音波診断装置)に関し保守点検計画書を策定。
実施状況・内容等は院内の他職種により構成される委員会(委員長：医療機器安全管理責任者)にて評価を受ける。
※保守点検計画書には、医療機器名、製造販売業者名、型式、保守点検を実施する予定の時期、間隔、条件等を記載。また、機器台帳にて修理履歴を保管

④ 医療機器の安全使用のために必要となる未承認等の医療機器の使用の状況その他の情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況

- ・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (☒ 有 ・ 無)
- ・ 未承認等の医療機器の具体的な使用事例(あれば)：
病院長を委員長とした“新規医療機器等管理センター”にて検討を行うことになっている。
また、実際に使用された場合にも、この委員会に報告することになっている。
- ・ その他の改善のための方策の主な内容：
厚生労働省等の行政、PMDA及び日本医療機能評価機構からの通知、並びに各種学会等のホームページや機器メーカーから情報をMEセンターが収集し、該当医療機器に携わる者へ直接通知を行う。また、院内webサーバーにも掲載し院内に情報を周知している。

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第9条の20の2第1項第1号から第13号に掲げる事項の実施状況

① 医療安全管理責任者の配置状況	☒ 有・無
・ 責任者の資格（医師・歯科医師） 医師 ・ 医療安全管理責任者による医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者の統括状況 1 医療安全管理部長として院内の医療安全に関する管理部門に所属し統括 2 医療の安全管理体制の確保及び推進のための医療安全推進委員会及び重大な事例が発生した場合の適切な対応策等に関する事項を審議する医療事例審議委員会の構成員並びに運営 3 医薬品の安全管理のための体制確保として医薬品安全管理責任者の実施業務及び医療機器に係る安全管理のための体制確保として医療機器安全管理責任者の実施業務に関し、取り決めを行う各専門部会の構成員となり統括	
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	☒ 有（ 1名）・無
③ 医薬品安全管理責任者の業務実施状況 ・ 医薬品に関する情報の整理・周知に関する業務の状況 1 薬剤部において、院内の医薬品使用状況の定期的（月一回程度）な確認及びその結果を踏まえた添付文書情報（禁忌等）、緊急安全性情報、未承認医薬品の使用時又は医薬品の適応外使用時等の医薬品安全管理に係る情報の報告 2 薬剤部からの報告をもとに、当該情報に係る医薬品の使用実績のある診療科等のみならず院内全体に医薬品の適正使用のための注意喚起情報の周知 3 全部署のリスクマネージャーが出席するリスクマネージャー全体会議においても改めて医薬品の適正使用のための注意喚起情報を周知し、リスクマネージャーは自部署職員への周知が完了した旨を報告書として提出してもらうこととしており、全部署からの周知完了報告書の提出をもって確認 ・ 未承認等の医薬品の使用に係る必要な業務の実施状況 1 薬剤部において、医師等の処方した薬剤の使用が、未承認医薬品、若しくは適応外又は禁忌等の使用（以下、「未承認等の医薬品の使用」という。）に該当するか否かの把握 2 未承認等の医薬品の使用について審査する委員会で承認されていない場合で処方の妥当性が確認できない場合、主治医へ疑義照会の上、薬学的知見に基づき、処方の必要性や論文、ガイドライン等の根拠に基づくリスク検討の有無、処方の妥当性等の確認と事後に把握した適応外使用医薬品に係る処方の妥当性等の確認と処方した医師等へ処方の変更等の提案 3 薬剤部からの報告をもとに、未承認等の医薬品使用の把握の状況の定期的な確認と必要に応じた当該把握方法の見直し、及び必要に応じて医師等に対する指導等と院内全体に未承認等の医薬品の使用に関して必要な情報の共有 ・ 担当者の指名の有無（☒有・無） ・ 担当者の所属・職種： （所属：薬剤部 ， 職種 薬剤師 ） （所属： ， 職種 ）	
④ 医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	☒ 有・無
・ 医療の担い手が説明を行う際と同席者、標準的な説明内容その他説明の実施に必要な方法に関する規程の作成の有無 （ ☒有・無 ） ・ 説明等の実施に必要な方法に関する規程に定められた事項の遵守状況の確認、及び指導の主な内容： 1 患者が内容を十分理解できるような文書を用いた医療者からの説明が行われているか、また、患者の明確な文書による意思表示は行われているかについて、インフォームド・コンセントの定期的な監査を実施している。監査結果に基づき、院内会議及び研修会を通じて職員に周知及び改善指導をしている。 2 インフォームド・コンセントに関する基本方針、インフォームド・コンセントの実際（説明を行う際と同席者、標準的な説明内容その他説明の実施に必要な方法などの留意事項）、インフォームド・コンセントの取得フローチャート、インフォームド・コンセントを必要とする医療行為を定めている。	

⑤ 診療録等の管理に関する責任者の選任状況	☒ 有 ・ 無
・ 診療録等の記載内容の確認、及び指導の主な内容： 1 診療録監査員会内規に基づき、定期的な診療録監査を実施し、院内会議及び研修会を通じて職員に周知及び改善指導をしている。	
⑥ 医療安全管理部門の設置状況	☒ 有 ・ 無
・ 所属職員：専従（4）名、専任（1）名、兼任（24）名 うち医師：専従（1）名、専任（0）名、兼任（12）名 うち薬剤師：専従（1）名、専任（0）名、兼任（1）名 うち看護師：専従（2）名、専任（0）名、兼任（2）名 （注）報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること ・ 活動の主な内容： 1 医療安全推進委員会に係る運営及び事務 2 医療事例審議委員会に係る運営及び事務 3 アクシデント又は病院長が必要と認める事象（以下「事象等」という。）が発生した場合は、事象等に係る次に掲げる事項 4 医療の安全管理に係る教育、研修及び連絡調整 5 医療の安全確保に資する診療の状況把握及び対策の推進 6 職員の医療の安全に関する意識向上の状況確認 7 医事紛争及び医療訴訟の対応 8 各部署における医療安全対策の実施状況の評価に基づく医療安全確保のための業務改善計画書の作成並びに作成した業務改善計画書に基づく医療安全対策の実施状況及び評価結果の記録 9 医療安全推進委員会及び医療事例審議委員会との連携状況、院内研修の実績、医療安全対策に係る患者等の相談件数及び相談内容、相談後の取扱い並びにその他の医療安全管理者の活動実績の記録 10 医療安全管理部検討会に係る運営及び事務 11 その他アクシデントの発生防止及び医療の安全性の向上に関し必要な事項 ※ 平成二八年改正省令附則第四条第一項及び第二項の規定の適用を受ける場合には、専任の医療に係る安全管理を行う者が基準を満たしていることについて説明すること。 ※ 医療安全管理委員会において定める医療安全に資する診療内容及び従事者の医療安全の認識についての平時からのモニタリングの具体例についても記載すること。	
⑦ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	
・ 前年度の高難度新規医療技術を用いた医療の申請件数（2件）、及び許可件数（2件） ※ 医療法施行規則に規定する高難度新規医療技術の件数のみを計上し、その他の件数は除いた ・ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の設置の有無（ ☒ 有 ・ 無 ） ・ 高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（ ☒ 有 ・ 無 ） ・ 活動の主な内容： 1 高難度新規医療技術の申請に係る具体的な申請基準に関すること。 2 高難度新新規医療技術の実施の適否の決定に関すること。 3 新規医療技術等の実施後の定期的な手術記録、診療録等の確認による手続きの適正さの検証に関すること。 4 新規医療技術等の実施後に患者が死亡した場合又はセンターが定める水準以上の事例が発生した場合において、その新規医療技術等の手術記録、診療録等の確認による手続きの適正さの検証に関すること。 5 その他新規医療技術等の実施の安全性の確保に必要な事項 ・ 規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（ ☒ 有 ・ 無 ） ・ 高難度新規医療技術評価委員会の設置の有無（ ☒ 有 ・ 無 ）	

⑧ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況

- ・前年度の未承認新規医薬品等を用いた医療の申請件数（2件）、及び許可件数（2件）

※ 医療法施行規則に規定する未承認新規医薬品等の件数のみを計上し、その他の件数は除いた

- ・未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の設置の有無（☒・無）
- ・未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び未承認新規医薬品等の使用条件を定め使用の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（☒・無）
- ・活動の主な内容：
 - 1 未承認新規医薬品等及び適応外・禁忌使用による医療の申請に係る具体的な申請基準に関すること。
 - 2 未承認新規医薬品等及び適応外・禁忌使用による医療の実施の適否の決定に関すること。
 - 3 未承認新規医薬品等及び適応外・禁忌使用による医療の実施後の定期的な手術記録、診療録等の確認による手続きの適正さの検証に関すること。
 - 4 未承認新規医薬品等及び適応外・禁忌使用による医療の実施後に患者が死亡した場合又はセンターが定める水準以上の事例が発生した場合において、その未承認新規医薬品等及び適応外・禁忌使用による医療の診療録等の確認による手続きの適正さの検証に関すること。
 - 5 その他未承認新規医薬品等及び適応外・禁忌使用による医療の実施の安全性の確保に必要な事項。
- ・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（☒・無）
- ・未承認新規医薬品等評価委員会の設置の有無（☒・無）

⑨ 入院患者が死亡した場合などの医療安全管理部門への報告状況

- ・入院患者が死亡した場合の医療安全管理部門への報告状況：年 360 件
- ・上記に掲げる場合以外の場合であって、通常の経過では必要がない処置又は治療が必要になったものとして特定機能病院の管理者が定める水準以上の事象が発生したとき当該事象の発生の実態及び発生前の状況に関する医療安全管理部門への報告状況：年 158 件
- ・上記に関する医療安全管理委員会の活動の主な内容
 - 1 院内における入院・外来全死亡（死産含む）症例について、医療安全管理部でリストアップを行い、事例件数の報告及び事例検証を実施
 - 2 院内の入院患者における全死亡・死産症例について、主治医・担当医に報告することを義務化し、報告実施状況の確認及びその結果について報告
 - 3 重大な事例が生じた場合、速やかに原因究明のための調査及び分析、分析結果を基に改善のための方策の立案及び実施並びに職員への周知、方策の実施状況の調査及び必要に応じ方策の見直しの実施

⑩ 他の特定機能病院等の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況

- ・他の特定機能病院等への立入り（☒（病院名：名古屋大学医学部附属病院）・無）
- ・他の特定機能病院等からの立入り受入れ（☒（病院名：旭川医科大学病院）・無）
- ・技術的助言の実施状況
 - 1 医療安全監査委員会について、監査委員が診療現場を視察するとよい
→ 令和2年度から実施予定であったが、COVID-19感染拡大防止のため実施せず。
 - 2 薬剤師 GRM と医薬品安全管理責任者を兼ねており、過度の負担がないか、配慮が必要
 - 3 新規医療技術等の審査において、審議内容によって、専門的な委員を加えられる体制が必要
→ 内規を改正して、専門的な委員の追加を可能とした。

⑪ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況

・体制の確保状況

患者からの医療安全管理に係る相談等に対し、対応できるよう窓口を常設している。また、院内掲示により設置場所、担当者、責任者及び対応時間等を患者等に明示している。

⑫ 職員研修の実施状況

・研修の実施状況

令和元年度の医療安全管理研修会において、インシデント、アクシデント報告の流れ等の医療に係る安全管理のための基本的な事項、及び医療安全管理に係る具体的な事例の改善策、高度な医療を提供するための多職種連携に必要な知識及び技能、特定機能病院として取り組むべき医療安全管理に関する事項等について、管理者、医療安全管理責任者等による医療安全管理研修会及び医薬品安全管理研修会並びに医療機器安全管理研修会を実施し、e-ラーニングを用いて学習効果を測定し、院内会議を通じて職員にフィードバックした。

(注) 前年度の実績を記載すること (⑥の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1日の員数を記入すること)

⑬ 管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況

・研修の実施状況

管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者は、日本医療機能評価機構が開催した令和元年度特定機能病院管理者研修を受講した。

(注) 前年度の実績を記載すること (⑥の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1日の員数を記入すること)

規則第7条の2第1項各号に掲げる管理者の資質及び能力に関する基準

管理者に必要な資質及び能力に関する基準	
・ 基準の主な内容 1. 医師法に基づく医師免許証を交付された医師であること 2. 学識に優れ、教育研究、診療及び病院経営に識見を有し、かつ、管理運営能力を有する者で、以下の基準を全て満たす者 ① 医学博士又は博士（医学）の学位を有し、教授相当の十分な業績を有する者 ② 総合病院において病院長、副病院長、診療科長、中央診療部門長もしくは同等職の経験を有する者 ③ 様々な医療環境の変化に対応しながら、強いリーダーシップを持って病院運営及び経営にあたる意欲がある者 3. 医療安全管理業務を経験し、医療安全の確保に必要な資質・能力を有する者で、以下の基準を全て満たす者 ① 医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者の業務経験を有する者、又は医療安全管理委員会もしくは同委員会に準ずる委員会の構成員であった者 ② 医療安全管理業務経験を踏まえ、医療安全を第一に考える姿勢及び指導力等を有する者 ・ 基準に係る内部規程の公表の有無（ ☒ 有 ☐ 無 ） ・ 公表の方法 新潟大学医歯学総合病院ホームページ内で公表	

規則第7条の3第1項各号に掲げる管理者の選任を行う委員会の設置及び運営状況

前年度における管理者の選考の実施の有無	有 ☒ 無 ☐
・ 選考を実施した場合、委員会の設置の有無（ 有・無 ） ・ 選考を実施した場合、委員名簿、委員の経歴及び選定理由の公表の有無（ 有・無 ） ・ 選考を実施した場合、管理者の選考結果、選考過程及び選考理由の公表の有無（ 有・無 ） ・ 公表の方法	

管理者の選任を行う委員会の委員名簿及び選定理由

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	特別の関係
澤村 明	新潟大学理事	○	学長が指名した理事	有・無
小林 正治	新潟大学医歯学系		病院運営会議構成員	有・無
成田 一衛	新潟大学医歯学系		病院運営会議構成員	有・無
藤井 幸彦	新潟大学医歯学総合病院		病院運営会議構成員	有・無
染矢 俊幸	新潟大学医学部長		病院運営協議会構成員のうち新潟大学に所属する者	有・無
前田 健康	新潟大学歯学部長		病院運営協議会構成員のうち新潟大学に所属する者	有・無
小野寺 理	新潟大学脳研究所長		病院運営協議会構成員のうち新潟大学に所属する者	有・無
渡部 透	新潟県医師会顧問		病院運営協議会構成員のうち新潟大学に所属しない者	有 無
藤山 育郎	新潟県病院事業管理者		病院運営協議会構成員のうち新潟大学に所属しない者	有 無

規則第9条の23第1項及び第2項に掲げる病院の管理及び運営を行うための合議体の設置及び運営状況

合議体の設置の有無（平成30年10月1日施行）	☒ 有 ☐ 無		
- 合議体の主要な審議内容 - 医歯学総合病院（以下「病院」）の運営方針に関する事項 - 病院の中期目標・中期計画に関する事項 - 病院の予算及び決算に関する事項 - 病院の教員の選考に関する事項 - 病院の組織に関する重要事項 - 病院の教育・研究及び診療に関する重要事項 - その他病院の管理・運営及び経営に関する重要事項 - 審議の概要の従業者への周知状況 - 医科系及び歯科系運営会議及び連絡会議において周知。 - 院内会議システム（Web）にて会議資料を随時閲覧可能。 - 合議体に係る内部規程の公表の有無（☒ 有 ☐ 無） - 公表の方法 新潟大学医歯学総合病院ホームページ内で公表 - 外部有識者からの意見聴取の有無（☐ 有 ☒ 無）			
合議体の委員名簿			
氏名	委員長 （○を付す）	職種	役職
富田 善彦	○	医師	病院長
土田 正則		医師	副病院長
小野寺 理		医師	副病院長
若井 俊文		医師	副病院長
鳥谷部真一		医師	副病院長（医療安全管理部長）
菊地 利明		医師	副病院長
小林 正治		歯科医師	副病院長
齋藤 功		歯科医師	副病院長
杉田 洋子		看護師	副病院長（看護部長）
岡田 俊		事務職員	副病院長（事務部長）
堀井 新		医師	病院長補佐
瀬尾 憲司		歯科医師	病院長補佐
外山 聡		薬剤師	薬剤部長
金澤 勉		放射線技師	診療支援部長

規則第15条の4第1項第1号に掲げる管理者が有する権限に関する状況

管理者が有する病院の管理及び運営に必要な権限

- ・ 管理者が有する権限に係る内部規程の公表の有無（☒有 ☐無）
- ・ 公表の方法
新潟大学医歯学総合病院ホームページ内で公表
- ・ 規程の主な内容
新潟大学医歯学総合病院規程第3条において、「病院長は、病院の管理、運営をつかさどり所属職員を統括し、第13条により設置する新潟大学医歯学総合病院運営委員会が審議した病院の管理及び運営に関する重要事項に関し、その決定に関する権限と責任を有するものとする。」と規定。
- ・ 管理者をサポートする体制（副院長、院長補佐、企画スタッフ等）及び当該職員の役割
新潟大学医歯学総合病院規程第4条及び5条において、副病院長を置くこと及び病院長補佐を置くことができることを規定。
副病院長の役割は、病院長の職務を助け、病院長に事故があるときは、病院長があらかじめ指名する副病院長が、その職務を代理するほか、各副病院長に「総括」「歯科総括」「企画戦略（研究）」「企画戦略（医科歯科連携）」「診療・病院機能」「医療安全管理」「感染管理・教育」「看護（地域連携）」「総務・財務」の各担当を命じている。
また、病院長補佐の役割は、病院長が諮問又は指示した事項について、調査、企画・立案するとともに、その実施に関して病院長の職務を補佐するものとするほか、各病院長補佐には「病院機能強化（医科）」「病院機能強化（歯科）」を命じている。
- ・ 病院のマネジメントを担う人員についての人事・研修の状況
全国会議、関係機関が主催する担当者研修会等に参加。

規則第15条の4第1項第2号に掲げる医療の安全の確保に関する監査委員会に関する状況

監査委員会の設置状況	☒ 有 ☐ 無				
・ 監査委員会の開催状況：年2回 ・ 活動の主な内容： 医療安全管理責任者の業務、医療安全管理部門の業務、医療安全管理委員会の業務、医薬品安全管理責任者の業務、医療機器安全管理責任者の業務、及びその他医療安全管理全般に関する業務についての監査を実施。 ・ 監査委員会の業務実施結果の公表の有無（☒ 有 ☐ 無） ・ 委員名簿の公表の有無（☒ 有 ☐ 無） ・ 委員の選定理由の公表の有無（☒ 有 ☐ 無） ・ 監査委員会に係る内部規程の公表の有無（☒ 有 ☐ 無） ・ 公表の方法： 新潟大学医歯学総合病院ホームページ内で公表					
監査委員会の委員名簿及び選定理由（注）					
氏名	所属	委員長 （○を付す）	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
上村朝輝	元 済生会 新潟第二病院長	○	医療に係る安全管理に関する識見を有する者	有 ☒ 無	1
月岡 恵	元 新潟市保健所長		医療に係る安全管理に関する識見を有する者	有 ☒ 無	1
三部正歳	りゅーと法律 税務会計事務所		法律に関する識見を有する者	有 ☒ 無	1
田代文俊	新潟大学（監事）		医療を受ける者 その他医療従事者以外の者	有 ☒ 無	2
成田邦彦	新潟大学（理事）		医療を受ける者 その他医療従事者以外の者	☒ 有 ☐ 無	2

（注） 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）
3. その他

規則第15条の4第1項第3号イに掲げる管理者の業務の執行が法令に適合することを確保するための体制の整備に係る措置

管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況

・体制の整備状況及び活動内容

本学監査室において、本学の業務及び会計処理の状況について、適法性及び合理性の観点から調査及び検証を行い、適正かつ効率的な運営を確保するための内部監査を実施。

・ 専門部署の設置の有無 (☒ 有 ☐ 無)

・ 内部規程の整備の有無 (☒ 有 ☐ 無)

・ 内部規程の公表の有無 (☒ 有 ☐ 無)

・ 公表の方法

新潟大学医歯学総合病院ホームページ内で公表

規則第15条の4第1項第3号ロに掲げる開設者による業務の監督に係る体制の整備に係る措置

開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の状況			
・ 病院の管理運営状況を監督する会議体の体制及び運営状況 病院運営協議会において、運営方針に関する事項、中期目標・中期計画に関する事項、予算・決算に関する事項、教員の選考に関する事項、組織に関する重要事項、教育・研究及び診療に関する重要事項、その他管理・運営及び経営に関する重要事項について、病院長に報告させ、業務を監督する。 ・ 会議体の実施状況（ 年2回 ） ・ 会議体への管理者の参画の有無および回数（ ☒ 有 ☐ 無 ）（ 年2回 ） ・ 会議体に係る内部規程の公表の有無（ ☒ 有 ☐ 無 ） ・ 公表の方法 新潟大学医歯学総合病院ホームページ内で公表			
病院の管理運営状況を監督する会議体の名称：			
会議体の委員名簿			
氏名	所属	委員長 (○を付す)	利害関係
成田 邦彦	新潟大学理事	○	☒ 有 ☐ 無
染矢 俊幸	新潟大学医学部長		☒ 有 ☐ 無
前田 健康	新潟大学歯学部長		☒ 有 ☐ 無
小野寺 理	新潟大学脳研究所長		☒ 有 ☐ 無
渡部 透	新潟県医師会顧問		有 ☒ 無
藤山 育郎	新潟県病院事業管理者		有 ☒ 無
山岸美恵子	新潟県薬剤師会相談役		有 ☒ 無
佐々木綾子	新潟県村上地域振興局保健福祉部長		有 ☒ 無
河原 和夫	東京医科歯科大学医歯学系専攻教授		有 ☒ 無

(注) 会議体の名称及び委員名簿は理事会等とは別に会議体を設置した場合に記載すること。

規則第15条の4第1項第4号に掲げる医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の
情報提供を受け付ける窓口の状況

窓口の状況
・ 情報提供を受け付けるための窓口の設置の有無（☒有 ☐無） ・ 通報件数（年〇件） ・ 窓口を提供する情報の範囲、情報提供を行った個人を識別することができないようにするための方策その他窓口の設置に関する必要な定めの有無（☒有 ☐無） ・ 窓口及びその使用方法についての従業者への周知の有無（☒有 ☐無） ・ 周知の方法 ・ 新潟大学医歯学総合病院ホームページ内で公表 ・ 職員向け「医療スタッフマニュアル」

(様式第 7)

専門性の高い対応を行う上での取組みに関する書類（任意）

1 病院の機能に関する第三者による評価

① 病院の機能に関する第三者による評価の有無	☒ 有・無
・ 公益財団法人日本医療機能評価機構：認定期間 2019年12月20日～2020年12月31日 認定発行日 2020年5月8日	

(注) 医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

2 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	☒ 有・無
・ 本院ホームページ及び各診療部門のホームページにより診療内容や医療サービスについて情報発信している。 ・ 広報誌「和」を発行している（年2回程度）。 ・ 診療案内冊子を毎年作成（更新）し、県内全医療機関へ送付している。	

3 複数の診療科が連携して対応に当たる体制

① 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の有無	☒ 有・無
・ 腫瘍センター及び腫瘍内科を中心に、複数の診療科が連携して平成25年1月から「がんセンター」を開催している。平成26年度からは必要に応じて病理医が病理組織を供覧している。 ・ 医療連携口腔管理治療部が介入し、入院患者の周術期口腔機能管理の医科・歯科連携強化を進めている。	